

ハラス金櫃ノ検査ヲ執行スル場合ニ於テハ他ノ公金ヲ併セテ検査ヲ行フヘシ

第九十五條 (削除)

第九十六條 (削除)

第九十七條 收入官吏ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ一年度内ニ執行シタル出納ノ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ歳入ヲ徴收スル官吏ニ送付シ歳入ヲ徴收スル官吏ハ其下検査ヲ執行シ下検査書ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第九十八條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ毎月仕拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ仕拂命令官ニ送付シ仕拂命令官ハ其下検査ヲ執行シ下検査書ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第九十八條ノ二 分任出納官吏ノ出納ハ總テ主任出納官吏ノ計算トシテ取扱ヒ其報告書及計算書ハ各別ニ提出ヲ要セス但各省大臣若クハ會計検査院ニ於テ必要ト認ムルトキハ特ニ分任出納官吏ヲシテ報告書又ハ計算書ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第九十九條 出納官吏交替ヲ爲シタルトキハ其在職期限間ニ執行シタル會計ノ計算書ヲ調製シ第九十七條第九十八條ノ手續ヲ爲スヘシ

第一百條 出納官吏死亡其他ノ事故ニ由リ自身ニ計算書ヲ調製スル能ハサルトキハ各省大臣特ニ命シタル官吏ヲシテ之ヲ調製セシムヘシ

出納官吏定期内ニ計算書ヲ送附セサルトキハ各省大臣ハ他ノ官吏ニ命シテ之ヲ調製セシムヘシ
本條ニ據リ調製シタル計算書ハ出納官吏ノ自身ニ調製シタルモノト見做シ會計検査院ニ於テ検査判決ヲ爲スヘシ

第一百一條 出納官吏ノ計算書ハ提出ノ後修正變更スルコトヲ得ス

第一百二條 會計法第二十八條ニ依リ出納官吏ノ納ムヘキ身元保證金額ハ各省大臣之ヲ定メ會計検査院ニ通知

スヘシ

出納官吏相當ノ資産アル者二人以上ヲ以テ保證人ト爲ストキハ各省大臣前項ノ身元保證金ノ全部若クハ一部ヲ免除スルコトヲ得此場合ニ於テハ各省大臣ヨリ其保證人ノ住所氏名職業ヲ會計検査院ニ通知スヘシ但保證人ノ責任ハ免除シタル保證金額ニ止ルモノトス

第一百三條 身元保證金ハ現金ヲ以テ納ムヘシ但公債證書若クハ土地ヲ以テ現金ニ代用スルコトヲ得

第一百四條 身元保證ノ現金ハ大藏省預金局通常預金ノ利子ヲ付スヘシ

身元保證ニ供スル公債證書若クハ土地ハ出納官吏ヨリ各省大臣若クハ各省大臣ノ指定シタル官吏ニ書入トシ其土地ハ出納官吏ノ私費ヲ以テ登記ヲ受クヘシ

第一百五條 會計検査院ノ判決ニ依リ各省大臣出納官吏ノ損失金辨償ヲ命シタル場合ニ於テ其指定シタル期限内ニ出納官吏ヨリ損失金ノ辨償ヲ爲ササルトキハ其身元保證金ヲ以テ辨償ニ充ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ身元保證金ニ代用シタル公債證書若クハ土地ハ各省大臣之ヲ公賣ニ付シ其代價ヨリ公賣ニ關スル費用及損失金額ヲ差引シ剩餘アルトキハ出納官吏ニ返付スヘシ

保證人ヲ以テ身元保證金ノ免除ヲ得タル官吏損失金ノ辨償ヲ命セラレタル場合ニ於テ辨償スルコト能ハサルトキハ其保證人ヲシテ損失金ヲ辨償セシムヘシ

第一百六條 前條ノ場合ニ於テ出納官吏ノ身元保證金ヲ以テ損失金ノ辨償ニ充ルニ足ラサルトキハ其不足ハ出納官吏ヨリ徴收スヘシ

第一百七條 出納官吏數職ヲ兼務シタルカ爲メ各職毎ニ身元保證ヲ爲シタルトキト雖モ身元保證金ハ出納官吏ノ責任其何職ヲ行ヒタルヨリ生シタルヲ問ハス流用シテ辨償ニ充ツヘシ

第一百八條 (削除)

第一百九條 (削除)

第一百十條 出納官吏ノ身元保證金ハ其解職後會計検査院ニ於テ其官吏ノ執行シタル會計事務ニ付責任解除ヲ

與ヘタル後ニ非サレハ之ヲ還付セス

第二款 金庫出納役

第百十一條 會計法第三十一條ニ據リ國庫金ノ取扱ヲ日本銀行ニ命シタル場合ニ於テハ日本銀行總裁ハ金庫出納役トシテ金庫ノ出納ヲ掌ルヘシ

金庫出納役ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ一年度内ニ執行シタル出納ノ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

金庫出納役ハ會計検査院ノ検査ヲ受クル爲メ毎月各金庫出納内譯書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ大藏大臣ニ送付スヘシ

大藏大臣ハ前各項ノ出納計算書及内譯書ヲ調査シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第九章 帳簿

第百十二條 大藏省ハ日記簿、原簿、補助簿ヲ備ヘ國庫ノ計算ニ入ルヘキ一切現金ノ出納ヲ登記スヘシ

第百十三條 大藏省ハ歳入歳出ノ主計簿ヲ備ヘ總テ歳入ノ豫算額、調定濟額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額、歳出ノ豫算額、豫算決定後増加額、仕拂命令濟額、翌年度繰越額、殘額ヲ登記スヘシ

第百十四條 歳入ヲ徵收スル官吏ハ徵收簿ヲ備ヘ歳入ノ種類ヲ區分シ調定濟額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額ヲ登記スヘシ

第百十五條 歳入ノ事務管理廳ハ歳入簿ヲ備ヘ歳入ノ種類ヲ區分シ歳入ノ豫算額、調定濟額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額ヲ登記スヘシ

第百十六條 金庫出納役ハ支出簿ヲ備ヘ歳出ノ科目ヲ區分シ仕拂豫算額、仕拂命令受領濟額ヲ登記スヘシ

第百十七條 (削除)

ヲ締切ルヘシ

第十章 雜則

第百二十條 本規則ニ據リ當該官吏及金庫出納役ヨリ會計検査院ニ提出スル所ノ證明書ニ關スル規程様式ハ會計検査院ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第百二十一條 前條ノ外本規則ニ掲クル諸計算書仕拂命令領收證ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第百二十二條 帳簿ノ様式及記入ノ方法ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第百二十三條 本規則ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス
本規則ト牴觸スル命令ハ本規則施行ノ日ヨリ總テ廢止ス

●會計規則ニ依ル諸計算書、仕拂命令領收證及諸帳簿様式

改正 三十二年 第二號、三十二年 第一〇號、第三十二號、第三十三號、三十五年 第六號、第九號、三十六年 第三號、四〇年、第四七號、四一年 第五號、第一七號

明治二十二年當省令第十一號諸計算書仕拂命令領收證及諸帳簿ノ様式左ノ通改正ス

附則

本令ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

目下現存ノ用紙帳簿ニシテ尙ホ使用シ得ヘキモノハ之ヲ取繕ヒ當分使用スルモ妨ケナシ

- 第一號書式 仕拂豫算計算書
- 第二號書式 領收證
- 第三號書式 現金拂込書領收證書及通知書
- 第四號書式 歳入徵收官徵收報告書
- 第五號書式 歳入事務管理廳徵收總報告書
- 第六號書式 仕拂命令

- 第七號書式 金庫出納役任拂命令受領濟額報告書
 - 第八號書式 繰越計算書
 - 第九號書式 國庫日記簿原簿補助簿
 - 第十號書式 主計簿
 - 第十一號書式 歳入徴收官徴收簿
 - 第十二號書式 歳入事務管理廳歳入簿
 - 第十三號書式 金庫出納役支出簿
 - 第十四號書式 出納官吏現金出納簿
- (書式ハ之ヲ略ス)

勸業債券、興業債券及貯蓄債券ヲ保證金ニ使用制 三十六年十二月 勸令第二百八十三號

改正 三八年 勸令二二號

朕勸業債券及興業債券ヲ會計規則第六十九條及第三百三條ノ保證金ニ使用スルヲ得ルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

日本勸業銀行法第三十四條日本興業銀行法第十二條又ハ貯蓄債券法ニ依リ發行シタル債券ハ會計規則第六十九條及第三百三條ノ保證金ニ使用スルコトヲ得

身元保證金ニ代用セムトスル債券ノ價格ハ明治三十五年勸令第二百五號第三條ノ例ニ依ル

附則

明治三十二年勸令第四百三十三號ハ之ヲ廢止ス

鐵道株式會社ノ株券ヲ國債證券ニ代用制 四十二年八月 勸令第二百九十一號

朕鐵道會社ノ株券ヲ國債證券ニ代用スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收セラレタル鐵道株式會社ノ株券ハ政府ニ納ムヘキ保證金其ノ他ノ擔保ニ充當セラルヘキ國債證券ニ之ヲ代用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル株券ノ價格ハ各省大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

擔保トシテ政府ニ納ムヘキ國債ノ價格算定ニ關スル制 四十二年十一月 勸令第二百八十七號

政府ニ納ムヘキ保證金其ノ他ノ擔保ニ充用スル國債ノ價格ハ其ノ債權金額ニ依ル

明治三十八年勸令第二十號ハ之ヲ廢止ス

登録國債ノ擔保充用ニ關スル制 四十二年三月 勸令第八號

法令ノ規定ニ依リ擔保トシテ國債證券ヲ供託又ハ寄託スル場合ニ於テハ證券ヲ發行セサル登録國債ニ付テ擔保ノ登録ヲ受ケ之ニ代フルコトヲ得

擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル制 四十二年三月 勸令第九號

政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保トシテ提供シタル國債ヲ法令ノ規定ニ依リ公賣スヘキ場合ニ於テハ國債證券買入銷却法ニ依リ其ノ國債ノ債權金額ヲ以テ之ヲ買入レ銷却スルコトヲ得

國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル制 四十年三月 改正 四一年 法律三十八號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ之ヲ切捨ツ國稅ノ課稅標準額ニ付テモ亦同シ
 第二條 法令ノ規定又ハ行政上ノ處分ニ依リ分納ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ分納額ニ一錢未滿ノ端數ヲ生スルト
 キハ其ノ端數ハ最初ノ納期ノ分納額ニ合算ス
 第三條 地租ノ稅額ニ付テハ前二條ノ規定ヲ適用セス其ノ稅額及毎納期ノ分納額ニ一錢未滿ノ端數アルトキ
 ハ之ヲ五厘トシテ計算ス
 第四條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ其ノ全額一錢未滿ノモノハ之ヲ五厘トシテ計算ス
 國庫ノ收入金ニシテ收入印紙又ハ郵便切手ヲ以テ納メシムルモノニ付テハ第一條及前項ノ規定ヲ適用セス
 一筆ノ土地ノ地價ニシテ其ノ全額一錢未滿ノモノハ切上ケテ一錢トス
 前三項ノ外國庫ノ收入及仕拂上本法ノ規定ヲ適用セサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第五條 本法ハ明治四十年度分ヨリ之ヲ適用ス

第六條 明治三十五年法律第二十二號ハ明治四十年度分ヨリ之ヲ適用セス但シ土地臺帳ニ登錄シタル地價ニ
 シテ同法第七條ノ規定ニ依ル更正ヲ了セサルモノニ付テハ仍同法ノ規定ヲ適用ス
 第七條 本法ノ規定ハ府縣市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル公共團體ノ租稅及公課ニ之ヲ準用ス

● 同上法律ニ依ル命令 四十年三月 勅令第九十八號

朕明治四十年法律第三十一號第四條第二項ニ依ル命令ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 國庫ノ收入及仕拂中左ニ掲クル種目ニハ明治四十年法律第三十一號ノ規定ヲ適用セス

- 一 沒收金
- 二 切手及印紙類賣下代金
- 三 缺損補填金
- 四 切手貯金拂込金
- 五 貨幣交換差金
- 六 外國貨幣ヲ基礎トスル收入及仕拂金

附則

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 政府私人間債務相殺ニ關スル制 三十四年六月 勅令第三百三十一號

朕政府ト私人トノ債務相殺ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 民法ノ規定ニ從ヒ政府ト私人トノ債務ヲ相殺スルトキハ其ノ相殺シタル金額ハ金庫又ハ現金前渡官吏ニ於テ
 之ヲ差引クヘシ
 前項ニ依リ金庫ニ於テ差引シタル金員ハ歲入徵收官ノ計算ニ移シ直ニ當該官吏ニ報告シ現金前渡官吏ニ於テ
 差引シタル金員ハ相殺額表ヲ添ヘ收入官吏ニ送付スヘシ

● 同上相殺金額取扱順序 三十四年七月 改正 三十七年 大訓第二十六號 大訓二八號

歲入徵收官 大藏省所管經費仕拂命令官
 收入官吏 金庫 出納 役

明治三十四年勅令第三百三十一號相殺金額取扱順序左ノ通心得ヘシ
 第一條 金庫ニ於テ明治三十四年勅令第三百三十一號ノ規定ニ從ヒ現金ノ仕拂ヲ執行スルトキハ仕拂命令面内
 譯ニ列記シタル相殺額引去高(年度科目ノ通知ハ便 宜ノ方法ニ依ルコト)ヲ控除シ現金仕拂高ヲ受取人ニ交付スヘシ而シテ其控除シ
 タル相殺額引去高ハ普通仕拂ノ順序ニ依リ一旦之ヲ拂出シ直ニ之ヲ相當年度ノ歲入ニ振替納付ヲナスヘシ
 第二條 金庫ニ於テ前條ノ相殺額引去高ヲ歲入金ニ振替納付シタルトキハ即日其年度、科目、金額、仕拂命
 令番號ヲ歲入徵收官ニ報告スヘシ

第三條 歲入徵收官金庫ヨリ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ徵收簿收入濟額ノ欄内ヘ其金額ヲ登記スヘシ
 第四條 現金前渡官吏ニ於テ相殺額ヲ差引シタルトキハ適宜ノ相殺額表ヲ製シ之ヲ現金ニ添ヘテ收入官吏ニ

第十八輯 通信

第一章 郵便

● 郵便法

三十三年三月
法律第五十四號

改正

四〇年
法律七號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル郵便法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

郵便法

第一條 郵便ハ政府之ヲ管掌ス

第二條 何人ト雖信書ノ送達ヲ營業ト爲スコトヲ得ス

運送營業者及其ノ使用人ハ其ノ運送方法ニ依リ他人ノ爲ニ信書ノ送達ヲ爲スコトヲ得ス但シ貨物ニ添附スル無封ノ添狀又ハ送狀ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 運送營業者ハ郵便官署ノ要求アルトキハ其ノ運送方法ニ依リ郵便物ノ運送ヲ拒ムコトヲ得ス此ノ場合ニ於テ郵便官署ハ相當ノ運送料金ヲ支給ス

第四條 職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人及郵便專用車馬等ハ道路ニ障礙アリテ通行シ難キ場合ニ於テ塙壁又ハ柵欄ナキ宅地田畑其ノ他ノ場所ヲ通行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ郵便官署ハ被害者ノ請求ニ因リ其ノ損害ノ賠償ヲ爲スヘシ

第五條 職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人及郵便專用舟車馬等事故ニ遭遇シタル場合ニ於テ郵便遞送人郵便集配人又ハ郵便吏員ヨリ助力ヲ求メラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス此ノ場合ニ於テ郵便官署ハ助力者ノ請求ニ因リ相當ノ報酬ヲ爲スヘシ

第六條 職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人及郵便專用舟車馬等ニ對シテハ渡津、運河、道路、橋梁其ノ他

朕在外公館ニ於テ會計規則ニ定メタル手續ヲ省略スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 公使館領事館及貿易事務館收入官吏ノ領收シタル現金ヲ金庫ニ拂込ムヘキ期限及收入報告調製ノ期限ハ每三箇月一回若ハ數回ト爲スコトヲ得

第二條 公使館領事館及貿易事務館出納官吏ノ仕拂ニタル現金ノ計算書調製及其ノ證憑書類送付ノ期限ハ外務大臣ニ於テ每三箇月一回若ハ數回ト爲スコトヲ得

第三條 公使館領事館及貿易事務館ニ於テ工事又ハ物件ノ賣買貸借ヲ爲スニ當リ隨意契約ニ依ルトキハ一日二千圓未満ニ限リ會計規則第八十二條ノ契約書ヲ省略スルコトヲ得

●理事廳會計事務章程 四十一年六月 統制第十一號

理事廳會計事務章程左ノ通定ム但シ書式ハ別ニ之ヲ頒ツ

理事廳會計事務章程

目次

第一章 總則

第二章 豫算

第三章 歲入

第四章 歲出

第五章 工事及物件ノ賣買貸借

第一節 工事

第二節 物件ノ賣買貸借

第六章 歲入歲出外現金及保管物

第七章 物品

第八章 官有財產

第九章 恩賞諸祿

第十章 諸貸付金

附則

理事廳會計事務章程

第一章 總則

第一條 理事廳經費豫算額ハ毎年度ノ始ニ於テ總務長官之ヲ令達ス

理事官豫算ノ令達ヲ受ケタルトキハ其ノ科目金額ニ對シ其ノ年度經理ノ計劃ヲ立ツヘシ

第二條 理事廳ノ歲入徵收官、物品出納命令官及歲入歲出外現金出納命令官ハ理事官トス

第三條 左ノ官吏ハ屬、通譯生又ハ看守長ノ中ヨリ理事官之ヲ命シ其ノ旨申報スヘシ但シ歲入歲出外現金出納官吏ハ收入官吏ヲシテ兼掌セシムヘシ

一 收入官吏、現金前渡ヲ受クル官吏、歲入歲出外現金出納官吏及物品會計官吏

二 會計規則第九十一條第一項及物品會計規則第十二條ノ検査官吏

三 會計規則第九十二條及物品會計規則第十三條ノ立會官吏

四 會計規則第百條ノ代理調製官吏

五 明治二十六年九月大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依ル保管物取扱主任官

六 會計規則第六十七條第二項ノ検査官吏

第四條 會計検査院ニ提出スヘキ證明書及徵收報告書ニシテ規定ノ期間内ニ發送スルコト能ハサルモノアルトキハ其ノ事由及提出期日ヲ申報スヘシ

第五條 出納官吏交替シタルトキハ明治二十三年四月大藏省訓令第五十四號ニ依リ事務ノ引繼ヲ爲スヘシ

前項ノ引繼ヲ了シタルトキハ前任後任官吏連署ヲ以テ其ノ旨申報スヘシ

第六條 出納官吏保管ノ金員紛失又ハ亡失シタルトキハ速ニ其ノ原因、前後ノ狀況等事實ノ詳細ヲ具シ理事

官ヲ經テ申報スヘシ被詐取ノ場合亦同シ

第二章 豫算

第七條 理事官ハ第一號及第二號書式ニ依リ歳入歳出ノ概算書ヲ調製シ前年度四月十五日迄ニ本府ニ提出スヘシ

歳出ノ費目ハ毎年之ヲ本府ヨリ通達ス

第八條 豫算各目ノ流用又ハ節ノ新設ヲ要スルトキハ第三號又ハ第四號書式ノ稟請書ヲ提出スヘシ

豫算各節ノ流用ヲ要スルトキハ理事官之ヲ決定シ出納ノ完結シタルトキ第五號書式ノ報告書ヲ提出スヘシ

第九條 豫算ノ各目ニ不足ヲ生スルトキハ第六號書式ノ増額稟請書ヲ提出スヘシ

第十條 理事官ハ第七號書式ニ依リ毎年度末ニ於ケル經費ノ現計書ヲ作り四月五日迄ニ提出スヘシ

第三章 歳入

第十一條 歳入徴收官ハ歳入ヲ測定シ十五日以内ニ於テ適宜納入ノ期日ヲ定メ明治三十三年^四大藏省訓令第

二十七號諸收入收納取扱規程ノ様式ニ依リ各納入ニ對シ納入告知書ヲ發シ現金ヲ金庫又ハ收入官吏ニ納付

セシムヘシ但シ必要ト認ムル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルコトナク現金ヲ收入官吏ニ即納セシムルコ

トヲ得

前項ニ依リ測定シタル金額ハ第八號書式ヲ測定原簿及明治二十六年^{十一}大藏省令第三十二號第十一號様式

ノ徴收簿ニ之ヲ登記スヘシ

第十二條 歳入徴收官金庫又ハ收入官吏ヨリ收入濟通知書ヲ受ケタルトキハ前條ノ帳簿ニ登記スヘシ

第十三條 收入官吏納入告知書ニ依リ現金ヲ領收シタルトキハ之ニ接續セル領收證書ヲ、納入告知書ニ依ラ

ス現金ヲ領收シタルトキハ明治二十六年^{十一}大藏省令第三十二號第二號様式ノ領收證書ヲ納入ニ交付シ領

收ノ旨ヲ速ニ歳入徴收官ニ報告スヘシ

第十四條 收入官吏納金ヲ領收シタルトキハ明治二十六年^{十一}大藏省令第三十二號第十四號様式ノ出納官吏

現金出納簿ニ之ヲ登記シ第三號様式ノ現金拂込書ヲ調製シ明治二十二年^十大藏省令第十三號出納官吏現金

取扱規則第十五條ノ規定ニ從ヒ之ヲ取扱フヘシ

金庫ノ設置ナキ地方ノ收入官吏納金ヲ領收シタルトキハ出納官吏現金取扱規則第十六條ニ依リ之ヲ取纏メ

拂込書ヲ添ヘ京城本金庫ニ拂込ムヘシ

第十五條 納期間内ニ納金ヲ完納セサル者アルトキハ歳入徴收官ハ速ニ之ヲ納入方ヲ督促スヘシ

第十六條 歳入徴收官ハ徴收簿ニ依リ明治二十六年^{十一}大藏省令第三十二號第四號様式ノ徴收報告書ヲ調製

シ歳入金月計對照表ヲ添ヘ翌月十日迄ニ提出スヘシ

第十七條 歳入徴收官第十一條ノ手續ヲ了シタル後科目ニ誤記アルコトヲ發見シタルトキハ直ニ徴收簿ニ訂

正ノ記入ヲ爲スヘシ若既ニ報告済ノモノナルトキハ其ノ訂正ヲ爲シタル月ノ報告書ニ之ヲ掲ケ其ノ事由ヲ

詳記スヘシ

年度ニ誤記アルコトヲ發見シタルトキノ訂正手續ハ明治二十四年^五大藏省令第十一號ニ依ルヘシ

前二項ノ場合ニ於テ收入官吏ニ現金ヲ納入セシモノナルトキハ其ノ旨ヲ收入官吏ニ通知シ又ハ納入告知書

ニ依リ金庫ニ現金ヲ納入セシモノナルトキハ歳入徴收官ヨリ、又ハ現金拂込書ニ依リ納入セシモノナルト

キハ收入官吏ヨリ關係金庫ニ其ノ訂正(科目訂正ノ場合ヲ除ク)ヲ請求スヘシ

前各項ニ依リ誤記ノ訂正ヲ爲スハ翌年度六月三十日限トス

第十八條 歳入徴收官ハ收入未済額ニシテ後年度ニ繰越ヲ要スルモノアルトキハ明治二十四年^八大藏省訓令

第六十八號同二十五年^四同省訓令第二十五號及同三十一年^二同省訓令第十二號ニ依リ歳入繰越額計算表ヲ

翌年度四月七月ノ兩度ニ於テ調製シ其ノ月十五日迄ニ提出スヘシ

第十九條 歳入徴收官ハ歳入金ノ過誤納ヲ發見シ其ノ下戻ヲ要スルトキハ第九號書式ノ諸拂戻金仕拂請求書

ヲ調製シ權利者ノ請求書ヲ添ヘ提出スヘシ

第二十條 歳入徴收官ハ明治三十四年^六會計検査院達第四號租稅外歳入徴收額證明規程ニ依リ歳入徴收額計

算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添へ翌年度四月二十日迄ニ提出スヘシ
 第二十一條 收入官吏ハ明治三十三年五月會計検査院達第二號收入證明規程ノ様式ニ依リ收入計算書ヲ調製シ證憑書類及會計規則第九十三條ノ檢定書ヲ添へ翌年度四月十五日迄ニ之ヲ歳入徴收官ニ送付シ歳入徴收官ハ四月二十日迄ニ下検査ヲ執行シ第十號書式ノ下検査書ヲ添へ之ヲ提出スヘシ
 第二十二條 歳入徴收官交替シタルトキハ直ニ關係ノ金庫ヘ其ノ旨ヲ通知スヘシ
 收入官吏交替シタルトキハ其ノ在職期間取扱タル收入ノ計算書ヲ調製シ十五日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第四章 歳出

第二十三條 理事廳經費ハ仕拂命令官所在地ヲ除クノ外現金前渡ヲ爲ス
 前項各目ノ現金ハ交互流用スルコトヲ得ス
 第二十四條 經費ハ年度開始ノ際凡三箇月分ヲ前渡シ其ノ他ハ出納官吏ノ請求(三箇月分以内)ニ依リ前渡ス
 前項ノ場合ニ於テハ出納官吏ハ第十一號書式ノ請求計算書ヲ提出スヘシ
 第二十五條 出納官吏前渡金ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ現金出納簿及第十二號書式ノ經費内譯簿ニ登記スヘシ
 第二十六條 金庫所在地ノ出納官吏ハ明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第一條ニ依リ現金ヲ總テ金庫ヘ義務委託スヘシ
 金庫ニ義務委託ヲ爲サムトスルトキハ明治二十六年十月十二日大藏省訓令第六十三號様式ノ拂込書ヲ調製シ之ニ現金ヲ添へ金庫ヘ送付スヘシ
 理事官出納官吏ヲ任命シタルトキハ其ノ資格、氏名ヲ金庫ニ通知シ出納官吏ハ其ノ資格、氏名ヲ記シタル印鑑ヲ金庫ニ送付スヘシ
 第二十七條 金庫ノ設置ナキ地ノ出納官吏ハ出納官吏現金取扱規則第十一條又ハ第十四條ニ依リ取扱フヘシ
 前項ノ場合ニ於テ利息ヲ生シタルトキハ明治三十三年七月大藏省訓令第五十六號ノ規定ニ依ルヘシ

第二十八條 左ニ掲クル經費ハ債主ノ請求ヲ俟タズ仕拂ノ手續ヲ爲シ其ノ他ハ總テ其ノ請求ニ依リ之ヲ仕拂フヘシ
 雇員給、備人料(臨時備人ニ係ル備人ヲ除ク)、囑託手當、醫師補給金、慰勞金、宿料、被服費(代料ニ限ル)、地所家屋其ノ他借料、地所家屋公課、諸謝金、賄料、墓地管理費、看守俸給及給與
 第二十九條 出納官吏經費ノ仕拂ヲ要スルトキハ第十三號乃至第十五號書式ノ仕拂回議書ヲ作り經費内譯簿ニ對照シ前渡ヲ受ケタル現金及豫算額ニ超過スルコトナキヤ又支出科目及所屬年度ヲ誤ルコトナキヤ豫算ノ目的ニ違フコトナキヤヲ調査シ理事官ノ決定ヲ經テ執行スヘシ
 第三十條 出納官吏旅費ノ概算渡ヲ爲シタルトキハ第十六號書式ノ旅費概算渡整理簿ニ登記シ歸應後五日以内ニ之ヲ精算ヲ爲サシムヘシ
 第三十一條 出納官吏經費ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ直ニ現金出納簿及經費内譯簿ニ登記スヘシ
 第三十二條 出納官吏ハ明治三十三年五月會計検査院達第二號仕拂證明規程ニ依リ毎月仕拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添へ翌月十日迄ニ之ヲ仕拂命令官ニ送付スヘシ
 前項ノ計算書ニハ第十七號書式ノ理事官ノ保證書ヲ添附スヘシ
 第三十三條 出納官吏ハ毎月第十八號書式ノ前渡金受拂明細書ヲ作り翌月十日迄ニ提出スヘシ
 第三十四條 出納官吏過誤拂ヲ發見シタルトキハ速ニ回收ノ手續ヲ爲シ現金出納簿及經費内譯簿ニ登記シ又科目違ヲ發見シタルトキハ經費内譯簿ニ更正ノ登記ヲ爲スヘシ
 最終仕拂計算書提出後前項ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ第十九號書式ノ報告書ヲ提出スヘシ
 第三十五條 出納官吏過年度ニ屬スヘキ經費ノ仕拂ヲ要スルモノアルトキハ理事官ハ金額及事由ヲ具シ仕拂命令官ノ指揮ヲ請フヘシ

第五章 工及物件ノ賣買貸借

第一節 工事

第三十六條 理事廳ノ營繕工事ハ本府ニ於テ執行ス但シ時宜ニ依リ理事廳ニ於テ執行セシムルトキハ此ノ規定ニ依リ取扱フヘシ

第三十七條 理事廳ノ營繕工事ハ當分ノ内隨意契約ニ依リ指名入札ノ方法ヲ以テ請負ニ付スヘシ但シ一廉二千圓未滿ノ工事又ハ特種ノ理由アル場合ハ指名入札ノ方法ニ依ラス直ニ當業者ト契約ヲ締結スルコトヲ得

第三十八條 工事請負契約ハ理事官之ヲ擔任スヘシ但シ理事官事故アルトキハ他ノ官吏ニ擔任セシムルコトヲ得

第三十九條 工事請負入札及工事請負契約ハ左ノ區分ニ依リ保證金ヲ提供セシム但シ一廉二千圓未滿ノ工事又ハ特種ノ理由アル場合ハ保證人ヲ立テシメ本條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

一 入札保證金 見積價額ノ百分ノ五以上
二 契約保證金 請負金額ノ百分ノ十

第四十條 保證金ハ現金又ハ國債證券ニ限ル國債證券ノ價格ハ時價ノ八割トス但シ特別大日本五分利公債證券及國庫債券ノ價格ハ其ノ最低發行價格トス

第四十一條 工事請負入札者ニハ一定ノ期間内ニ工事仕様書、繪圖面、契約書案、工事請負人心得書及現場等ヲ熟覽セシメ入札書提出前ニ入札保證金ヲ納付セシムヘシ

第四十二條 入札書ハ第二十號書式ニ依リ之ヲ作り封緘ノ上其ノ氏名ヲ表記セシメ指定ノ時刻迄ニ差出サシムヘシ但シ代理人入札ノ場合ニハ其ノ委任狀ヲ要ス

一旦差出シタル入札書ハ之ヲ引換又ハ變更スルコトヲ得ス

第四十三條 契約擔任者ハ豫定價格調書ヲ作り封緘ノ上之ヲ開札ノ場所ニ置クヘシ

開札ハ入札人ノ面前ニ於テ契約擔任者之ヲ行フヘシ

第四十四條 開札ノ上各人ノ入札總テ豫定價格ニ超過シタルトキハ直ニ出席入札人ヲシテ再度ノ入札ヲ爲サシムヘシ

第四十五條 入札保證金ハ入札執行ノ後落札人ヲ除クノ外即日之ヲ還付シ落札人ノ分ハ契約締結ノ上之ヲ還付スヘシ

第四十六條 契約擔任者ハ落札ノ當日ヨリ起算シ五日以内ニ契約保證金ヲ納付セシメ契約ヲ締結スヘシ

落札人前項ノ期間内ニ契約ヲ締結セサルトキハ該落札ヲ無効トシ入札保證金ハ政府ノ所得トス

第四十七條 工事竣功シタルトキ又ハ契約ニ依リ工事ノ既濟部分ニ對シ代價ノ一部分ヲ仕拂ハムトスルトキハ會計規則第六十七條ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第二節 物件ノ賣買貸借

第四十八條 物品ヲ購買セムトスルトキハ見本、雛形、圖面等ヲ示シ二人以上ヨリ見積書ヲ徴シ低價ノ者ト契約スヘシ但シ一廉五十圓未滿ノモノ又ハ特種ノ理由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條 物品ノ購買ハ理事官ノ決定ヲ經テ之ヲ執行スヘシ

第五十條 物品ヲ納付シタルトキハ精密ニ検査ヲ遂ケタル上之ヲ受取ルヘシ

第五十一條 不用物品ヲ賣却セムトスルトキハ豫メ其ノ價格ヲ評定シ現品ヲ示シ二人以上ヨリ見積書ヲ徴シ高價ノ者ト契約スヘシ但シ特種ノ理由アルトキ及第七十一條但書ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條 賣却物品ハ代金ヲ領收シタル後ニ非サレハ之ヲ交付スルコトヲ得ス

第五十三條 物件貸借ノ必要アル場合ニ於テハ理事官其ノ理由ヲ具シ契約書案ヲ添ヘ指揮ヲ請フヘシ

第六章 歳入歳出外現金出納及保管物
第五十四條 明治二十三年勅令第二號ニ依リ取扱フ現金（入札及契約保證金、領置金、拾得金及給與工錢等ノ類）ハ之ヲ歳入歳出外現金トシ又明治二十六年勅令第七十號ニ依リ保管スル有價證券（入札及契約保證ノ爲提供シタル有價證券ノ類）及保管證書ヲ保管物トシ明治二十六年九月大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依リ處理スヘシ
第五十五條 歳入歳出外現金又ハ保管物ノ出納ヲ要スルトキハ理事官其ノ受拂ヲ命スヘシ

第五十六條 歳入歳出外現金出納官吏ハ現金出納簿及第二十一號書式ノ内譯簿ヲ設ケ受拂ヲ記入スヘシ但シ現金前渡官吏又ハ收入官吏等ヲ兼ネタル者ハ明治三十五年^三大藏省訓令第十號ニ依リ其ノ出納ヲ混記スルモノトス

第五十七條 保管物取扱主任ハ第二十二號書式ノ受拂簿ヲ調製シ其ノ受拂ヲ登記スヘシ

第五十八條 歳入歳出外現金出納官吏現金ヲ領收シタルトキ又ハ保管物取扱主任有價證券ヲ受ケタルトキハ保管物取扱規程第六條ニ依リ第三號様式ノ送付書ヲ調製シ現金又ハ有價證券ニ添ヘ金庫ニ送付スヘシ但シ明治二十三年^五大藏省訓令第七十八號ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

納人ヲシテ現金又ハ有價證券ヲ直ニ金庫ニ納入セシムルトキハ保管物取扱規程第三條ニ依リ第一號様式ノ寄託通知書ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ

第五十九條 前條ノ場合ニ於テ金庫ニテ作りタル保管證書ハ保管物ノ取扱ヲ爲シ之ヲ金庫ニ藏置スヘシ

第六十條 保管物ノ拂戻ヲ要スルトキハ第五十八條第一項ニ依リ取扱タルモノハ第六號様式ノ拂渡證書ヲ、

第二項ニ依リ取扱タルモノハ第二號様式ノ裏書ヲ爲シ之ヲ権利者ニ交付スヘシ

第六十一條 保管金ヲ歳入ニ納付スル場合ニ於テハ保管物取扱規程第十四條ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第六十二條 歳入歳出外現金出納官吏ハ明治二十四年^三會計検査院達第二號歳入歳出外現金出納證明規程ニ依リ歳入歳出外現金出納計算書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ翌年度四月十日迄ニ又交替ノトキハ交替後十日以内ニ理事官ニ提出シ理事官ハ速ニ下検査ヲ執行シ下検査書^(書式第十號ニ準ス)ヲ添ヘ提出スヘシ

第七章 物品

第六十三條 物品ヲ大別シテ左ノ二種トス

第一類 備品及第二類ニ屬セサル物品

第二類 消耗品

第六十四條 物品會計官吏ハ第二十三號書式ノ帳簿ヲ備ヘ出納ヲ登記シ現品ヲ整理スヘシ

前項帳簿ノ外便宜補助簿ヲ備フルコトヲ得

第六十五條 左ノ物品ハ物品會計官吏ノ保管外トシ物品出納簿ニ登記スルヲ要セス

一 購入ノ際直ニ消費スルモノ

二 公文簿冊、電信符號、電話番号帳、官報及新聞雜誌等

第六十六條 物品ハ命令アルニ非サレハ出納スルコトヲ得ス

命令ノ形式ハ便宜之ヲ定ムヘシ

第六十七條 職員執務上専用物品ノ品類及員數ハ別ニ之ヲ定ム

第六十八條 特別文具ハ左ノ場合ニ限り官費支辨トス

一 筆 辭令用、筆曆版用、小使用、受付用^(公衆用ニ限ル)、訟延用^(公衆用ニ限ル)

一 ペン、ペン軸、インキ 簿記用、歐文用、旅券用

一 肉池 及 印肉 官印押捺用

一 製圖 具 製圖用

第六十九條 職員用ノ物品ハ各専用者ヲシテ保管ノ責任セシメ物品會計官吏之ヲ監督スヘシ

共用物品ハ物品會計官吏ノ保管トス

必要ノ場合ニ於テハ共用物品ハ共用主任ヲ置キ第二十四號書式ノ共用内譯簿ヲ設ケ整理スヘシ

第七十條 物品ヲ故意怠慢ニ因リ亡失毀損シタルトキハ其ノ者ヲシテ物品又ハ代價ヲ以テ辨償セシムヘシ

物品ノ亡失又ハ毀損者ヲ知ルコト能ハサル場合ニハ保管者辨償ノ責任スヘシ但シ避クヘカラサル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十一條 物品中使用ニ堪ヘサルモノ又ハ將來使用ノ目途ナキモノニシテ價格アリト認ムルモノハ經同ノ

上處分スヘシ但シ一廉十圓以内ノモノハ理事官ニ於テ之ヲ處分スルコトヲ得

第七十二條 理事官ハ物品會計規則第十二條ニ依リ検査官吏ヲシテ毎年度末日又ハ物品會計官吏交替ノ際現

在品及出納ノ實況ヲ調査セシメ第二十五號書式ノ調査ヲ作ラシムヘシ
物品會計官吏ハ物品會計規則第十八條ニ依リ前項ノ調査ヲ以テ計算書ニ代ヘ明治三十四年四月會計検査院達
物品出納證明規程ニ依リ年度經過後又ハ物品會計官吏交替後一箇月以内ニ理事官ニ提出シ理事官ハ下検査
ヲ遂ケ下検査書(書式第十)ヲ添ヘ提出スヘシ

第八章 官有財産

第七十三條 理事官ハ其ノ所屬官有財産ノ保管及取締ヲ爲スヘシ

第七十四條 理事官ハ常ニ所屬官有財産ノ現況ヲ視察シ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

- 一 官有財産ノ使用ハ適當ナリヤ否ヤ
- 二 官有財産ニ損害ヲ生スヘキ事情ナキヤ否ヤ
- 三 官有財産ノ毀損又ハ荒廢ニ屬スルモノナキヤ否ヤ
- 四 土地ノ境界ニ異狀ナキヤ否ヤ

第七十五條 官有財産ハ左ノ區別ニ從ヒ整理スヘシ

- 一 土地及其ノ附屬物
- 二 營造物及其ノ附屬物
- 三 家屋及其ノ附屬物
- 四 船舶及其ノ附屬物

第七十六條 官有財産ノ賣買、讓與、交換、貸付其ノ他物權ノ得喪又ハ變更ニ關スル事項及現狀ノ變更ハ總
テ經伺ノ上處分スヘシ

第七十七條 理事官ハ第七十五條ニ掲ケタル區別ニ從ヒ第二十六號書式ノ官有財産臺帳ヲ備ヘ其ノ所屬ノ官
有財産ヲ整理スヘシ

第七十八條 官有財産臺帳ニ登記シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ更正スヘシ

第七十九條 理事官ハ其ノ所屬ノ土地建物及船舶ノ圖面ヲ備フヘシ

地圖及建物圖ハ第二十七號記載例ニ依リ船舶ノ圖面ハ適宜之ヲ調製スヘシ

圖面ニ變更ヲ要スヘキ事項ノ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ更正スヘシ

第八十條 官有財産ノ價格ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ定ムヘシ

- 一 買上ニ係ルモノハ其ノ買上代價
- 二 新築ニ係ルモノハ其ノ建築費
- 三 交換ニ依テ得タルモノハ其ノ評定價格
- 四 所管轉換ニ依テ得タルモノハ其ノ目錄價格
- 五 買上代價若ハ建築費ノ不明ナルモノハ總テ其ノ評定價格

第八十一條 官有地ノ境界ハ之ヲ明確ニシ界標ノ設ナキモノハ成ルヘク不朽ノ物質ヲ以テ建設スヘシ

第八十二條 官有財産ノ現在目錄ハ第二十八號書式ニ依リ十年毎ニ其ノ年三月三十一日ノ現在ヲ調査シ翌年
度四月三十日迄ニ統監官房會計課長ニ報告スヘシ

前項ノ報告期間ハ明治二十四年四月一日ヨリ之ヲ起算ス

第八十三條 每會計年度間ニ於ケル官有財産ノ増減異動ハ左ノ四期ニ分チ第二十九號書式ニ依リ之ヲ調査シ
翌月二十日迄ニ統監官房會計課長ニ報告スヘシ

- 一 第一期 自六月 至七月
- 二 第二期 自七月 至九月
- 三 第三期 自十月 至十二月
- 四 第四期 自一月 至三月

前項ノ期間ニ増減異動ナキモノハ其ノ旨ヲ報告スヘシ

第八十四條 前二條ノ報告書ニハ第七十九條第二項ニ依リ調製シタル土地建物及船舶ノ圖面ヲ添附スヘシ

第八十五條 第七十五條ニ掲ケタル官有財産中營造物及其ノ附屬物ヲ家屋及其ノ附屬物ニ組換ヘ家屋及其ノ附屬物ヲ營造物及其ノ附屬物ニ組換ヘ又ハ甲地ニ在ル物件ヲ乙地ニ移轉シ若ハ主タル物件ト附屬物トノ組換ヲ爲シタルトキハ第八十三條ノ報告例ニ依ルヘシ

第八十六條 官有財産ノ名稱又ハ建物ノ番號ヲ變更シタルトキハ第三十號書式ノ報告書ヲ又建物ノ内部ニ變更ヲ加ヘ既ニ報告シタル建物圖ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ更正圖面ヲ調製シ第八十三條ノ報告書ニ添附シテ提出スヘシ

第八十七條 天災其ノ他ノ災害ニ因リ官有財産ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事實ヲ詳具シ直ニ申報スヘシ
第九章 恩賞諸祿

第八十八條 恩賞諸祿ノ豫算ハ令達ヲ爲サス統監府備付ノ臺帳ニ基キ支給期前ニ前渡ス

第八十九條 理事官ハ第三十一號書式ノ恩賞諸祿臺帳ヲ備ヘ異動ノ都度加除訂正スヘシ

第九十條 恩賞諸祿ハ總テ證書ヲ檢閲シ臺帳ト照合シ其ノ異狀ナキヲ認メタル上ニ非サレハ現金ノ仕拂ヲ爲スヘカラス

仕拂ヲ爲シタルトキハ臺帳ニ其ノ仕拂年月日ヲ記入スヘシ

他管下居住ノ者ヘ仕拂ヲ爲ス場合ニハ現住地ノ地方廳ヘ通報シ證書檢閲濟ノ報告ヲ得テ送金ノ取扱ヲ爲スヘシ

第九十一條 毎年四月一日ヨリ翌年五月三十一日マテノ仕拂濟額ハ第三十二號書式ノ仕拂細書ヲ作り翌年六月十日迄ニ提出スヘシ

第九十二條 他管廳ヨリ統監府ヲ經由セシテ恩賞諸祿受領者ノ引繼ヲ受ケタルトキハ其ノ引繼書ノ寫ヲ提出スヘシ

他管廳ヘ引繼ヲ爲ストキハ第三十三號書式ノ引繼書ヲ作り統監府ヲ經由スヘシ

第九十三條 恩賞諸祿受領者又ハ遺族ヨリ死亡又ハ結婚、復籍、丁年、行方不明、改氏名等ノ届出アリタルトキ

ハ第三十四號書式ノ異動通知書ヲ提出スヘシ

第九十四條 新ニ發付セラレタル恩賞諸祿ノ證書又ハ辭令書ヲ統監府ヲ經由セシテ他管廳ヨリ轉送シ來リタルトキハ速ニ臺帳ニ登記シ其ノ寫ヲ添ヘ申報スヘシ

第九十五條 改氏名ノ届出ヲ受ケタルトキハ本人ヨリ證書ヲ提出セシメ證書ノ裏面ニ理事官其ノ事由ヲ記載シ署名捺印ノ上交付スヘシ

水火災盜難等ニ因リ證書亡失ノ届出ヲ受ケタルトキハ理事官ハ其ノ事實ヲ調査シ事由ヲ具シ申報スヘシ

第九十六條 明治二十三年七月閣令第三號官吏恩給法施行規則第十三條ノ通知ハ當府ヲ經由スヘシ

第十章 諸貸付金

第九十七條 諸貸付金ハ理事官之ヲ管理シ明治二十六年^{十二}大藏省訓令第七十七號諸貸付金取扱規程ニ依リ取扱フヘシ

第九十八條 本府ヲ經由セシテ他管廳ヨリ諸貸付金ノ引繼ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ申報スヘシ

一 前管廳名

二 貸付ノ種類及金額

三 返納期限

四 据置ノ事由

五 契約ノ要旨

六 債務者及保證人ノ住所氏名

第九十九條 理事官ハ第三十五號書式ノ臺帳ヲ備ヘ諸貸付金取扱規程第三條ノ各事項ヲ登記スヘシ

第一百條 雜種貸ニ係ルモノハ各期限ニ收納ノ手續ヲ爲シ据置貸ニ係ルモノハ常ニ債務者ノ狀況ニ注意シ年度末ニ職員ヲ派出シ其ノ實況ヲ調査セシメ返納シ得ヘキ資力アリト認ムル者アルトキハ速ニ收納ノ手續ヲ爲スヘシ

第三百一條 諸貸付金取扱規程第五條及第六條ノ事項ヲ生シタルトキハ大藏大臣ニ宛テタル稟申書ヲ本府ニ提出スヘシ

三五〇

第三百二條 諸貸付金取扱規程第七條ニ依リ債務者轉居先ノ管廳ヘ引繼クモノ同規程第八條及第十條ノ報告ハ本府ヲ經山スヘシ但シ理事廳間ニ引繼ヲ爲ス場合ニ於テハ直ニ其ノ手續ヲ爲シ本府ニ報告スヘシ

附則

第三百三條 本令ニ抵觸スル從來ノ訓令ハ之ヲ廢止ス

●特許局會計事務ニ關スル制

四十二年七月
統訓第十七號

統監府特許局會計事務ニ關スル手續ハ明治四十一年^六統監府訓令第十一號理事廳會計事務章程ニ依ルヘシ但シ同章程中理事官ノ職務ハ局長、屬ノ職務ハ屬又ハ審査官補之ヲ行フ

●統監府裁判所及統監府監獄會計事務章程

四十二年十月
統訓第三十三號

統監府特許局
統監府司法廳
統監府裁判所
統監府監獄

統監府裁判所及統監府監獄會計事務章程左ノ通定ム

統監府裁判所及統監府監獄會計事務章程

目次

第一章 總則

第二章 豫算

第三章 歲入

第四章 歲出

第五章 工事及物件ノ賣買貸借

第一節 工事

第二節 物件ノ賣買貸借

第六章 歲入歲出外現金及保管物

第七章 物品

第八章 官有財產

附則

統監府裁判所及統監府監獄會計事務章程

第一章 總則

第一條 控訴院長ハ其ノ應ノ會計事務ヲ監理ス地方裁判所長及典獄ハ其ノ應及所管各廳ノ會計事務ヲ監理ス
區裁判所ノ會計事務ハ上席判事又ハ一人ノ判事ニ、監獄分監ノ會計事務ハ分監長ニ委任シテ其ノ監理ヲ分掌セシムルニトヲ得

各級裁判所ノ廳舍合併ノ場合ニ於ケル會計事務ハ上級裁判所ノ長之ヲ監理ス
檢事局ノ會計ハ裁判所ニ屬ス

第二條 歲入徵收官及物品出納命令官ハ控訴院長、地方裁判所長及典獄トス但シ各級裁判所廳舍合併ノ場合ニ於テハ上級裁判所ノ長其ノ職務ヲ行フ
區裁判所ノ歲入徵收官及物品出納命令官ノ事務ハ上席判事又ハ一人ノ判事、監獄分監ノ歲入徵收官及物品出納命令官ノ事務ハ分監長ヲシテ之ヲ分掌セシム

第三條 會計事務監理者ハ裁判所書記長、裁判所書記及看守長ノ中ヨリ左ノ官吏ヲ命シ其ノ應及所管各廳ニ

於テ其ノ事務ヲ取扱ハシムヘシ但シ第五號以下ノ官吏ハ臨時必要ノ場合ニ於テ之ヲ命スヘシ

- 一 控訴院、地方裁判所及監獄ノ現金前渡ヲ受クル主任官吏
- 二 區裁判所及監獄分監ノ現金前渡ヲ受クル分任官吏
- 三 收入官吏、歳入歳出外現金出納官吏、物品會計官吏
- 四 明治二十六年^九大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依ル保管物取扱主任
- 五 會計規則第六十七條第二項、第九十一條第一項、物品會計規則第十二條ノ規定ニ依ル検査官吏
- 六 會計規則第九十二條、物品會計規則第十三條ノ規定ニ依ル立會官吏
- 七 會計規則第一百條、物品會計規則第十五條第二項但書ノ規定ニ依ル代理調製官吏
- 八 第一號乃至第三號ニ掲ケタル各官吏ノ代理官

各級裁判所應舎合併ノ場合ニ於テハ上級裁判所ノ會計事務監理者其ノ應ノ職員ノ一人ニ前項ノ官吏ヲ命シ合併應舎ニ係ル各應ノ事務ヲ取扱ハシムヘシ

第一項ノ官吏ヲ命シ又ハ之ヲ變更シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ司法廳長官ニ申報スヘシ

第四條 會計事務監理者ハ出納官吏又ハ保管物取扱主任其ノ保管ニ係ル現金若ハ有價證券ヲ亡失シタルコトヲ知リタルトキハ速ニ其ノ事實ヲ司法廳長官ニ申報スヘシ

第五條 會計事務監理者ハ第三條、第六條、第七條、第八條、第三十六條及第七十五條ニ掲ケタル事項ニ付處分ヲ爲ス場合ニ於テハ關係ヲ有スル檢事長、所長又ハ檢事正ト協議スヘシ

第二章 豫算

第六條 會計事務監理者ハ第一號及第二號書式ニ依リ歳入歳出ノ概算書ヲ調製シ前年度四月十五日マテニ之ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

第七條 各廳經費豫算額ハ毎年度ノ始ニ於テ司法廳長官之ヲ會計事務管理者ニ令達ス豫算ノ令達ヲ受ケタルトキハ其ノ科目金額ニ付其ノ年度經理ノ計劃ヲ立テ所管各廳ニ分付スヘシ

第八條 會計事務監理者豫算各目ノ流用又ハ新設ヲ要スルトキハ第三號又ハ第四號書式ニ依リ其ノ要求書ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

豫算ノ増額ヲ要スルトキハ第五號書式ニ依リ其ノ増額要求書ヲ提出スヘシ

第九條 會計事務監理者ハ第六號書式ニ依リ年度末ニ於ケル經費ノ現計書ヲ作り毎年四月五日マテニ之ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

第三章 歳入

第十條 歳入徴收官及其ノ事務分掌者ハ歳入ヲ調定シ十五日以内ニ於テ適宜納入ノ期日ヲ定メ明治三十三年^四大藏省訓令第二十七號諸收入收納取扱規程ノ様式ニ依リ各納人ニ對シ納入告知書ヲ發シ現金ヲ金庫又ハ收入官吏ニ納付セシムヘシ

前項ニ依リ調定シタル金額ハ第七號書式ノ調定原簿及明治二十六年^{十一}大藏省令第三十二號第十一號様式ノ徴收簿ニ之ヲ登記スヘシ

第十一條 歳入徴收官及其ノ事務分掌者金庫又ハ收入官吏ヨリ領收済ノ通知ヲ受ケタルトキハ前條ノ帳簿ニ登記スヘシ

判事又ハ檢事ノ通知ニ依リ歳入ヲ調定シタルモノハ其ノ結果ヲ通知ヲ爲シタル當該官ニ通知スヘシ

第十二條 收入官吏納入告知書ニ依リ現金ヲ領收シタルトキハ之ニ接續セル領收證書ヲ納人ニ交付シ領收ノ旨ヲ速ニ歳入徴收官又ハ其ノ事務分掌者ニ報告スヘシ

第十三條 收入官吏納金ヲ領收シタルトキハ明治二十六年^{十一}大藏省令第三十二號第十四號様式ノ出納官吏現金出納簿及第八號ノ一書式ノ收入簿ニ之ヲ登記シ第三號様式ノ現金拂込書ヲ調製シ明治二十二年^十大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第十五條ノ規定ニ從ヒ之ヲ取扱フヘシ

金庫ノ設置ナキ地方ノ收入官吏納金ヲ領收シタルトキハ出納官吏現金取扱規則第十六條ノ手續ニ依リ之ヲ取纏メ拂込書ヲ添ヘ毎月一回京城本金庫ニ拂込ムヘシ

第十四條 歳入徴收官及其ノ事務分掌者ハ納金ヲ其ノ期限内ニ納入セサル者アルトキハ直ニ督促シ尙納入ヲ
丁セサルトキハ速ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條 歳入徴收事務分掌者ハ徴收簿ニ依リ明治二十六年十一月十一日大藏省令第三十二號第四號様式ニ依リ前月
分ノ徴收報告書ヲ毎月調製シ第八號ノ二書式ノ金庫月計對照表トノ差額任譯書及第八號ノ三書式ノ徴收明
細書並歳入金月計對照表ヲ添ヘ之ヲ其ノ月一日ニ歳入徴收官ニ提出スヘシ

歳入徴收官ハ前項ノ報告書ヲ受ケタルトキハ之ヲ徴收簿ニ登記スヘシ但シ自己取扱ノ分ト口座ヲ區別スヘ
シ

歳入徴收官前項ノ手續ヲ終リタルトキハ第一項ニ掲ケタル様式ニ依リ前月分ノ徴收報告書ヲ毎月調製シ第
一項書式ノ金庫月計對照表トノ差額任譯書及徴收明細書並歳入金月計對照表ヲ添ヘ之ヲ其ノ月七日マテニ
司法廳長官ニ提出スヘシ

歳入金ノ取扱ナキトキニ於テモ各其ノ旨報告スヘシ

第十六條 歳入徴收官及其ノ事務分掌者第十條ノ手續ヲ了シタル後科目ニ誤記アルコトヲ發見シタルトキハ
直ニ徴收簿ニ訂正ノ記入ヲ爲スヘシ若シ報告書提出後ニ係ルトキハ其ノ訂正ヲ爲シタル月ノ報告書ニ之ヲ
掲ケ其ノ事由ヲ詳記スヘシ

年度ニ誤記アルコトヲ發見シタルトキノ訂正ノ手續ハ明治二十四年五月大藏省令第十一號ニ依ルヘシ
前二項ノ場合ニ於テ收入官吏ニ現金ヲ納入セシモノナルトキハ歳入徴收官ヨリ其ノ旨ヲ收入官吏ニ通知スヘ
シ納入告知書ニ依リ金庫ニ現金ヲ納入セシモノナルトキハ歳入徴收官ヨリ又現金拂込書ニ依リ金庫ニ納入
セシモノナルトキハ收入官吏ヨリ關係金庫ニ其ノ訂正(科目訂正ノ場合ヲ除ク)ヲ請求スヘシ

誤記ノ訂正ヲ爲スハ翌年度六月三十日限トス

第十七條 歳入徴收事務分掌者ハ收入未済額ニシテ後年度ニ繰越ヲ要スルモノアルトキハ第九號書式ノ未收
入金繰越整理簿ニ之ヲ登記シ明治二十四年八月大藏省訓令第六十八號同二十五年四月同省訓令第二十五號及同

三十一年二月同省訓令第十二號ニ依リ歳入繰越額計算表ヲ翌年度四月、七月ノ兩度ニ於テ調製シ其ノ月十日
マテニ之ヲ歳入徴收官ニ提出スヘシ

歳入徴收官ハ收入未済金ニシテ後年度ニ繰越ヲ要スルモノアルトキハ前項ニ掲ケタル手續ヲ爲シ歳入繰越
額計算表ヲ其ノ月十五日マテニ司法廳長官ニ提出スヘシ但シ歳入徴收事務分掌者ヨリ提出シタル歳入繰越
額計算表ニ記載シタル收入未済金ハ之ヲ合算スヘシ

各年度ノ繰越額ニ付全部ノ處分ヲ了シタルトキハ繰越額計算表ニ準シ繰越額處分濟表ヲ調製シ歳入徴收事
務分掌者ハ四月十日マテニ歳入徴收官ニ送附シ歳入徴收官ハ四月十五日マテニ司法廳長官ニ提出スヘシ

第十八條 歳入徴收官歳入金ノ過誤納ヲ發見シ其ノ下戻ヲ要スルトキハ第十號書式ノ諸拂戻金支拂請求書ヲ
調製シ權利者ノ請求書ヲ添ヘ司法廳長官ニ提出スヘシ

歳入徴收事務分掌者歳入金ノ過誤納ヲ發見シ其ノ下戻ヲ要スルトキハ前項ニ準シ諸拂戻金支拂請求書ヲ調
製シ權利者ノ請求書ヲ添ヘ歳入徴收官ヲ經由シテ之ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

第十九條 歳入徴收官又ハ其ノ事務分掌者歳入ノ不納缺損處分ヲ要スルトキハ第十一號書式ノ歳入缺損處分
要求書ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ但シ分掌者ノ提出スル要求書ハ歳入徴收官ヲ經由スヘシ

第二十條 歳入徴收事務分掌者ハ明治三十四年六月會計検査院達第四號租稅外歳入徴收額證明規程ニ準シ歳入
徴收額計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌年度四月二十日マテニ之ヲ歳入徴收官ニ提出スヘシ

歳入徴收官ハ前項ニ掲ケタル歳入徴收額證明規程ニ依リ歳入徴收額計算書ヲ調製シ證憑書類ト共ニ翌年度
四月三十日マテニ之ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

第二十一條 收入官吏ハ明治三十三年五月會計検査院達第二號收入證明規程ノ様式ニ依リ收入計算書ヲ調製シ
證憑書類及會計規則第九十三條ノ檢定書ヲ添ヘ翌年度四月二十日マテニ之ヲ歳入徴收官ニ提出スヘシ但シ
區裁判所及監獄分監ノ收入官吏ハ收入計算書ヲ歳入徴收事務分掌者ニ送付シ分掌者ハ之ニ第十二號書式ノ
保證書ヲ添ヘ歳入徴收官ニ提出スヘシ

歳入徴收官收入計算書ヲ受ケタルトキハ下検査ヲ爲シ第十三號書式ノ下検査書ヲ添ヘ四月三十日マテニ之ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

收入官吏交替シタルトキハ前任者ハ其ノ年度ニ於テ取扱ヒタル收入計算書ヲ調製シ十五日以内ニ歳入徴收官又ハ其ノ事務分掌者ニ送付スヘシ此ノ場合ニ於テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 歳入徴收官又ハ其ノ事務分掌者交替シタルトキハ直ニ關係ノ金庫ヘ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第四章 歳出

第二十三條 裁判所及監獄ノ經費ハ現金前渡ヲ以テ處理セシム前渡金ハ指定シタル科目ノ金額ヲ交互流用スルコトヲ得ス

第二十四條 現金前渡ヲ受クル主任官吏前渡金ヲ受ケタルトキハ直ニ第一項ノ手續ヲ爲シ同時ニ領收證書ヲ現金前渡ヲ内譯簿ニ登記スヘシ

區裁判所又ハ監獄分監ノ經費ニ係ルモノハ速ニ之ヲ分付シ現金出納簿及第十五號書式ノ經費分任内譯簿ニ登記スヘシ

現金前渡ヲ受クル分任官吏分付金ヲ受ケタルトキハ直ニ第一項ノ手續ヲ爲シ同時ニ領收證書ヲ現金前渡ヲ受クル主任官吏ニ送付スヘシ

第二十五條 金庫所在地ノ現金前渡ヲ受クル主任官吏又ハ其ノ分任官吏ハ明治二十二年^十大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第一條ニ依リ現金ヲ總テ金庫ニ義務委託スヘシ

金庫ニ義務委託ヲ爲サントスルトキハ明治二十六年^{十二}大藏省訓令第六十三號様式ノ雜部保管金拂込書ヲ調製シ之ニ現金ヲ添ヘ金庫ニ送付スヘシ

第二十六條 現金前渡ヲ受クル主任官吏又ハ其ノ分任官吏ハ其ノ資格、氏名ヲ記シタル印鑑ヲ關係金庫ニ送付スヘシ

第二十七條 金庫ノ設置ナキ地ノ現金前渡ヲ受クル主任官吏及其ノ分任官吏ハ出納官吏現金取扱規則第十一條及第十四條ニ依リ取扱フヘシ

前項ノ場合ニ於テ利息ヲ生シタルトキハ明治三十三年^七大藏省訓令第五十六號ノ規定ニ依ルヘシ

第二十八條 現金前渡ヲ受クル主任官吏又ハ其ノ分任官吏經費ノ仕拂ヲ要スルトキハ第十六號乃至第十八號書式ノ仕拂回議書ヲ作り經費内譯簿ニ對照シ前渡ヲ受ケタル現金及豫算額ニ超過スルトキハ又支出科目及所屬年度ヲ誤ルコトナキヤ豫算ノ目的ニ違フコトナキヤ調査シ會計事務監理者又ハ其ノ事務分掌者ノ決定ヲ經テ執行スヘシ

第二十九條 現金前渡ヲ受クル主任官吏又ハ其ノ分任官吏概算渡ヲ爲シタルトキハ第十九號書式ノ概算渡整理簿ニ登記スヘシ

旅費ノ精算ハ旅行者其ノ旅行ヲ終リタルトキ速ニ之ヲ爲サシムヘシ

第三十條 現金前渡ヲ受クル主任官吏又ハ其ノ分任官吏經費ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ直ニ現金出納簿及經費内譯簿ニ登記スヘシ

第三十一條 現金前渡ヲ受クル分任官吏ハ明治三十二年^五會計検査院達第二號仕拂證明規程ニ準シ前月分ノ仕拂計算書ヲ毎月調製シ證書類ヲ添ヘ其ノ月十日マテニ現金前渡ヲ受クル主任官吏ニ提出スヘシ

現金前渡ヲ受クル主任官吏前項ノ計算書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ其ノ仕拂額及回收額ヲ經費内譯簿及經費分任内譯簿ニ登記スヘシ

現金前渡ヲ受クル主任官吏第一項ニ掲ケタル規定ニ依リ前月分ノ仕拂計算書ヲ毎月調製シ證書類及仕拂計算書ノ副本ヲ添ヘ其ノ月二十日マテニ之ヲ仕拂命令官ニ提出スヘシ但シ現金前渡ヲ受クル分任官吏ヨリ提出シタル仕拂計算書ニ記載シタル金額ハ之ヲ合算スヘシ

仕拂計算書ニハ第二十號書式ノ會計事務監理者又ハ其ノ事務分掌者ノ保證書ヲ添附スヘシ

現金前渡ヲ受クル主任官吏及其ノ分任官吏ハ仕拂計算書及證書類ノ副本ヲ作り正本ト同一ノ方法ニ依リ編纂シテ之ヲ保存スヘシ

第三十二條 現金前渡ヲ受クル主任官吏ハ第二十一號書式ニ依リ其ノ應ノ前月分ノ前渡金受拂書ヲ毎月調製シ其ノ月十日マテニ之ヲ任拂命令官ニ提出スヘシ

第三十三條 現金前渡ヲ受クル分任官吏ハ前條ニ掲ケタル書式ニ依リ前月分ノ前渡金受拂書ヲ毎月調製シ其ノ月十日マテニ之ヲ現金前渡ヲ受クル主任官吏ニ提出スヘシ

第三十四條 現金前渡ヲ受クル主任官吏又ハ其ノ分任官吏過誤拂ヲ發見シタルトキハ速ニ回收ノ手續ヲ爲シ現金出納簿及經費内譯簿ニ登記シ又科目違ヒヲ發見シタルトキハ經費内譯簿ニ更正ノ登記ヲ爲スヘシ

現金前渡ヲ受クル分任官吏最終任拂計算書ヲ提出シタル後前項ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ第二十二號書式ニ依リ報告書ヲ作り之ヲ現金前渡ヲ受クル主任官吏ニ提出スヘシ主任官吏誤謬ヲ發見シ又ハ分任官吏ヨリ報告書ヲ受ケタルトキハ第二十二號書式ニ依リ報告書正副二通ヲ作り之ヲ任拂命令官ニ提出スヘシ

第三十五條 會計事務監理者過年度ニ屬スル經費ノ仕拂ヲ要スルトキハ其ノ金額及事由ヲ具シ任拂命令官ノ指揮ヲ請フヘシ

第五章 工事及物件ノ賣買貸借

第一節 工事

第三十六條 新營工事又ハ一廉三百圓以上ノ修繕工事ヲ要スルトキハ會計事務監理者ハ圖面、設計書、費用内譯書ヲ添付シ其ノ事由ヲ具シタル請求書ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

一廉三百圓未滿ノ修繕工事ハ豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得

第三十七條 營繕工事ノ請負ニ付スルモノハ當分ノ内指名入札ノ方法ヲ以テ隨意ノ契約ニ依ルコトヲ得但シ一廉二百圓未滿ノ工事又ハ特種ノ理由アル場合ハ指名入札ノ方法ニ依ラス直ニ當業者ト契約ヲ締結スルコトヲ得

第三十八條 工事請負契約ハ會計事務監理者之ヲ擔任スヘシ但シ區裁判所及監獄分監ニ於テハ會計事務監理分掌者之ヲ擔任スルコトヲ得

第三十九條 工事請負契約ヲ締結スルトキハ請負人ヲシテ請負金額ノ百分ノ十以上 保證金ヲ提供セシムヘシ但シ一廉二千圓未滿ノ工事ナルトキ又ハ特種ノ理由アルトキハ保證人ヲ立テ保證ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十條 競争入札又ハ指名入札ヲ以テ工事請負ヲ爲サシムル場合ニ於テハ工事仕様書、繪圖面、契約書案、工事請負人心得書及現場等ヲ熟覽セシメ入札書提出前ニ見積價格ノ百分ノ五以上ノ保證金ヲ提供セシムヘシ

第四十一條 入札書ハ第二十三號書式ニ依リ之ヲ作り封緘ノ上其ノ氏名ヲ表記シ指定ノ時刻マテニ差出サシムヘシ但シ代理人入札ノ場合ニハ其ノ委任狀ヲ要ス

一旦差出シタル入札書ハ之ヲ引換ヘ又ハ變更スルコトヲ得ス

第四十二條 契約擔任者ハ豫定價格調書ヲ調製シ封緘ノ上之ヲ開札ノ場所ニ置クヘシ

開札ハ入札人ノ面前ニ於テ契約擔任者之ヲ行フヘシ

第四十三條 入札保證金ハ入札執行ノ後落札人ヲ除ク外即日之ヲ還付シ落札人ノ分ハ契約締結ノ上之ヲ還付スヘシ

第四十四條 契約擔任者ハ落札ノ當日ヨリ起算シ五日以内ニ落札人ヲシテ契約保證金ヲ提供セシメ契約ヲ締結スヘシ

落札人前項ノ期間内ニ契約ヲ締結セサルトキハ該落札ハ之ヲ無効トス

第四十五條 工事竣功シタルトキ又ハ契約ニ依リ工事ノ既濟部分ニ對シ代價ノ一部分ヲ仕拂ハントスルトキハ會計規則第六十七條ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第二節 物件ノ賣買貸借

第四十六條 物品ヲ購置セントスルトキハ見本、雛形、圖面等ヲ示シ二人以上ヨリ見積書ヲ徴シ低價ノ者ト契約スヘシ但シ一廉五十圓未滿ノモノ又ハ特種ノ理由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ必要ナルトキハ相當ノ保證金ヲ提供セシムヘシ

第四十七條 物品ノ購買ハ會計事務監理者又ハ其ノ事務分掌者ノ決定ヲ經テ之ヲ執行スヘシ

第四十八條 不用物品ヲ賣却セントスルトキハ豫メ其ノ價格ヲ評定シ現品ヲ示シ二人以上ヨリ見積書ヲ徴シ高價ノ者ニ賣却スヘシ

第四十九條 物件貸借ノ必要アル場合ニ於テハ會計事務監理者ハ其ノ事山ヲ司法廳長官ニ申報スヘシ

第六章 歳入歳出外現金出納及保管物

第五十條 明治二十三年勅令第二號ニ依リ取扱フ現金(訴訟事件、非訟事件ニ關スル費用ノ豫納金、競賣保證金、競賣代金、一債託シ能ハサ在監人所持金、押收金、「封緘ヲ要セサ其ノ他常ニ分割仕拂ノ必要アリト認ムルモノ、金庫所在地外ニ於テハ總テノ保管金)ハ之ヲ歳入歳出外現金トシ又明治二十六年勅令第七十號ニ依リ保管スル有價證券及保管證書(民事上借金、保釋保證金、身元保證金、契約保證金其ノ他常ニ分割仕拂ノ必要ナシト認ムルモノ)ハ之ヲ保管物トシ明治二十六年九月大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依リ處理スヘシ

第五十一條 歳入歳出外現金又ハ保管物ノ出納ヲ要スルトキハ會計事務監理者又ハ其ノ事務分掌者其ノ受拂ヲ命スヘシ

判事、檢事ノ命令アルモノハ前項ノ限ニ在ラス

第五十二條 歳入歳出外現金出納官吏ハ現金出納簿、第二十四號書式ノ内譯簿及第二十五號書式ノ保管金原簿ヲ設ケ受拂ヲ登記スヘシ但シ收入官吏ヲ兼ヌル者ハ明治三十五年三月大藏省訓令第十號ニ依リ其ノ出納ヲ混記スヘシ

第五十三條 前二條ノ場合ニ於テ判事又ハ檢事ノ命令ニ因リ受拂ヲ爲シタルモノナルトキハ其ノ結果ヲ其ノ命令ヲ爲シタル當該官ニ通知スヘシ

第五十四條 保管物取扱主任ハ第二十六號書式ノ受拂簿ヲ設ケ受拂ヲ登記スヘシ

第五十五條 歳入歳出外現金出納官吏現金ヲ領收シタルトキ又ハ保管物取扱主任有價證券ヲ受ケタルトキハ

保管物取扱規程第六條ニ依リ同規程第三號様式ノ送付書ヲ添ヘ之ヲ金庫ニ送付スヘシ但シ明治二十三年五月大藏省訓令第七十八號ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

納入ヲシテ現金又ハ有價證券ヲ直ニ金庫ニ納入セシムルトキハ保管物取扱主任保管物取扱規程第三條ニ依リ同規程第一號様式ノ寄託通知書ヲ調製シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第五十六條 有價證券及保管證書ハ堅牢ナル金櫃ニ之ヲ藏置スヘシ

第五十七條 保管物ノ拂戻ヲ要スルトキハ第五十五條第一項ニ依リ取扱ヒタルモノハ保管物取扱規程第六號様式ノ拂渡證書ヲ、同條第二項ニ依リ取扱ヒタルモノハ同規程第二號様式ノ裏書ヲ爲シ之ヲ權利者ニ交付シ領收證書ヲ徴スヘシ

保管物取扱主任自ラ保管シタル有價證券ヲ交付シタルトキ亦領收證書ヲ徴スヘシ

第五十八條 保管金ヲ歳入ニ納付スル場合ニ於テハ保管物取扱規程第十四條ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第五十九條 歳入歳出外現金及保管物ノ出納ヲ命令シタル者ハ時々各簿冊ニ就キ照査點檢スヘシ

第六十條 歳入歳出外現金出納官吏ハ明治二十四年三月會計検査院達第二號歳入歳出外現金出納證明規程ニ依リ歳入歳出外現金出納計算書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ翌年度四月十日迄ニ、又交替ノトキハ交替後十日以内ニ會計事務監理者ニ提出シ會計事務監理者ハ速ニ下検査ヲ爲シ下検査書(書式第十三)ヲ添ヘ之ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

區裁判所又ハ監獄分監ノ歳入歳出外現金出納官吏ハ翌年度四月五日迄ニ、又交替ノトキハ交替後五日以内ニ歳入歳出外現金出納計算書ヲ會計事務監理分掌者ニ提出シ分掌者ハ保證書(書式第十二)ヲ添ヘ之ヲ會計事務監理者ニ提出スヘシ

會計事務監理者前項ノ計算書ヲ受ケタルトキハ第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十一條 保管物取扱主任ハ第二十七號書式ノ保管物受拂報告書ヲ調製シ翌年度四月十日迄ニ、又交替ノトキハ交替後十日以内ニ會計事務監理者ニ送付シ會計事務監理者ハ保證書(書式第十二)ヲ添ヘ速ニ之ヲ司法廳

長官ニ提出スヘシ

區裁判所又ハ監獄分監ノ保管物取扱主任ハ翌年度四月五日迄ニ、又交替ノトキハ交替後五日以内ニ保管物受拂報告書ヲ會計事務監理分掌者ニ提出シ分掌者ハ保證書(第十二號書式ニ準ス)ヲ添ヘ速ニ會計事務監理者ニ提出シ會計事務監理者ハ所管各廳ノ報告書ヲ取纏メ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第七章 物品

第六十二條 物品ハ左ノ如ク之ヲ類別ス

第一類 需用品

應用品(在監人費ノ項以外ノ費目ヲ以テ購買シタル物品)

圖書

備品

消耗品

動物

獄用品(就役費以外ノ在監人費ノ項ヲ以テ購買シタル物品)

圖書

備品

消耗品

動物

第二類 作業品(就役費ノ目ヲ以テ購買シタル物品)

器具機械(作業用)

素品(作業ノ原料)

製品(作業ニ因リ生シタル物品)

第三類 直營工事業

通常工事業(繼續工事業以外ノ分)

繼續工事業

第六十三條 物品ハ命令アルニアラサレハ出納スルコトヲ得ス命令書ハ第二十八號書式ニ依ルヘシ

第六十四條 物品會計官吏ハ第二十九號書式ノ物品出納簿ヲ備ヘ出納ヲ登記シ現品ヲ整理スヘシ

前項帳簿ノ外便宜補助簿ヲ備フルコトヲ得

第六十五條 左ノ物品ハ物品會計官吏ノ保管外トシ物品出納簿ニ登記スルコトヲ要セス

一 購入ノ際直ニ消費スルモノ

二 公文印刷物、電信符號、電話番號帳、官報、職員錄、曆、新聞、雜誌ノ類

第六十六條 特別文具ハ左ノ場合ニ限り官費支辨トス

一 筆墨(辭令用、筆曆版用、小使用、受付用「公衆用ニ限ル」、訟廷用「公衆用ニ限ル」、在監人用)

一 ペン、ペン軸、インキ、押紙、定本(簿記用、筆曆版用)

一 肉池、印肉(官印捺用)

一 製圖具(製圖用)

第六十七條 各部局ニ物品擔當者ヲ置キ其ノ部局ニ於テ要スル物品ノ受拂及保管ニ關スル事務ヲ擔當セシム

ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ適宜ノ帳簿ヲ設ケ出納ヲ明確ナラシムヘシ

第六十八條 郵便切手ハ郵便物發送ノ際物品會計官吏ニ於テ之ヲ貼用シ第三十號書式ノ郵便發送簿ニ登記ス

ヘシ

第六十九條 職員專用ノ物品ハ專用者ヲシテ、擔當者保管ノ物品ハ擔當者ヲシテ保管ノ責ニ任セシメ物品會

計官吏之ヲ監督スヘシ

共用物品ハ物品會計官吏ノ保管トス

第七十條 故意又ハ怠慢ニ因リ物品ヲ亡失毀損シタル者アルトキハ其ノ者ヲシテ物品又ハ代價ヲ以テ辨償セシムヘシ

物品ヲ亡失又ハ毀損シタル者ヲ知ルコト能ハサル場合ニハ保管者辨償ノ責ニ任スヘシ但シ相當ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十一條 物品出納命令官ハ物品中使用ニ堪ヘス又ハ使用ノ用途ナキモノノ處分ヲ要スルトキハ其事由ヲ司法廳長官ニ申報スヘシ但シ價格五十圓未満ノモノハ此ノ限ニ在ラス

物品出納命令事務分掌者前項ノ必要ヲ認メタルトキハ物品出納命令官ニ報告スヘシ

第七十二條 物品出納命令官及其ノ事務分掌者ハ物品會計規則第十二條ニ依リ検査官吏ヲシテ毎年度末日又ハ物品會計官吏交替ノ際現在品及出納ノ實況ヲ調査シ第三十一號書式ノ調査ヲ作ラシムヘシ
物品會計官吏ハ物品會計規則第十八條ニ依リ前項ノ調査ヲ以テ計算書ニ代ヘ證書類ヲ添ヘ明治三十四年四會計検査院達物品出納證明規程ニ依リ年度經過後又ハ物品會計官吏交替後一月以内ニ之ヲ物品出納命令官ニ提出スヘシ但シ區裁判所及監獄分監ニ於テハ物品會計官吏ハ物品調査ニ證書類ヲ添ヘ物品出納命令事務分掌者ニ提出シ分掌者ハ之ヲ物品出納命令官ニ提出スヘシ物品出納命令官物品調査ヲ受ケタルトキハ速ニ下検査ヲ爲シ下検査書(書式第十三號ニ準ス)ヲ添ヘ之ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

第八章 官有財産

第七十三條 控訴院長、地方裁判所長及典獄ハ各其ノ監理ニ屬スル官有財産ヲ保管スヘシ但シ區裁判所ニ於テハ上席判事又ハ一人ノ判事、監獄分監ニ於テハ分監長ヲシテ保管事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

各級裁判所ノ廳舎合併ノ場合ニ於テハ上級裁判所ノ長前項ノ財産ヲ保管ス

第七十四條 官有財産ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ整理スヘシ

- 一 土地及其ノ附屬物
- 二 營造物及其ノ附屬物

三 家屋及其ノ附屬物

四 船舶及其ノ附屬物

第七十五條 官有財産ノ買賣、讓與、交換、貸付其ノ他物權ノ得喪ヲ生スヘキ處分ヲ要スルトキハ其ノ事由ヲ司法廳長官ニ申報スヘシ

第七十六條 會計事務監理者ハ第七十四條ニ掲ケタル區別ニ從ヒ第三十二號書式ノ官有財産臺帳ヲ設ケ其ノ所屬ノ官有財産ヲ登記スヘシ

第七十七條 會計事務監理者ハ其ノ所屬ノ土地建物及船舶ノ圖面ヲ備フヘシ地圖及建物圖ハ第三十三號書式ノ記載例ニ依リ之ヲ調製シ船舶ノ圖面ハ適宜ニ之ヲ調製スヘシ

圖面ニ變更ヲ要スヘキ事項ノ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ更正スヘシ

第七十八條 官有財産ノ價格ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ定ムヘシ

- 一 買上ニ係ルモノハ其ノ買上代價
 - 二 新築ニ係ルモノハ其ノ建築費
 - 三 交換ニ因リテ得タルモノハ其ノ評定價格
 - 四 保管轉換ニ因リテ得タルモノハ其ノ目錄ニ掲ケタル價格又ハ其ノ評定價格
 - 五 買上代價若ハ建築費ノ不明ナルモノハ總テ其ノ評定價格
- 第七十九條 官有地ノ境界ハ之ヲ明確ニシ成ルヘク不朽ノ物質ヲ以テ界標ヲ設クヘシ
- 第八十條 官有財産ハ十年毎ニ其ノ年三月三十一日ノ現在ヲ調査シ第三十四號書式ニ依リ現在目錄ヲ調製シ翌年度四月三十日迄ニ之ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ但シ第一回ノ目錄ハ明治四十四年三月三十一日ノ現在ニ依リ調製スヘシ

第八十一條 每會計年度間ニ於ケル官有財産ノ増減異動ハ第三十五號書式ニ依リ報告書ヲ調製シ翌年度四月三十日迄ニ之ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

前項ノ期間内ニ増減異動ナキモノハ其ノ旨ヲ申報スヘシ

第八十二條 第八十條ノ現在目録及前條ノ報告書ニハ第七十七條ニ依リ調製シタル土地建物及船舶ノ圖面ヲ添附スヘシ

第八十三條 官有建物ノ内部ニ變更ヲ加ヘ前ニ提出シタル建物圖ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ更正圖面ヲ調製シ之ヲ司法廳長官ニ提出スヘシ

官有財産ノ名稱又ハ番號ノ變更アリタルトキハ第三十六號書式ノ報告書ヲ提出スヘシ

第八十四條 天災其ノ他ノ災害ニ因リ官有財産ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ速ニ其ノ事由ヲ司法廳長官ニ申報スヘシ

附 則

第八十五條 高等法院、京城控訴院、京城地方裁判所及京城區裁判所ノ會計事務ハ司法廳ノ直轄トシ左ノ順序ニ依リ之ヲ處理ス

一 歳入徴收官ハ司法廳長官ヲ以テ之ニ充テ物品出納命令官ハ司法廳庶務課長ヲ以テ之ニ充ツ

二 歳入歳出外現金又ハ保管物ノ出納ヲ要スルトキハ司法廳庶務課長其ノ受拂ヲ命スヘシ但シ判事又ハ檢事ノ命令アルモノハ此ノ限ニ在ラス

三 收入官吏、歳入歳出外現金出納官吏、明治二十六年九月大藏省令第二十號保管物取扱主任及物品會計官吏ハ司法廳又ハ裁判所ノ職員ノ中ヨリ司法廳長官之ヲ命ス

四 事務取扱ノ手續ハ總テ本則ノ規定ヲ準用ス
(書式略ス)

●物品會計規則

二十二年六月
勅令第八十四號

改正
三四年勅令七七號
三三年三一八號

朕物品會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

物品會計規則

第一條 此ノ規則ニ於テ物品ト稱スルハ政府ニ屬スル器具、器械、備品、消耗品、動物其ノ他一切ノ動産ヲ云フ但シ陸海軍ノ兵備ニ關ルモノハ各其ノ規則ニ依ル

政府ノ保管ニ屬スル物品ニシテ各省大臣ニ於テ特ニ指定スルモノハ本規則ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ各省大臣ヨリ會計検査院ヘ通知スヘシ

第二條 物品ノ會計ハ總テ年度ヲ以テ區分シ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル十二箇月ヲ以テ一年度トス

第三條 物品ノ會計ハ現ニ其ノ出納ヲ執行シタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ區分スヘシ

第四條 物品ヲ保管シ之カ出納ヲ掌ル者ヲ物品會計官吏トス

第五條 總テ物品ハ責任アル官吏ノ保管ニ付スヘシ

第六條 物品會計官吏ハ各省大臣ノ定メタル規程ニ據リタル命令アルニアラサレハ物品ヲ出納スルコトヲ得ス

第七條 物品會計官吏ハ其ノ故意怠惰ニ由リ保管ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ辨償ノ責ニ任スヘシ

第八條 各省大臣ノ定メタル規程ニ據リ各官吏以下ノ使用ニ供シタル物品ノ亡失毀損ニ就テハ物品會計官吏ハ合規ノ監督ヲ怠リタル場合ノ外ハ其ノ責任ヲ免ルコトヲ得

第九條 物品會計官吏ハ各省大臣ノ命シタル代理官ノ所爲ニ就テハ其ノ責任ヲ免ルコトヲ得

第十條 物品會計官吏ハ其ノ代理セル所爲ニ就テハ物品會計官吏タルノ責任ヲ免ルコトヲ得ス

第十條 物品會計官吏ハ物品ノ出納帳簿ヲ備ヘ其ノ出納ノ事實ヲ登記スヘシ

物品ノ消耗賣拂亡失毀損生産ノ爲メノ消費及其ノ他物品會計官吏ノ保管ヲ離ルルヲ出トシ買入生産及其ノ他其ノ保管ニ屬スルヲ納トス

第十條ノ二 各省大臣ハ検査ノ官吏ヲ命シ四年以内ヲ以テ一期トシ物品會計官吏ノ保管スル物品ノ全部ヲ精

細ニ検査セシメ其ノ調書ヲ作ラシムヘシ但シ廳費ニ屬スル物品ハ各省大臣適宜ニ検査ノ方法ヲ設クヘシ
第十一條 常時出納ヲナササル倉庫若ハ貯藏所ノ物品ハ各省大臣ヨリ毎年一回若ハ物品會計官吏交替ノ際検査ノ官吏ヲ命シ目錄ト現在品ノ照合ヲナサシメ其ノ調書ヲ作ラシムヘシ

第十二條 在外各廳其ノ他特ニ主任ノ官吏ヲ置ク能ハサル支部局ニアル物品ハ各省大臣ヨリ毎年一回若ハ物品會計官吏交替ノ際検査ノ官吏ヲ命シテ現在品及出納ノ實況ヲ調査セシメ其ノ調書ヲ作ラシムヘシ

第十三條 第十條ノ二、第十一條、第十二條ノ調書ニハ検査官吏及検査ヲ受ケタル物品會計官吏若ハ特ニ命セラレタル立會人之ニ署名スヘシ

第十四條 (削除)

第十五條 物品會計官吏ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受ル爲メ毎年度間ニ執行シタル物品出納ノ計算書ヲ製シ會計検査院所定ノ期限内ニ證據書類ヲ添ヘ之ヲ本屬大臣ニ差出スヘシ

物品會計官吏交替ヲ爲シタルトキ前任官吏ハ前項ニ準シテ計算書ヲ差出スヘシ但シ前任官吏死亡其ノ他ノ事故ニ由リ自身計算書ヲ調製スル能ハサル場合ニ於テハ各省大臣ハ他ノ官吏ニ命シテ之ヲ調製セシムヘシ

第十六條 前條第二項但書ニ據リ調製シタル計算書ハ責任ヲ有スル物品會計官吏ノ自身ニ調製シタルモノト同一ニ見做シ會計検査院ニ於テ検査判決ヲナスヘシ

第十七條 各省ノ部局長若ハ特ニ監督ノ任アル官吏ハ第十五條計算書ノ下検査ヲ執行シ其ノ下検査書ヲ添付シテ之ヲ會計検査院ヘ送付スヘシ

第十八條 常時出納ヲナササル倉庫若ハ貯藏所ノ物品又ハ在外各廳其ノ他特ニ主任ノ官吏ヲ置ク能ハサル支部局ノ物品ヲ保管スル物品會計官吏ハ第十一條又ハ第十二條ノ調書ヲ以テ第十五條ノ計算書ニ代ヘ責任ノ解除ヲ會計検査院ニ求ムルコトヲ得

第十八條ノ二、會計検査院法第十六條ニ依リ委託検査ニ付シタル物品ニ對シテハ帳簿ヲ以テ出納ヲ證明セシメ第十五條ノ計算書ヲ省略スルコトヲ得

第十九條 會計規則第八十四條、第八十五條、第八十八條、第八十九條、第九十八條ノ二及第百二條乃至第百十條ハ物品會計官吏ニ準用ス

第二十條 物品ノ保管出納ニ關スル規定及帳簿ノ様式ハ各省大臣之ヲ定メ發布前會計検査院ヘ通知スヘシ

第二十一條 官吏ノ執務上必要ナル物品ノ交付及其ノ交付ヲ受タル官吏ノ責任ニ就テハ各省大臣之ヲ規定スヘシ

第二十二條 此ノ規則ハ明治二十二年十月一日ヨリ施行ス

●統監府及理事廳物品會計規程

三十九年三月
統監第二號

理 事 廳

統監府及理事廳物品會計規程左ノ通之ヲ定ム

統監府及理事廳物品會計規程

第一條 物品會計規則第十二條ニ依ル物品検査官吏ハ統監府ニ在リテハ總務長官理事廳ニ在リテハ理事官ニ於テ其ノ職員ノ一名ニ之ヲ命スルモノトス

第二條 検査官吏ハ毎年度末日ニ於テ現在品及出納ノ實況ヲ調査シ別紙書式ノ調書ニ通テ作製スヘシ前項ノ調書ハ理事廳ニ在リテハ年度經過後一箇月以内ニ統監府ニ提出スヘシ

物品會計官吏交替シタル場合ニ於テハ其ノ検査官吏ハ事務引繼ノ日ニ於テ第一項ノ書式ニ準シ引繼ニ關スル調書ヲ作製スヘシ但シ年度末ニ至リ第一項ノ調書ニ前任物品會計官吏署名ヲ爲シ且備考欄内ノ末位ニ前後主任官吏ノ管理期ヲ記入スルトキハ事務引繼ニ關スル調書ノ作製ヲ省略スルコトヲ得

第三條 購入物品ニシテ購買ノ際直ニ消費スルモノ又ハ公文、簿冊、電信符號等ハ物品會計官吏ノ管理外トス

第四條 調書ニハ同一名稱ノ物品ハ其ノ品質ノ異同ヲ問ハス之ヲ集合記載シ若シ附屬ノ物品アルモノハ摘要

欄内へ其ノ名稱、員數等ヲ記載スヘシ

第五條 物品中ノ年歴ヲ經テ使用ニ堪ヘサルモノ又ハ將來使用ノ目途ナキモノト雖尙多少ノ價格アリト認ムルモノハ其ノ品名、數量、購入年月日、購入價格(購入年月日價格等詳ナラスシテ從來其ノ評價ヲ付シタルモノハ其ノ評價)等ヲ具シ統監府ニ在リテハ會計課長、理事廳ニ在リテハ理事官ヨリ統監(經伺ノ上處分)スヘシ

第六條 新ニ購入、寄贈若ハ保管轉換、毀損、拂下等ノ爲増減ヲ生シタル物品アルトキハ調書中其ノ品名ノ備考ニ事由及年月日ヲ詳記スヘシ賣拂ノ物品アルトキハ調書ニ經伺ノ年月日、品名、數量、賣拂ノ代價、年月日等ヲ詳記シタル會計課長又ハ理事官ノ證明書ヲ添付スヘシ

第七條 總テ調書ニハ物品會計規則第十三條ニ依リ検査官吏及物品會計官吏之ニ署名スヘシ但シ事故ニ依リ物品會計官吏自ラ検査ヲ受クルコト能ハサルトキハ總務長官又ハ理事官ノ特ニ命シタル立會人之ニ署名スヘシ

物品會計官吏ハ前項ニ依リ署名シタル調書ヲ以テ物品會計規則第十五條ノ計算書ニ代用シ統監ハ之ヲ下検査官吏ニ交付シ會計検査院ヘ送付セシムルモノトス

第八條 物品出納簿様式ハ物品會計官吏便宜之ヲ定メ保管物品ノ受拂及其ノ價格年月日等ヲ詳記スヘシ

第九條 下検査官吏ノ職務ハ總務長官之ヲ行ヒ物品出納ノ命令ハ統監府ニ在リテハ會計課長、理事廳ニ在リテハ理事官之ヲ發スルモノトス

附則

第十條 本規程ハ明治三十八年度ヨリ之ヲ施行ス書式ハ之ヲ略ス

●印紙類出納規程

三十二年三月
大訓第十三號

改正

三十五年
大訓五一號
四十二年
大訓七號

明治二十四年(當省訓令第三十三號)印紙類出納規程左ノ通改正ス

印紙類出納規程

第一條 印紙類ノ出納ハ總テ此ノ規程ニ依リ取扱フヘシ

第二條 印紙類出納ノ命令ハ總務局總務長官及稅務署長之ヲ行フヘシ

第三條 印紙類會計官吏ハ大藏屬及稅務署屬ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 印紙類ノ出納ハ左ノ區別ニ從ヒ命令スヘシ

- 一 製造ニ係ルモノハ現印紙受領ノトキ
- 二 請求及還付ニ係ルモノハ現印紙到達シタルトキ
- 三 請求及還付ノ爲メ發送ニ係ルモノハ受領應當該官吏ノ領收證書到達シタルトキ
- 四 賣下ニ係ルモノハ賣捌人ヘ引渡ヲ爲ストキ
- 五 買戻ニ係ルモノハ現印紙ヲ納付シタルトキ
- 六 交換ニ係ルモノハ現印紙ノ授受ヲ爲ストキ
- 七 損傷汚染ニ係ルモノハ燒却ヲ爲ストキ

第五條 請求及還付ノ爲メ印紙類ヲ發送セムトスルトキハ現印紙發送ノ際發送命令ヲ爲スヘシ

第六條 前二條ノ命令ハ左ノ書類ノ欄外ニ其ノ年月日支出受納又ハ發送ノ文字ヲ記載シ印紙類出納命令官之ニ認印スヘシ

- 一 請求書
- 二 引渡書
- 三 領收證書
- 四 發送報告
- 五 返納書

六 其ノ他願書等

第七條 稅務署印紙類出納命令官ハ需用ノ實況ヲ量リ所要ノ印紙ヲ概算シ其ノ種類員數ヲ記載シ大藏省印紙類出納命令官ニ請求スヘシ

第八條 大藏省印紙類出納命令官前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ第五條ニ依リ發送命令ヲ爲スヘシ

第九條 印紙類會計官吏ハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ但シ整理上必要ノ補助簿ハ適宜之ヲ設クルコトヲ得

一 印紙類出納簿 大藏省ハ第一號様式 稅務署ハ第二號様式

二 印紙類發送簿 第三號様式

印紙類出納簿ハ第四條ノ命令ニ依リ之ヲ登記シ印紙類發送簿ハ第五條ノ命令ニ依リ之ヲ登記スヘシ帳簿ニ登記以前現印紙ノ支出ヲ爲スコトヲ得ス

第十條 印紙類會計官吏印紙類ノ出納及發送命令ヲ受ケタルトキハ直ニ當該帳簿ニ登記スヘシ

第十一條 印紙類會計官吏印紙類ノ發送命令ヲ受ケ當該帳簿ニ登記ヲ了シタルトキハ現印紙ハ之ヲ運送請負者若クハ小包郵便(價格表記)ニ托シ同時ニ受領應印紙類出納命令官ニ發送報告ヲ爲スヘシ

第十二條 發送ノ印紙類到達シタルトキハ印紙類會計官吏ハ運送請負者又ハ其ノ代理人立會ノ上特ニ印刷局ノ封包ニ注意シ異狀ナキモノハ封包ノ儘種類員數ヲ調査シ受納命令書ニ照シ符合ヲ認メタル上之ヲ受領シ

若其ノ種類員數受納命令ニ符合セス又ハ損傷汚染アルトキハ其事由書ヲ徵シ直ニ印紙類出納命令官ニ差出シ更ニ其ノ命令ヲ得テ現印紙ヲ受領スヘシ

小包郵便ニテ到達シタル場合亦本條ニ準ス

第十三條 印紙類出納命令官前條ノ事由書ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ調査シ其ノ事實ヲ詳記シ發送應印紙類出納命令官ニ報告スヘシ

第十四條 發送ノ印紙相當ノ期日內ニ到達セザルトキハ受領應印紙類出納命令官ハ發送應印紙類會計官吏ニ

其ノ旨ヲ通知スヘシ

第十五條 稅務署ニ於テ賣捌人へ賣下ノ印紙ハ其ノ代價納付済ノ上(代價延納許可ノモトヲ除ク)領收證書ト引換ニ之ヲ下渡スヘシ

第十六條 印紙類ヲ貯藏スル倉庫ノ鎖鑰ハ印紙類會計官吏之ヲ保管スヘシ

第十七條 印紙類會計官吏ハ時時其保管ノ印紙類ヲ點檢シ常ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一 印刷局封包ニ異狀ナキヤ否ヤ

二 損傷汚染ニ屬スルモノナキヤ否ヤ

三 謾固著ニ係ルモノナキヤ否ヤ

四 其ノ他保管上必要ノ事項

第十八條 印紙類會計官吏保管ノ印紙類損傷汚染ニ屬スルモノアルトキハ該印紙ノ種類員數ヲ調査シ其ノ事由ヲ記載シ印紙類出納命令官ノ命令ヲ得テ損傷拂ニ立テ命令官立會ノ上之ヲ燒却スヘシ

前項ニ依リ燒却ニ立會タル命令官ハ之カ證明書ヲ作り印紙類會計官吏ニ之ヲ交付スヘシ

第十九條 稅務署印紙類會計官吏保管ノ印紙類印刷局封包ノ儘謾固著ニ係ルモノアルトキハ印紙類會計官吏ハ印紙類出納命令官ノ命令ヲ得テ第十一條ニ依リ大藏省印紙類會計官吏ニ之ヲ還付スヘシ

第二十條 前條還付ノ印紙到達シタルトキハ大藏省印紙類會計官吏ハ印紙類出納命令官ノ認可ヲ得テ之ヲ印刷局ニ回付シ分離ノ手續ヲ爲サシムヘシ但シ分離ノ爲メ損傷ニ屬スルモノハ第十八條ニ依リ處分スヘシ

大藏省印紙類會計官吏保管ノ印紙類謾固著ニ係ルモノアルトキ亦同シ

第二十一條 印紙類會計官吏保管ノ印紙類亡失シタルトキハ印紙類會計官吏ハ遲滯ナク其ノ事由年月日及該

印紙ノ種類員數ヲ詳細ニ記載シ印紙類出納命令官ニ報告スヘシ

印紙類出納命令官前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ其ノ事實ヲ審査シ關係書類ヲ添へ總務局ニ在テハ直ニ稅務

署ニ在テハ稅務監督局長ヲ經由シテ之ヲ大藏大臣ニ申報スヘシ

第二十二條 印紙類出納命令官及稅務監督局長ハ監督上必要アリト認ムルトキハ印紙類會計官吏保管ノ帳簿及印紙類ヲ檢査シ又ハ特ニ他ノ官吏ニ命シテ之ヲ檢査セシムヘシ

第二十三條 印紙類會計官吏保管ノ印紙類其ノ年度内ニ支出ニ至ラサルモノハ總テ翌年度ノ元受ニ組入ルヘシ

還付買戻又ハ交換ニ由リテ受領シタル印紙類ハ總テ其ノ年度ノ元受ニ組入ルヘシ

第二十四條 印紙類會計官吏ハ毎月末日其ノ保管ニ係ル印紙類ノ現在高表ヲ調製シ翌月五日以内ニ印紙類出納命令官ニ報告スヘシ

第二十五條 稅務署印紙類出納命令官ハ翌年度所要ノ印紙類概算書ヲ調製シ毎年二月十五日以内ニ其ノ廳ヲ發シ大藏省印紙類出納命令官ニ報告スヘシ

第二十六條 稅務署印紙類出納命令官ハ第四號様式ニ依リ印紙類會計官吏ヲシテ毎會計年度間ニ於ケル印紙類ノ賣上高表ヲ調製セシメ翌年度四月十日以内ニ其廳ヲ發シ稅務監督局長ニ報告スヘシ

稅務監督局長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ同報告書式ニ依リ賣上高集計表ヲ調製シ四月二十日以内ニ大藏省主稅局長ニ報告スヘシ

第二十七條 印紙類會計官吏ハ物品會計規則第十五條ニ依リ明治三十四年會計檢査院達第一號物品出納證明規程ニ基キ毎年度間ニ執行シタル印紙類ノ出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ明治三十三年會計檢査院達第三號ノ期限内ニ之ヲ印紙類出納命令官ヘ差出スヘシ

前項及第二十八條ノ計算書ハ稅務署ニ在テハ印紙類出納命令官ヨリ之ヲ稅務監督局長ニ差出スヘシ

第二十八條 印紙類會計官吏交替シタルトキハ前任官吏ハ前條ニ準シ計算書ヲ調製シ印紙類出納命令官ニ差出スヘシ若前任官吏死亡其他ノ事故ニ因リ自身計算書ヲ調製スル能ハサル場合ニ於テハ印紙類出納命令官他ノ官吏ニ命シテ之ヲ調製セシムヘシ

第二十九條 前二條ノ計算書下檢査ハ明治三十四年會計檢査院達第一號物品出納證明規程ニ依リ大藏省ニ於テハ總務局總務長官稅務署ニ在テハ當該稅務監督局長之ヲ執行シ其下檢査書ヲ添ヘ明治三十三年會計檢査院達第三號ノ期限内ニ其廳ヲ發シ之ヲ會計檢査院ヘ送付スヘシ

第三十條 遞信省及統監府所管韓國郵便局ヨリ印紙類ノ請求アリタルトキハ總テ此ノ規程ニ依リ取扱フヘシ

護謄固著ニ係ル印紙類ノ還付アリタルトキ亦同シ
様式ハ之ヲ略ス

●韓國森林特別會計法

四十年三月
法律第二十四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル韓國森林特別會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

韓國森林特別會計法

第一條 鴨綠江及豆滿江沿岸森林ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ事業上ノ收入ヲ以テ其ノ支出ニ充テシム

第二條 韓國森林特別會計ノ資本額ハ百二十萬圓トシ其ノ半額ハ韓國政府ノ分擔金ヲ以テ之ニ充ツ前項資本金ハ必要ニ應シ漸次一般會計ヨリ繰入シ又ハ韓國政府ヨリ受入シム但シ事業用物件ヲ以テ出資額ニ充ツルコトヲ得

第三條 毎年度事業上ノ損益ハ前條出資額ニ應シ之ヲ一般會計及韓國政府ニ分配ス

第四條 政府ハ毎年韓國森林特別會計歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第五條 毎年度ノ豫算ニハ災害事變其ノ他豫期セサル歲出ノ不足ニ應スル爲豫備費ヲ設クヘシ

第六條 本會計ノ事業ハ事宜ニ依リ森林經營ヲ目的トスル會社ニ委託シテ之ヲ經營スルコトヲ得

第七條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●韓國森林特別會計規則

四十年三月
勅令第八十八號

改正

四一年
勅令一四〇號

朕韓國森林特別會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

韓國森林特別會計規則

第一條 歳入歳出ノ豫定計算書ハ之ヲ資本勘定及收益勘定ニ區分シ所管大臣之ヲ調製シ前年度八月三十一日迄ニ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條 資本勘定ニ在リテハ韓國森林經營ノ爲一般會計ヨリ支出スル資金及韓國政府分擔金並資本所屬物件ノ賣拂代ヲ以テ其ノ歳入トシ土地、船舶、機械、重要ナル器具ノ購入費及工作物ノ建設費ヲ以テ其ノ歳出トス

收益勘定ニ在リテハ作業上ノ收入及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ作業上ノ諸費用及資本所屬物件ノ維持修理並補充費ヲ以テ其ノ歳出トス

第三條 資本ニ屬スル現金ハ收益勘定ノ仕拂元受高ニ繰換使用スルコトヲ得

收益勘定ニ於テハ前項ニ依リ繰換タル資本ニ屬スル現金及當該年度ノ收入濟歳入額ヲ以テ仕拂元受高トシ歳出ヲ支出スルハ此ノ仕拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ス

第三條ノ二 所管大臣ハ其ノ年三月三十一日ニ終リタル會計年度ノ受拂勘定表及資本勘定現計表ヲ調製シ歳入歳出ノ豫定計算書ニ添附スヘシ

第四條 受拂勘定ハ收益勘定ニ屬スル歳入ノ收入濟額、收入未濟額、現金ノ持越高、總生産品ノ價格及作業場用總備品ノ價格ヲ以テ受入トシ其ノ歳出ノ支出濟額、支出未濟額、資本勘定繰換借額、賣拂代價收入濟

木材ノ價格及損失ニ歸シタル木材ノ價格ヲ以テ拂出トシ受入ノ總額ヨリ拂出ノ總額ヲ控除シ殘餘アルトキハ事業上ノ益金トシ韓國森林特別會計法第三條ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第五條 大藏省ハ資本勘定及收益勘定ニ屬スル主計簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額、歳出ノ豫算額、豫算決定後增加額、仕拂元受高、支出濟額、翌年度繰越額、殘額ヲ登記スヘシ

第六條 統監府營林廠ハ口記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ一切ノ計算ヲ登記スヘシ

第七條 金庫出納役ハ資本勘定及收益勘定ニ屬スル支出簿並收益勘定ニ屬スル仕拂元受高差引簿ヲ備ヘ支出簿ニハ歳出ノ豫算額、仕拂請求書受領濟額ヲ登記シ仕拂元受高差引簿ニハ仕拂元受高、仕拂請求書受領濟額、仕拂額ヲ登記スヘシ

第八條 本令ニ規定セサル事項ニ關シテハ作業會計規則ノ各條項ヲ準用ス

附則

本令ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

●同上會計規則ニ要スル帳簿等様式

四十年三月
大令第十六號

改正

四一年
大令第三二號

韓國森林特別會計規則ニ據リ同會計ニ要スル諸書類帳簿等ノ様式左ノ通相定ム

一 仕拂豫算計算書ノ様式ハ明治二十三年大藏省令第九號中第四號書式ニ準據ス

一 領收證書、現金拂込書、仕拂請求書ノ様式ハ明治二十三年大藏省令第九號中第二十號第二十一號及第二十二號乃至第二十四號書式ニ準據ス

一 受拂勘定表、資本勘定現計表ノ様式ハ別表第一號及第二號書式ニ依ル

一 徵收報告書、徵收合計表金庫出納役仕拂請求書受領濟額報告書ノ様式ハ明治二十三年大藏省令第九號中第五號第六號及第七號書式ニ準據ス

一 繰越計算書ノ様式ハ明治二十六年大藏省令第三十二號中第八號書式ニ準據ス

一 主計簿其ノ他諸帳簿ノ様式ハ明治二十三年大藏省令第九號書式ニ準據ス

附則

本令ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス
(別表略之)

第二章 豫算及決算

●歳入歳出豫算概定順序

二十二年三月
閣令第十二號

改正

二六年
閣令三號

各 官 廳

歳入歳出豫算概定順序

第一條 歳入ノ事務管理廳ハ毎年度歳入概算書ヲ調製シ前年度五月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條 歳入概算書ハ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之ヲ款項目ニ區分シ前年度ノ豫算ニ比シ増減ノ理由ヲ説明スヘシ

第三條 各省大臣ハ毎年度歳出概算書ヲ調製シ前年度五月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四條 歳出概算書ハ各省ノ所管經費ヲ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之ヲ款項ニ區分シ前年度ノ豫算ニ比シ増減ノ理由ヲ説明スヘシ

第五條 大藏大臣ハ各廳ノ歳入概算書及歳出概算書ヲ檢案シ歳入出ヲ對照調理シ歳入出總概算書ヲ調製シ前年度六月三十日マテニ之ヲ閣議ニ提出スヘシ

第六條 歳入出總概算書ハ歳入出共ニ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之ヲ款項ニ區分シ前年度ニ比シ増減ノ理由ヲ説明スヘシ

第七條 内閣ニ於テハ前年度七月十五日マテハ歳入出總概算書ヲ決定スヘシ

第八條 各省大臣ハ内閣ニ於テ決定シタル各省所管經費毎項ノ概算額以内ニ於テ節約ヲ旨トシ毎年度ノ各省豫定經費要求書ヲ調製シ前年度八月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第九條 歳入概算書及歳出概算書ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第十條 明治二十三年度豫算ニ限り前各條ノ期限ヲ一箇月間延スコトヲ得

三八〇

二十二年四月 改正 二十三年
大訓第二十二號 大訓三號

府 縣

本年三月閣令第十二號歳入歳出概算順序定メラレ候ニ付歳入概算書様式別冊ノ通相定候條左ノ期限ニ依リ調製送付スヘシ

但様式ハ別ニ之ヲ願ツ (様式略ス)

一 第一款租税山借區概算書ハ前々年度二月二十八日迄ニ當省へ送付スヘシ

但二十三年度ニ限り四月二十日迄ニ送付スヘシ

一 第二款以下其他ノ歳入概算書ハ前々年度三月三十一日限

但二十三年度ニ限り四月三十日迄ニ送付スヘシ

●豫定經費算出概則 二十二年六月 閣令第十九號

各 省

豫定經費算出概則

第一條 經費ヲ算出スルニハ其必要ヲ生スル法律命令契約其他經費ヲ請求スル確實ノ理由ヲ示スヘシ

第二條 經費中共給與ニ屬スルモノハ一人當リノ給額ヨリ積算シ又其物件ニ屬スルモノハ一箇當リノ費用ヨリ積算スヘシ

第三條 一人當リノ給額ヲ算出スルニハ規定ノ給額アルモノハ其規定ノ額ヲ基トシ又規定ノ給額ナキモノハ各其據ル所ヲ示スヘシ

第四條 一箇當リノ費用ヲ算出スルニハ規定ノ價格アルモノハ其價格ヲ基トシ又規定ノ價格ナキモノハ時々ノ相場ニ據リ其據ル所ヲ示スヘシ

第五條 給與ニ屬スル經費ヲ積算スルニハ定員アルモノハ定員ヲ限度トシ定員ナキモノハ前年度四月一日ノ現員ヲ標準トスヘシ但事務ノ繁閑ニ隨ヒ臨時備入及解備ヲナス人員ハ前々年度以前三箇年度ノ人員ノ平均ヲ標準トスヘシ

第六條 物件ニ屬スル經費ヲ積算スルニハ規定ノ箇數アルモノハ規定ノ箇數ヲ限度トシ規定ノ箇數ナキモノハ前々年度以前三箇年度間ニ實際使用ニ供シタル箇數ノ平均ヲ標準トスヘシ

第七條 國債償還ノ金額(定期アルモ)ハ財政ノ都合ニ依リ其利子及手数料ハ定規ニ據リ之ヲ豫算スヘシ

第八條 常例ノ旅行ニ屬スル旅費ハ各用務毎ニ人員、旅費等級、里程及滞在日數ヲ概定シテ豫算スヘシ

第九條 法律命令契約ニ據リ支出スヘキ總金額ノ定リタルモノハ其總金額ヲ以テ豫算額トスヘシ

第十條 前各條ニ據ルヘカラサル經費ハ最モ適宜ノ方法ヲ以テ豫算シ其計算ノ基ク所ヲ示スヘシ

●歳入歳出年度科目所管廳誤記訂正手續

三十一年七月 改正 三十六年
大訓第四十八號 大訓九號

警視廳 北海道廳 府 縣 稅 關
專賣局 造幣局 稅務監督局 稅務署
臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工部

明治二十七年五月大藏省訓令第三十號歳入歳出年度科目所管廳誤記訂正手續左ノ通改正ス

歳入歳出年度科目所管廳誤記訂正手續
一 歳入徴收官ニ於テ納額告知書又ハ納額通知書發付ノ後科目所管廳ニ誤記アルヲ發見シ之レカ訂正ヲ爲ストキハ徴收簿ニ訂正ノ記入ヲ爲シ其ノ記入ヲナシタルトキ既ニ其ノ月ノ計算締切後ナルトキハ訂正ヲ爲シタル月ノ徴收報告書ニ事由ヲ付シテ之レヲ掲記スルコト

二 前項ノ歳入金ニシテ既ニ納額告知書又ハ送付書若クハ納付書ニ依リ金庫ニ於テ現金領收ノ後ナルトキハ

歳入徴收官ヨリ又收入官吏ニ於テ現金拂込書ノ科目所管應ニ誤記アルヲ發見シタルトキハ收入官吏ヨリ關係金庫ニ之レカ訂正ヲ請求スル事

但科目ハ訂正ニシテ租税ト租税外收入トニ關聯セサルモノハ此限ニアラス

三 收入官吏ニ於テ科目所管應訂正書ヲ受ケタル收入金ハ既ニ納額告知書若クハ納付書ニ依リ金庫ニ現金ヲ領收セシモノナルトキ又ハ收入官吏ニ於テ現金拂込書ノ科目所管應ニ誤記アルヲ發見シタルトキハ直チニ收入官吏ヨリ關係金庫ニ其ノ科目所管應ノ訂正ヲ請求スル事

但本項ニ於テ科目ノ訂正ヲ金庫ニ請求スルハ國稅科目ト國稅外諸收入科目トノ誤記アル場合ニ限ル

四 金庫ニ於テ第二項ノ訂正請求若クハ明治二十四年大藏省令第十一號ニ依リ歳入年度ノ訂正請求ヲ受ケタルトキハ直チニ現金出納原簿歳入金各廳内譯簿其ノ他關係帳簿ニ之レカ訂正ノ記入ヲ爲ス事

五 仕拂命令官ニ於テ仕拂命令集合仕拂命令ヲ發行シタル後年度科目所管應ニ誤記アルヲ發見シタルトキハ年度科目所管應訂正書ヲ金庫ニ送付スル事

六 金庫ニ於テ第五項訂正書ノ送付ヲ受ケタルトキハ直チニ支出簿其ノ他關係帳ニ訂正ノ記入ヲ爲ス事
七 歳入歳出ノ誤記ヲ訂正スルハ總テ翌年度六月三十日限リトス

但金庫ニ於テ訂正ヲ爲スハ翌年度六月三十日以前訂正請求書ヲ受ケタルモノニ限ル
八 經理部ト臨時部トノ誤記モ本令ニ準シテ訂正スルコト

第三章 工事及物件ノ賣買貸借

●在外各廳工事又ハ物件賣買貸借隨意契約制 二十七年四月 勅令第四十號

朕在外各廳ニ於テ隨意契約ニ依リ工事又ハ物件ノ賣買貸借ヲ爲スノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
在外各廳ニ於テ工事又ハ物件ノ賣買貸借ヲ爲ストキハ隨意ノ契約ニ依ルコトヲ得

●統監府營林廠木材及製品賣拂代金延納ニ關スル制 四十二年七月 勅令第二百五號

統監府營林廠ノ木材又ハ製品ノ賣拂代金ハ一口三百圓以上ナル場合ニ限リ一年以内ノ延納ヲ許可スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ有價證券ヲ擔保トシテ提供セシムヘシ但シ統監ニ於テ之ヲ提供セシムルノ必要ナシト認

ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
擔保トシテ提供セシムヘキ有價證券ノ種類ハ統監之ヲ定ム

●同上延納ノ擔保タル有價證券ノ種類 四十二年十月 統令第二十七號

明治四十二年七月勅令第二百五號ニ依リ統監府營林廠ノ木材又ハ製品ノ賣拂代金延納ノ擔保トシテ提供スル有價證券ノ種類ハ國債證券、日本勸業銀行債券、日本興業銀行債券及貯蓄債券トス

第四章 收入

三八四

●租稅其ノ他ノ歳入金代用證券取扱ニ關スル制 三十八年二月 勅令第三十四號

朕租稅其ノ他ノ歳入金ノ代用證券取扱ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
租稅其ノ他ノ歳入金ノ代用トシテ證券ノ納付ヲ受ケタル場合ニ於テハ收入官吏及ヒ金庫ヲシテ現金ニ準シテ
其ノ取扱ヲ爲サシムルコトヲ得

●國債證券及其ノ利札ヲ以テ租稅其ノ他ノ歳入金ニ代用納付

方 三十八年二月 改正 四〇年大令二四號 四二年 大令第一號

第一條 無記名國債證券ハ其ノ元金償還期ノ開始前日以後、無記名國債證券ノ利札ハ其ノ利子任拂期ノ開始
前日以後ニ於テ租稅其ノ他ノ歳入金ノ全部又ハ一部ニ代用納付スルコトヲ得

前項ノ租稅其ノ他ノ歳入金ハ其ノ種目ヲ定メ別ニ之ヲ告示ス

第二條 前條若ハ他ノ特別ノ規定ニ依リ代用納付ヲ許サレタル證券ヲ以テ租稅其ノ他ノ歳入金ヲ納付セムト
スル者ハ國債證券及利札ニ在リテハ其ノ證券又ハ利札ヲ其ノ他ノ證券ニ在リテハ證券ノ種類、番號、金額
任拂期日及任拂場所ヲ記載シタル納付書(適式)ヲ作り其ノ證券ト共ニ之ヲ納稅告知書若ハ納入告知書ニ添
ヘ指定ノ場所ニ納付スヘシ

第三條 國債證券及利札ノ代用價格ハ左ニ掲クル金額ヲ超過スルコトヲ得ス

一 國債證券及利札ノ代用價格ハ其ノ證券及利札ニ依リ任拂ヲ受クルコトヲ得ヘキ金額ニ依ル

二 所得稅法ノ規定ニ依リ利子ノ所得稅ヲ徵收スヘキ利札ハ其ノ額面金額(前號ニ該當スルモ)中相當所得稅額
ヲ控除シタル金額

三 前各號ノ外ハ其ノ額面金額

所得稅法施行規則第三十五條ノ規定ハ國債證券ノ利札ヲ租稅其ノ他ノ歳入金ニ代用納付スル場合ニ之ヲ準
用ス

第四條 金庫、收入官吏又ハ市町村(市町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ戶長以下同シ)ニ於テ國債證券及利札ノ代用納付ヲ受ケタルトキ

ハ直ニ其ノ證券及利札ニ代用納付ノ印ヲ捺捺スヘシ

國債證券及利札ノ代用價格カ其ノ納付スヘキ租稅其ノ他ノ歳入金ノ金額ヲ超過スルモノハ之ヲ代用ニ供スル
コトヲ得ス

第五條 收入官吏又ハ市町村ニ於テ代用證券ノ納付ヲ受ケタルトキハ毎日之ヲ取纏メ納付任譯書ヲ作り拂込
書ヲ添ヘテ翌日マテニ金庫ニ拂込ムヘシ此ノ場合ニ於テハ現金出納簿ニ其ノ受拂額ヲ登記スルモノトス

國債證券及利札ヲ除ク外代用證券ノ任拂場所カ金庫所在地外ナルトキ若ハ任拂期日ノ切迫シタルモノニ在
リテハ收入官吏又ハ市町村ニ於テ之ヲ現金ト引換ヘタル上前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 金庫ニ於テ收入官吏市町村又ハ納入ヨリ代用證券ヲ領收シタルトキハ現金ト同一ニ整理シ直ニ任拂
場所ニ就キ任拂ヲ受クルノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 代用納付ノ押印アル國債證券及利札ニ對スル元利金ハ日本銀行本支店又ハ代理店ニ於テ金庫ヨリ請
求アリタル場合ニ限リ任拂ヲ爲スモノトス

第八條 特別ノ規定ニ依リ代用納付シタル證券ノ任拂ヲ拒絶セラレタル場合ニ於テハ金庫ハ其ノ證券ヲ直チ
ニ收入官吏市町村又ハ納入ニ還付スヘシ

收入官吏又ハ市町村ニ於テ前項ノ還付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ納入ニ通告スルト同時ニ更ニ相當ノ
期日ヲ定メテ現金納付ヲ命シ之ト引換ニ該證券ヲ還付スヘシ第五條第二項ノ場合ニ於テ收入官吏又ハ市町
村カ代用證券ノ任拂ヲ拒絶セラレタル場合及金庫ヨリ直接ニ納入ニ還付スル場合ニ在リテモ亦同シ

第九條 前條ノ場合ニ於テ納入カ指定ノ期日內ニ現金ヲ納付セサルトキハ金庫又ハ收入官吏ハ其ノ收入濟額
ヲ取消シ直ニ之ヲ歳入徵收官ニ報告スヘシ

第十條 (削除)

第十一條 國債證券及利札ノ代用納付ニ就テハ其ノ納付ノ時ヲ以テ元利金仕拂ノ請求ヲ爲シタルモノト看做ス
(別記之ヲ略ス)

●代用國債證券及利札ニ押捺スヘキ代用納付印

三十八年二月 大訓第十五號

北海道廳 府縣 收入官吏 金庫出納役 日本銀行

明治三十八年二月大藏省令第七號第四條ニ依リ金庫、收入官吏及市町村市町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ局長ニ於テ代用國債證券及利札ニ押捺スヘキ代用納付ノ印ハ左ノ雛形ニ依リ調製シ證券及利札ノ表面ニ朱肉ヲ以テ押捺スヘシ但シ其表面ニ於ケル印章及赤色ノ文字ニ掛ラサル様押捺スルコトヲ要ス

(雛形)

代用納付

字體 楷書
寸法 縦九分五厘
横四分五厘

●法令ノ規定ニ依リ國庫ニ於テ收入スヘキ代用證券取扱方

三十八年三月 大訓第二十三號

北海道廳 府縣 收入官吏 金庫出納役

法令ノ規定ニ依リ國庫ニ於テ收入スヘキ代用證券取扱方左ノ通相定ム

- 一 金庫ニ於テ支拂ヲ拒絶セラレタル代用證券ヲ收入官吏又ハ市町村(市町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ局長又ハ國公共團體)ヘ還付スルトキハ之ト引換ニ其證券ノ名稱、額面、種類、枚數、記號、番號等ヲ詳記シタル領收證書ヲ徴スヘシ
- 二 前項ノ場合ニ於テ收入官吏又ハ市町村カ隔地ナルトキハ金庫ハ適宜ノ送付書ヲ作り之ニ代用證券ヲ添ヘ

書留郵便又ハ其他ノ確實ノ方法ニ依リ送付シ送付書ノ原符及其送付ヲ證スヘキ書類ハ之ヲ金庫ニ保存スヘシ

三 前項ニ依リ收入官吏又ハ市町村ニ於テ代用證券ヲ受領シタルトキハ第二項ニ準シ領收證書ヲ金庫ニ送付スヘシ

四 收入官吏又ハ市町村ニ於テ金庫ヨリ仕拂ヲ拒絶セラレタル代用證券ヲ還付ヲ受ケ納人カ指定ノ期日内ニ現金ヲ納付シタルトキハ適宜ノ拂込書(何年何月何日拂込書何號分代用證券還付ニ付納人何某ヨリ現金納付ノ旨ヲ記入スルコト)ヲ作り速ニ之ヲ金庫ヘ拂込ムヘシ

五 前項ノ期日内ニ納人カ現金ヲ納付セサルトキハ收入官吏又ハ市町村ハ直ニ其旨ヲ金庫ヘ通知スヘシ

●官吏遺族扶助法納金收入規則

二十三年七月 改正 三二年勅令六〇號 勅令百二十五號

朕官吏遺族扶助法納金收入規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

官吏遺族扶助法納金收入規則

第一條 本年法律第四十四號官吏遺族扶助法第二條ニ依リ文官判任以上ノ者ヨリ國庫ニ納ムヘキ金員ハ俸給仕拂ノトキ金庫ニ於テ之ヲ差引ヘシ但シ現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ於テ俸給ノ仕拂ヲナストキハ該官吏ニ於テ之ヲ差引ヘシ

第二條 前條ニ依リ金庫ニ於テ差引シタル金員ハ歳入徵收官ノ計算ニ移シ直ニ報告書ヲ作り之ヲ歳入徵收官ニ送付スヘシ

前條ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル官吏及郡役所會計吏ニ於テ差引シタル金員ハ納金額表ヲ添ヘ之ヲ收入官吏ニ送付スヘシ

第三條 俸給ノ増減ニ依リ既納ノ金員ニ過不足ヲ生スルトキハ次期ノ俸給支給ノトキ之ヲ整理スヘシ
免官退官轉任死亡ニヨリ過渡俸給ノ返納ヲ要スルトキハ其百分ノ一ヲ納人ニ於テ差引スヘシ

官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序 二十三年七月 大訓第百十三號

改正 二六年二月大訓第六八號、三二年八號、三一年七四號、三二年一四號、三三年三八號、三三年三九號

北海道廳 府縣 稅務管理局
出納官吏 葉煙草專賣所
金庫 出納 役

本年勅令第百二十五號官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序左ノ通り心得ヘシ

第一條 (削除)

第二條 金庫ニ於テ明治二十三年大藏省令第十七號ヲ以テ規定シタル書式ノ任拂命令任拂請求書ヲ受ケ現金ノ任拂ヲ執行スルトキハ該任拂命令任拂請求書金額ノ内譯ニ列記シタル(集合任拂命令集合任拂請求書ニ付屬スル金額ニ依ル)國庫納金引去高ヲ控除シ現金支給高ヲ受取人ニ交付スヘシ
右控除ノ國庫納金引去高ハ普通任拂ノ順序ニ依リ一旦之ヲ拂出シ直ニ之ヲ相當年度ノ歳入ニ振替納付ヲナスヘシ

金庫出納事務規程第十八條ノ金庫所在地外ニ在ル債主ニ任拂ヲ要シ又ハ送金ヲナス場合ト雖モ國庫納金引去高ハ前項ノ順序ニ據ルモノトス

第三條 金庫ニ於テ前條ノ國庫納金引去高ヲ歳入金ニ振替納付シタルトキハ即日第二號書式ノ國庫納金引去高收入報告書ヲ調製シ歳入徵收官ヘ送付スヘシ

第四條 (削除)

第五條 歳入徵收官ニ於テ第三條ノ國庫納金引去高收入報告書ヲ受ケタルトキハ徵收簿收入濟額ノ欄内ヘ其

金額ヲ登記スヘシ

第六條 現金前渡ヲ受ケタル官吏及郡役所會計吏ニ於テ俸給任拂ノトキ官吏ノ納金額ヲ差引徵收シタルトキハ第三號書式ノ納金額表ヲ添ヘ之ヲ其廳ニ於テ普通ノ諸收入ヲ收入スル官吏ニ拂込ヘシ

第七條 前條ノ拂込ヲ受ケタル收入官吏ハ其拂込ヲナシタル收入官吏ニ現金ノ領收證書ヲ交付シ現金出納簿ノ登記及金庫ヘ拂込ノ手續ヲナスヘシ

第八條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ第六條ノ場合ニ於テハ現金ヲ領收スル收入官吏トシテ總テ其規程ニ依ルモノトス

第一號書式(削除)

收入金額	備考
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 何日 何金庫 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 何氏名 印 </div>	

某年度國庫納金額表						
前波仕拂命令之要領					債主氏名	收入金額
所管廳	年度仕拂命令 仕拂請求書	番號	仕拂命令 官官氏名	前渡官吏 官氏名		
[某][某]	二十三年度仕拂命令	第一號	[某][某]	[某][某]	[某]	050.0
	二十三年度集合仕拂請求書	第二號	[某][某]	[某][某]	[某外何人]	100.0
總高						150.0

書面ノ通及御引繼候也
 明治何年何月何日
 何廳納金額ヲ差引徵收シタル收入官吏
 何廳收入官吏官氏名宛

第三號書式

收入取扱總	備考
[某][某]	

官氏名印

第九條 金庫ニ於テ歲入金ニ振替未済ノ國庫納金引去高ハ毎月末ニ第四號書式ノ國庫納金引去高未済報告表ヲ調製シ歲入徵收官ヘ送付スヘシ

某年度歲入國庫納金引去高

所管廳	年度仕拂命令 仕拂請求書	仕拂命令 官官氏名
		明治何年何月 何廳歲入徵收

何年何月分某年度歳入國庫納金引去高未済額報告表 第四號書式

所管廳	年度	命令 拂仕 請求書 番 號	命令 拂仕 官氏名	收入未済額		備 考
				圓	錢	
			明治何年何月何日 何廳 歳入徴收官 氏名	何金庫	何	

(參照) 明治二十三年十月十八日大藏省訓令第百十三號ハ官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序ナリ

● 統監府及所屬官署諸收入取扱規程

三十九年十月 統訓第二五號

統 監 府 理 事 廳
〔勸業模範場〕 〔法務院〕

明治三十九年四月統監府訓令第五號統監府及理事廳諸收入取扱規程左ノ通改ム

統監府及所屬官署諸收入取扱規程

- 第一條 統監府及所屬官署ノ諸收入ハ明治三十三年大藏省訓令第二十七號諸收入收納取扱規程ニ依ルノ外本規程ニ依リ取扱フヘシ
 - 第二條 統監府及所屬官署ノ諸收入ハ統監府ニ在リテハ總務長官、理事廳ニ在リテハ理事官、〔勸業模範場ニ在リテハ場長、法務院ニ在リテハ院長〕之ヲ徴收スヘシ
 - 第三條 金庫ノ設置ナキ地ニ在ル收入官吏現金ヲ領收シタルトキハ毎月一回京城本金庫ニ拂込ムヘシ
 - 第四條 歳入徴收官ハ毎月徴收簿ニ依リ徴收報告ヲ調製スヘシ
- 所屬官署徴收官ノ調製スル徴收報告ハ參照書類ヲ添ヘ翌月十日迄ニ統監府ニ送付スヘシ

(參照) ● 諸收入收納取扱規程

三十三年四月 大訓第二十七號

改正

三三年大訓六二號、三四年二二號、二〇號、三五年四六號、四一年二三號

警 視 廳 北 海 道 廳
府 縣 稅 關 〔稅務管理局〕

明治二十六年大藏省訓令第四十二號諸收入收納取扱規程左ノ通り改正シ明治三十三年度ヨリ施行ス

諸收入收納取扱規程

- 第一條 警視廳、北海道廳、府縣、稅關、稅務監督局及稅務署ニ於テ收納スル國稅外ノ諸收入ハ大藏省主管トシテ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外此ノ規程ニ依リ取扱フヘシ但シ監獄ノ收入ハ此限ニ在ラス
- 第二條 各廳長官ハ諸收入ヲ徴收セムトスルトキハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外十五日以内ニ於テ適宜納期日ヲ定メ各納人ニ對シ別記書

第六輯 會計 第四章 收入

式ノ納入告知書ヲ發スヘシ但シ納入ナシテ收入官吏ニ即納セシムル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルコトヲ要セス

第三條 各廳長官ハ其ノ所屬部署長、官立學校長、及北海道廳所管鐵道各廳主席官吏、ニ委任シテ諸收入收納事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四條 納入告知書ハ納入ナシテ納金ヲ納付スルトキニ添付セシムヘシ

第五條 各廳長官ハ納金ヲ其ノ期限内ニ納付セサル者アルトキハ直ニ督促シ尙ホ完納ニ至ラサルトキハ速ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 收入官吏ハ毎月現金拂込仕簿書ヲ調製シ各廳長官ニ報告スヘシ

第七條 各廳長官ハ徵收簿ニ據リ徵收報告書ヲ調製シ歳入金月計對照表ヲ添へ稅務署長ハ翌月五日マテニ其他ハ翌月十五日マテニ大藏省ニ送付スヘシ

稅務署長ノ提出スル徵收報告書ハ稅務監督局ヲ經由スヘシ

稅務監督局長前項ノ報告書ヲ受ケタルトキハ徵收報告書ニ準シタル集計書ヲ添付シ其ノ月十五日マテニ大藏省ニ送付スヘシ

第八條 諸收入ノ徵收事務ニ關スル取扱手續及帳簿報告等ノ書式ハ適宜之ヲ定ムヘシ

第九條 本規程中各廳長官ニ關スル規程ハ北海道支廳長ニ準用ス

北海道支廳長ノ提出スル徵收報告書ハ北海道廳ヲ經由スヘシ

北海道廳長官前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ徵收報告書ニ準シタル集計書ヲ添付シ大藏省ニ送付スヘシ

(別記)

- 備考
- 一 領收證書及報告書(通知書)用紙ノ納入金額納入年度種類等ハ總テ納入告知書發行廳ニ於テ記入スルモノトス
 - 二 歳入徵收官ト同一官廳内ニ在ル收入官吏ノ領收證書ハ納入告知書ニ領收證書年月日ヲ記入捺印シテ之ニ代用シ報告書ヲ省略スルコトヲ得

用紙適宜 縦四寸五分ノモノニ枚 横四寸五分ノモノニ一枚 横三寸三分ノモノニ一枚 接續

納入告知書

第	「何」	號	「某」	年	度	「何」	郡市	「何」	町村	「何」	「某」	納
經	常	(臨時)	「何」	々	(款)	「何」	々	(項)	「何」	々	(目)	々
大	藏	省	主	管	「取	扱	廳	名	歳入徵收官	「官	氏	名

一金 何 程

「但何々」(收入ノ目的ヲ記載ス)

右「何」年「何」月「何」日限リ收入官吏官氏名又ハ「何」々「金庫」ハ納付スヘシ

明治「何」年「何」月「何」日

納入告知書發行者 官 氏 名 印



報告書 (金庫ハ通知書)

第	「何」	號	「某」	年	度	「何」	郡市	「何」	町村	「何」	「某」	納
經	常	(臨時)	「何」	々	(款)	「何」	々	(項)	「何」	々	(目)	々

一金 何 程

右領收證書付報告(金庫ハ通知書)候也

明治「何」年「何」月「何」日

「各廳長官氏名宛」

「收入官吏官氏名」印

又ハ「何地金庫」印



領收證書

第「何」號「某」年「何」度「何」市「何」町村「何」某「納
「取」扱「總」名
一金 何 程
金庫 取扱主任 之印
右 收入候也 「但何々」 明治「何」年「何」月「何」日
「收入官吏氏名」 父「何」地「何」金庫「何」

●歳入調定済額ニシテ翌年六月末日マテニ收入整理ヲ了セサルモ

ノ取扱方

二十四年八月
大訓第六十八號

改正

二五年大訓二九號、二六年七二號
三六年三號

收入官吏 金庫出納役

- 各年度歳入調定済額ニシテ翌年度六月三十日マテニ收入整理ヲ了セサルモノ取扱方左ノ通り心得ヘシ
- 第一 甲年度ニ調定シタル歳入金ニシテ乙年度六月三十日迄ニ收入ヲ了セサルモノハ之レヲ甲年度ノ收入未済トシテ其金額ヲ乙年度ノ調定済額ニ繰越スヘシ
- 第二 甲年度ト記載シタル納額告知書ヲ以テ乙年度七月一日以後現金ヲ金庫ニ納入スルモノアルトキハ金庫ハ之レヲ乙年度歳入トシテ受領シ其納額告知書及ヒ之レニ接續セル領收證及ヒ通知書ニ乙年度ノ押印ヲ爲

スヘシ

第三 歳入徴收官ニ於テ金庫ヨリ乙年度七月一日以後甲年度納額告知書ニ依リ納付シタル歳入金領收済ノ通知ヲ受ケタルトキハ之レヲ乙年度所屬トシテ取扱フヘシ

收入官吏ニ於テ乙年度七月一日以後甲年度納額告知書ニ依リ歳入金ヲ領收シタルトキハ之レヲ乙年度所屬トシテ取扱フヘシ

第四 歳入徴收官第一項ノ繰越ヲ爲シタルトキハ左ノ書式ニヨリ各年度歳入調定済額收入未済翌年度繰越額計算表ヲ製シ之レヲ歳入ノ事務管理廳ヘ差出スヘシ

第五 歳入徴收官ニ於テ前項ノ計算書ヲ歳入ノ事務管理廳ニ送付スルトキハ同時ニ甲年度所屬徴收簿ノ締切ヲナシ而シテ乙年度徴收簿當該科目調定済額ノ欄ヘ前年度ヨリ繰越トシテ其員額ヲ記載スヘシ

但シ收入官吏ニ於テ甲年度所屬ノ歳入金ヲ乙年度六月三十日以前ニ受領シ之レヲ七月一日以後金庫ヘ拂込ミタルモノアルトキハ金庫ハ之レヲ乙年度所屬トシテ取扱フヘシ

第六 出納官吏現金取扱規則第十七條ニ依リ收入官吏ヨリ送付セル甲年度歳入金ノ監守證ニ對シ二十二年大藏省訓令第七十三號第二項ニ依リ金庫ヨリ派出シ乙年度七月一日以後取付ヲ爲シタル現金及ヒ前項但書ノ

歳入金ハ金庫ニ於テ之レヲ乙年度ノ歳入ニ組込ミ歳入金各應内譯簿ハ別ニ口座ヲ設ケ冒頭主管應ノ次ヘ「甲年度所屬」ト記入シ又歳入金月計對照表ハ別紙ニ調製シ應名欄内主管應ノ次ヘ「甲年度所屬」ト記載スヘシ

但シ本項ノ歳入金ハ各金庫毎出納内譯書各金庫毎出納計算書及ヒ毎年度出納計算書ニ於テモ「甲年度所屬」トシ別項ニ掲載スヘシ

第七 前項ノ場合ニ於テ金庫ヨリ派出スル受取人ノ携帶スヘキ領收證書年度欄内ニハ乙年度トシ該證書適宜ノ場所ヘ甲年度所屬ノ分ト記入スヘシ

但シ本項ノ領收證書ヲ收入官吏ヘ交付スルハ乙年度七月一日以後ニ於テ現金ヲ領收スル場合ニ限ルモノトス

某年度歳入經常部(臨時部)						
某省所管 調定濟額收入未濟翌年度繰越額計算表						
明治何年六月三十日						
科	目		繰越額		事由	
	款	項	目	圓	錢	厘
何	何	何	何	0	0	何々々山=因り收入未済=付繰
		小計	何	0		何々々山=因り同上
		何	何	0		何々
		合計	何	0		
			明治何年	何月	何日	
			何縣歳入徴	收官官氏	名	印

(印ハ朱)

● 收入金繰越手續

二十五年四月
大訓第二十五號

改正
二六年大訓七三號
三六年三號

收入官吏 金庫出納役

明治二十四年大藏省訓令第六十八號第一項ニ依リ乙年度ノ調定濟額ニ繰越シタル歳入金ニシテ乙年度三月三十一日迄ニ收入ヲ了セサルモノハ之ヲ丙年度ニ繰越シ丙年度中猶收入ヲ了セサルモノハ之ヲ丁年度ヨリ以下順次ニ繰越スヘシ

前項繰越ヲナシタルトキハ同訓令第四項ニ準シ計算表ヲ製シ歳入事務管理應ニ差出スト同時ニ前年度所屬徴收簿當該科目摘要欄内へ翌年度繰越トシ其員額ヲ調定濟額ノ欄へ朱記スヘシ

乙年度三月分徴收報告書ニ於テハ調定濟額本月分欄内へ丙年度へ繰越スヘキ員額ヲ朱書シ備考欄内へ其事由ヲ詳記スヘシ

但本年三月分收入報告書調製濟ノモノハ四月分報告書ニ於テ本項ノ通調製スヘシ

同訓令第二項甲年度ト記載セル納額告知書ニ依リ乙年度經過後金庫又ハ收入官吏ニ於テ現金ヲ收入シタルトキハ其收入シタル日ノ屬スル年度ノ歳入トシ金庫ハ納額告知書領收證書及通知書ニ相當年度ノ押印ヲナスヘシ

同訓令第六項監守證ニ對シ乙年度經過後現金取付ヲナシタルトキハ其取付ヲナシタル日ノ屬スル年度ノ歳入ニ組込ミ該六項ニ規定スル手續ヲ以テ整理スヘシ

● 繰越計算表

三十一年二月
大訓第十二號

改正
三六年
大訓三號

收入官吏

明治二十五年大藏省訓令第二十五號ニ依リ調製スル繰越計算表ハ左ノ様式ニ據ルヘシ

某年度歳入經常部(臨時部)
明治何年三月三十一日繰越額計算表

科 目	元年度	繰越額	収入済額	欠損額	収入未済翌年度へ繰越		
					金額	事由	
租税	地租	何年度	50000	30000	10000	10000	何々ニヨリ収入未済
		何々	20000	20000	0	0	
何々	何々	地租計	70000	50000	10000	10000	何々ニヨリ収入未済
		何年度	30000	0	0	30000	
		合計	100000	50000	10000	40000	
明治何年 何月何日 何 職 入 徴 收 官 官 氏 名 岡							

●前金渡概算渡返納金戻入取扱規程 二十二年十二月 改正 二十六年
大令第十六號 大金二十六號

會計法第二十三條但書ニ依リ前金渡概算渡ノ返納金ヲ定額ニ戻入スルノ取扱規程ヲ定ム

前金渡概算渡ノ返納金ヲ定額ニ戻入スル取扱規程

第一條 前金渡概算渡ノ返納金ニシテ經費ノ定額ニ戻入ヲ要スルモノアルトキハ仕拂命令官ヨリ返納人ニ對シ返納告知書ヲ發シ同時ニ通知書ヲ金庫ニ送付スヘシ

第二條 返納人ハ返納告知書ニ現金ヲ添ヘ其返納告知書ニ指定シタル金庫ニ之ヲ拂込ムヘシ

第三條 金庫ハ現金ヲ領收シタルトキハ其ノ領收證書ヲ返納人ニ交付シ其通知書ハ直チニ當該仕拂命令官ニ送付スヘシ

第四條 前金渡概算渡ノ返納金ニシテ經費ノ定額ニ戻入ヲ要セサルモノハ通常歳入金取扱手續ニ依リ返納人ヲシテ金庫又ハ收入官吏ニ納入セシムヘシ

第五條 本規程ニ依リ發スル返納告知書ハ左ノ書式ニ依リ調製スヘシ

〔備考〕
「領收證書金庫通知書用紙ニハ返納ノ金額番號定額戻入ヲ要スヘキ年度科目等返納告知書發行廳ニ於テ記入スルモノトス」
(「内及印章ハ執モ朱」)

用紙適宜 縦四寸五分
横三寸三分 ノモノ 四枚接續

通知書

第「何」號	「某」年	度	「所」管	廳	返納人「何」	「某」
「經」常(臨時)	「何」々	(款)	「何」々	(項)		
一金「何」程						
此返納告知書本日發行候條現金領收ノ上定額ニ戻入取計ヲ要ス						
明治「何」年「何」月「何」日						
「何地金庫宛」						
仕拂命令官「官」氏名「團」						

仕拂命令官 割印

返納告知書

第「何」號	「某」年	度	「所」管	廳	返納人「何」	「某」
「經」常(臨時)	「何」々	(款)	「何」々	(項)	要	定額戻入
一金「何」程						
右「何」年「何」月「何」日限リ「何地金庫」へ返納スヘシ						
明治「何」年「何」月「何」日						
仕拂命令官「官」氏名「團」						

金庫 割印

領收證書

第「何」號	「某」年	度	「所」管	廳	返納人「何」	「某」
一金「何」程						
右領收候也						
明治「何」年「何」月「何」日						
「何地金庫」						

金庫 割印

通知書

第「何」號	「某」年	度	「所」管	廳	返納人「何」	「某」
「經」常(臨時)	「何」々	(款)	「何」々	(項)		
一金「何」程						
右領收定額ニ戻入候也						
明治「何」年「何」月「何」日						
「仕拂命令官」氏名宛						
「何地金庫」						

● 諸貸付金取扱規程 二十六年十二月 大訓第七十七號

四〇四

北海道廳 府縣

明治二十三年大藏省訓令第百十五號諸貸付金取扱順序左ノ通改正シ明治二十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
諸貸付金取扱規程

第一條 大藏省所管諸貸付金ハ此規程ニ依リ北海道廳長官府縣知事之ヲ取扱フヘシ
第二條 諸貸付金ハ左ノ二種ニ區別シテ之ヲ整理スヘシ

一 雜種貸 返納期限ノ一定シタルモノ
二 据置貸 債務者失踪逃亡又ハ無資力等ニ因リ目下義務ノ履行ヲ受ケ難キモノ
第三條 諸貸付金ハ前條ノ區別ニ依リ各其臺帳ヲ備ヘ貸付金額、返納期限、据置ノ事由其他契約ノ要旨及債務者、保證人ノ住所氏名等ヲ之ニ登記スヘシ
但臺帳面記載ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其都度訂正ヲ加ヘ置キ常ニ其現況ヲ明瞭ナラシムルコトヲ要ス

第四條 雜種貸ニ係ルモノハ隨時該臺帳ニ就キ返納金額及其期限等ヲ調査シ該期限ニ從ヒ收納ノ手續ヲ爲スヘシ
据置貸ニ係ルモノハ毎年度ノ終リニ於テ該臺帳ニ照シ各債務者ノ所在又ハ身代ノ實況ヲ調査シ其所在ヲ發見シタルカ又ハ返納シ得ヘキ資力ヲ生シタルト認ムルモノアルトキハ速ニ收納ノ手續ヲ爲スヘシ
第五條 諸貸付金返納期限ノ伸縮又ハ年、月賦金ノ割替等既定契約ノ變更ニ關スル事項ハ特ニ大藏大臣ノ認可ヲ得タル場合ノ外之ヲ許可スルコトヲ得ス但繰上ケ返納ニ係ルモノハ此限ニアラス

第六條 債務者失踪逃亡其他已ムコトヲ得サル事由アリテ雜種貸ヨリ据置貸ニ組換ヲ要スルモノアルトキハ事由ヲ詳具シ大藏省ニ稟申スヘシ
第七條 債務者他管下ヘ轉居シタルモノアルトキハ其轉居先ノ管廳ヘ貸付金ニ關スル書類ヲ引繼クヘシ

第八條 左ニ掲クル場合ニ於テハ甲號書式ノ報告書ヲ調製シ翌日十五日限り其地ヲ差立テ大藏省ニ送付スヘシ

- 一 新タニ貸付金ニ編入シ又ハ除却シ若クハ返納ヲ受ケタルトキ
 - 二 貸付金ノ種目ヲ組換タルトキ
 - 三 雜種貸ニ係ル債務者代替姓名轉居シタルトキ
 - 四 第七條ニ依リ引繼ヲ爲シ又ハ引繼ヲ受ケタルトキ
- 第九條 諸貸付金ニ關スル證書類ハ明治二十六年八月第一一九八號訓令預金局保管證書保管規則ニ準據シ之ヲ保管スヘシ

第十條 諸貸付金臺帳ニ依リ其毎年度末ノ現在額及増減額ヲ取調乙號書式ノ報告書ヲ調製シ翌年度四月十五日限り其地ヲ差立テ大藏省ニ送付スヘシ
第十一條 諸貸付金臺帳ハ適宜ノ式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
「甲號書式」

明治何年何月中諸貸付金異動報告書

種目	金額	事由	由	債務者(保證人)住所	同氏名

右及報告候也
年 月 日

大藏大臣 宛

長官官氏名 印

備考 一 据置貸ニ係ル分ハ一人別別記載ヲ要セス第八條ニ掲クル事由ノ異ナル毎ニ其金額ヲ合算シテ之ヲ掲クヘシ
但引繼ニ係ルモノハ其受授ノ管廳ヲ異ニスル毎ニ之ヲ區分シ記載スヘシ

第六輯 會計 第四章 收入

四〇五

「乙號書式」

明治何年度末諸貸付金現在額報告書

明治何年三月三十一日現在高

四〇六
(△印ハ朱書)

一金	内譯	雜種貸
△内金	△増	
△内金	△新タニ編入	
△内金	△何々	
△外金	△減	
△内金	△返納	
△内金	△何々	
此譯		

金	額	當初貸付ノ事由	返納期限	債務者(保證人)住所	同氏名

金
△内金
△内金
△内金
△外金
△内金
△内金
此譯

據置貸
△増
△新タニ編入
△何々
△減
△返納
△何々

右及報告候也
年 月 日

大藏大臣宛

長官官氏名 〇

●歳入徴收官交替ノトキ通知方

三十三年五月
大訓第四十五號

大藏省所管歳入徴收官
金庫出納役

- 一 歳入徴收官交替ノトキハ直ニ關係ノ各金庫ヘ其旨ヲ通知スヘシ
- 一 金庫ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ帳簿上前任歳入徴收官官氏名ノ上ニ何年何月何日交替ニ據リ後任何官何某ニ改ムト記入スヘシ(前任官官氏名ハ) (捺印スヘカラス)
- 一 歳入金月計對照表ハ歳入徴收官ノ前任後任ヲ區別セス總テ後任官ノ計算ニ組込調製スヘシ

●收入官吏ノ任命及異動報告方

三十五年十二月
大訓第五十五號

警視廳 北海道廳 府縣

- 明治三十三年大藏省訓令第十八號左ノ通改正ス
- 一 各廳長官ハ其ノ應ノ收入事務ニ關シ部下ノ官吏ニ收入官吏ヲ命スルコトヲ得但シ其ノ一人ヲ主任收入官吏トシ其ノ他ハ主任收入官吏所屬ノ分任收入官吏トスヘシ北海道廳ニ於テハ各支廳ノ收入官吏ノ一人ヲ主

任收入官吏トスヘシ

二 各廳長官ハ毎年十二月末日現在ノ收入官吏ヲ左ノ書式ニ依リ翌年一月三十一日限り報告スヘシ
明治何年十二月末日現在收入官吏(及歳入歳出外現金出納官吏)報告書

在職部局名	所在地名	取扱高	身元保證金額	職名	官氏名	就職年月日
-------	------	-----	--------	----	-----	-------

右報告候也

年 月 日

大藏大臣宛

各廳長官官氏名 圖

右報告候也

年 月 日

大藏大臣宛

何税關長又ハ何稅務監督局長氏名 圖

備考

- 一 報告書式中取扱高ハ其ノ年度内ニ於テ取扱タル高及取扱フヘキ見込高ヲ合算掲記スルモノトス
- 二 收入官吏ニシテ歳入歳出外現金ノ出納ヲ兼掌スルモノハ之ヲ職名ノ欄内ニ列記スルモノトス

● 收入印紙ニ關スル件 明治三十一年七月 勅令第四百十號

朕收入印紙ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
證券印紙(「煙草印紙」、訴訟用印紙、賣藥印紙、登記印紙ヲ貼用スヘキ場合ニハ自今一樣ノ收入印紙ヲ用ウヘシ其ノ形式ハ大藏大臣之ヲ定ム但シ從來ノ證券印紙、煙草印紙、訴訟用印紙、賣藥印紙、登記印紙ハ當分ノ内收入印紙ニ代ヘ使用スルニトヲ得

(參照)

明治三十一年七月大藏省令第十二號ヲ以テ收入印紙ノ形式ヲ定ム

● 郵便切手類及收入印紙賣捌規則 四十二年五月 統令第十號

郵便切手類及收入印紙賣捌規則

- 第一條 本規則ニ於テ郵便切手類ト稱スルハ郵便切手、郵便切手帖、郵便葉書、郵便封皮、郵便封緘紙、郵便切手貯金臺紙並萬國郵便條約ニ依ル國際返信切手券ヲ謂ヒ收入印紙ト稱スルハ明治三十一年勅令第四百四十號ニ依ル收入印紙ヲ謂フ
- 第二條 郵便切手類(國際返信切手券ヲ除ク)ハ郵便局所ニ於テ之ヲ賣捌ク但シ官廳用又ハ私設電信電話ニ依ル公衆通信取扱所ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
- 第三條 國際返信切手券ノ賣捌及引換郵便局所並收入印紙ノ賣捌ヲ爲ス郵便局所ハ之ヲ告示ス
- 一 郵便切手類及收入印紙賣捌所
- 二 郵便切手類賣捌所
- 三 收入印紙賣捌所
- 第四條 郵便切手類及收入印紙ハ前二條以外ノ場所ニ於テ之ヲ賣捌クコトヲ得ス
- 第五條 郵便切手類及收入印紙ハ定價ヲ以テ賣捌クヘシ
- 第六條 郵便切手類及收入印紙ノ汚損毀損シタルモノ又ハ效用ヲ缺クヘキ處アルモノハ賣捌クコトヲ得ス
- 第七條 郵便切手類及收入印紙ノ賣捌時限ハ午前六時ヨリ午後十時マテトス但シ時間ヲ定メス受付ヲ爲スヘキ郵便物又ハ電報ヲ差出ストキハ本項ノ時限ニ拘ラス之ニ要スル郵便切手類ヲ賣捌クヘシ
- 第八條 郵便切手類及收入印紙ノ賣捌ヲ爲サムトスル者ハ別記様式ニ依リ申請書ヲ郵便集配受持郵便局(其ノ地)

郵便集配事務ヲ郵便電信取扱所、郵便取扱所、郵便所、郵便所ニ於テ取扱フモノナルトキハ所轄管理事務分掌ニ差出シ許可證ノ交付ヲ受クヘシ但シ收入印紙ノミノ賣捌ハ左ニ該當スル者ニ限ル

- 一 陸海軍人其ノ他公務ノ爲ニ受ケタル傷痍又ハ疾病ヲ以テ法律ニ依リ恩給ヲ受クル者
- 二 法律ニ依リ扶助料ヲ受クル者

前項但書ニ依ル申請書ニハ相當資格證明書ヲ添附スヘシ

第九條 郵便所、郵便所、賣捌所ニ於テ賣捌クヘキ郵便切手類及收入印紙ハ其ノ買受高ニ對シ左ノ割引ヲ以テ賣渡スヘシ

- 一 郵便切手類ハ其ノ買受高ノ千分ノ三十五
- 二 收入印紙ハ其ノ買受高ノ千分ノ三十

第十條 郵便切手類及收入印紙ハ破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ又ハ國稅徵收法ニ依リ財産ヲ公賣ニ付スルトキニ限り定價ニ對シ百分ノ十ノ割引ヲ以テ統監府通信管理局ニ於テ之ヲ買戻スコトアルヘシ但シ汚斑毀損シタルモノ又ハ效用ヲ失タルモノ又ハ效用ヲ缺クヘキ處アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 郵便所、郵便所、賣捌所カ買受ケタル郵便切手類及收入印紙ニシテ汚斑毀損シタルモノ又ハ效用ヲ缺クヘキ處アルモノアルトキハ其ノ買受ヲ爲シタル局所ニ交換ヲ請求スルコトヲ得

郵便所、郵便所、賣捌所ノ廢止又ハ郵便所長、郵便所主事ノ退職若ハ死亡ノ場合ニ於テ殘存セル郵便切手類及收入印紙ハ其ノ買受ヲ爲シタル郵便局ニ買戻ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ買受ヲ爲シタル郵便局所カ郵便電信取扱所、郵便取扱所ナルトキハ所轄管理事務分掌郵便局ニ之ヲ請求スヘシ

第十二條 前條第一項ノ郵便切手類及收入印紙ハ定價ニ對シ百分ノ十ノ割引ヲ以テ交換ヲ爲スヘシ但シ天災事變其ノ他避クヘカラサル事故ニ起因スルモノハ額面ヲ以テ交換ヲ爲スコトアルヘシ

前條第二項ノ郵便切手類及收入印紙ハ第九條ノ割引額ニ相當スル金額ヲ控除シ之ヲ買戻スヘシ

第十三條 第十一條ニ依リ郵便切手類及收入印紙ノ交換ヲ請求スル者ハ交換ヲ受クヘキ郵便切手類及收入印紙ノ種類員數ヲ選擇スルコトヲ得

第十四條 第十二條第一項ノ場合ニ於テ郵便切手類割引計算上交換價格ニ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ五厘以上ハ五厘ヲ以テ計算シ五厘未滿ハ切捨トス

第十五條 郵便切手類及收入印紙賣捌人ハ自費ヲ以テ賣捌所標札ヲ調製掲出スヘシ其ノ様式ハ統監府通信管理局長之ヲ定ム

第十六條 第四條乃至第六條ニ違反シタル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 郵便切手類及收入印紙賣捌人本規則並賣捌ニ關シ統監府通信管理局長ノ定ムル規程ニ違反シタルトキハ當該郵便局長ニ於テ其ノ許可ヲ取消ズコトアルヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前郵便切手類及收入印紙賣捌ノ許可ヲ受ケタル者ハ仍其ノ效力ヲ繼續ス

明治四十年四月統監府令第十七號及同年十月統監府令第三十九號ハ之ヲ廢止ス

(別記様式)

郵便切手類及收入印紙賣捌申請書

本籍
現住所
職業

氏名

右現住所(又ハ何地、船舶何丸又ハ何何鐵道列車内)ニ於テ(郵便切手類及收入印紙)(郵便切手類)(收入印紙)賣捌致度(又ハ賣捌致居候處同所ニ於テ(郵便切手類)(收入印紙)モ共ニ賣捌致度)候間許可相成度候也

年 月 日

氏名

金浦郵便電信取 京畿道金浦郡金浦邑
 天安郵便電信取 忠清南道天安郡天安邑
 鴻山郵便電信取 忠清南道鴻山郡鴻山邑
 堤川郵便電信取 忠清北道堤川郡堤川邑
 海南郵便電信取 全羅南道海南郡海南邑
 長興郵便電信取 全羅南道長興郡長興邑
 順天郵便電信取 全羅南道順天郡順天邑
 錦山郵便電信取 全羅北道錦山郡錦山邑
 蔚山郵便電信取 慶尙南道蔚山郡蔚山邑
 金海郵便電信取 慶尙南道金海郡金海邑
 居昌郵便電信取 慶尙南道居昌郡居昌邑
 河東郵便電信取 慶尙南道河東郡河東邑
 榮川郵便電信取 慶尙北道榮川郡榮川邑
 靑松郵便電信取 慶尙北道靑松郡靑松邑
 義城郵便電信取 慶尙北道義城郡義城邑
 永川郵便電信取 慶尙北道永川郡永川邑

盈德郵便電信取 慶尙北道盈德郡盈德邑
 鐵原郵便電信取 江原道鐵原郡鐵原邑
 蔚珍郵便電信取 江原道蔚珍郡蔚珍邑
 平昌郵便電信取 江原道平昌郡平昌邑
 延安郵便電信取 黃海道延安郡延安邑
 新溪郵便電信取 黃海道新溪郡新溪邑
 載寧郵便電信取 黃海道載寧郡載寧邑
 德川郵便電信取 平安南道德川郡德川邑
 成川郵便電信取 平安南道成川郡成川邑
 宣川郵便電信取 平安北道宣川郡宣川邑
 甲山郵便電信取 咸鏡南道甲山郡甲山邑
 永興郵便電信取 咸鏡南道永興郡永興邑
 永同郵便取 忠清北道永同郡永同邑
 釜山本町郵便取 慶尙南道釜山本町一丁目
 沙里院郵便取 黃海道鳳山郡沙里院坊沙里院洞
 安城郵便取 京畿道安城郡安城邑
 江華郵便取 京畿道江華郡江華邑

瑞山郵便取 忠清南道瑞山郡瑞山邑
 河川郵便取 忠清南道河川郡河川邑
 牙山郵便取 忠清南道牙山郡牙山邑
 報恩郵便取 忠清北道報恩郡報恩邑
 谷城郵便取 全羅南道谷城郡谷城邑
 靈光郵便取 全羅南道靈光郡靈光邑
 鎮安郵便取 全羅北道鎮安郡鎮安邑
 古阜郵便取 全羅北道古阜郡古阜邑
 陝川郵便取 慶尙南道陝川郡陝川邑
 星州郵便取 慶尙北道星州郡星州邑
 原州郵便取 江原道原州郡原州邑
 平山郵便取 黃海道平山郡平山邑
 瑞興郵便取 黃海道瑞興郡瑞興邑
 順川郵便取 平安南道順川郡順川邑

京城本町六丁目 京畿道京城本町六丁目
 釜山鎮郵便所 慶尙南道東萊府釜山面釜山鎮
 舊馬山浦郵便所 慶尙南道昌原府內西面中城洞
 晉州城外郵便所 慶尙南道晉州郡城外大安一洞
 絕影島郵便所 慶尙南道東萊府沙中面絕影島
 草梁郵便所 慶尙南道東萊府沙中面草梁
 釜山寶水町郵便所 慶尙南道釜山寶水町一丁目
 大邱本町郵便所 慶尙北道大邱本町二丁目
 平壤停車場前郵便所 平安南道平壤郡外川坊二里
 元山里郵便所 咸鏡南道德源府縣社元山里
 羅州郵便所 全羅南道羅州郡羅州邑
 統營郵便所 慶尙南道龍南郡東面倉洞
 金城郵便所 江原道金城郡金城邑
 元山新町郵便所 咸鏡南道元山新町一丁目

● 收入印紙ヲ以テ手數料、罰金、科料等納付制

三十八年十一月 勅令第二百二十七號

朕收入印紙ヲ以テ手數料、罰金、科料、過料、刑事追徵金、訴訟費用及非訴訟事件ノ費用ヲ納メシムルコトヲ得ルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 政府ニ納ムヘキ手數料、罰金、科料、過料、刑事追徵金、訴訟費用及非訴訟事件ノ費用ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ以テ納メシムルコトヲ得但シ收入印紙ヲ以テ納メシムルコトヲ得ヘキ手數料ノ種目ハ主務大臣之ヲ定ム

附則

明治二十四年勅令第二百四十五號ハ之ヲ廢止ス

● 同上勅令ニ依リ收入印紙ヲ以テ納付スヘキ種目

三十九年九月 統令第三十八號

改正 三十九年統令四三號 四十二年 四二年 統令三九號 六六號

統監府及所屬官署ニ於テ徵收スル手數料ハ收入印紙ヲ以テ納付スルノ件左ノ通定ム

左ニ掲クル手數料ハ收入印紙ヲ以テ納付スヘシ

- 一 明治三十三年八月外務省令第三號ニ依リ徵收スル手數料
- 二 外國旅券規則ニ依リ徵收スル手數料
- 三 刑事判決ノ正本、謄本及抄本ノ手數料ニ關スル規定ニ依リ徵收スル手數料
- 四 地券ノ發給ニ對シ徵收スル手數料
- 五 護照ノ發給ニ對シ徵收スル手數料
- 六 土地建物ノ證明又ハ查證、土地建物證明臺帳ノ閱覽、證明シタル契約書ノ正本ノ下付及典當ノ執行ニ關スル異議ノ裁定ニ對シ徵收スル手數料
- 七 官吏カ執達吏ニ屬スル職務ヲ行フ場合ニ徵收スル手數料

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

● 領事官ノ徵收スル手數料及出張費用ニ關スル規程

三十三年八月 外令第三號

改正

四〇年 外令六號

領事官ノ徵收スル手數料及出張費用ニ關スル規程左ノ通定ム

領事官ノ徵收スル手數料及出張費用ニ關スル規程

- 第一條 領事官ノ徵收スル手數料及出張費用ハ法令ニ特別ノ明文アル場合ノ外本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 領事官ハ左記ノ手數料ヲ徵收ス
 - 一 領事官職務規則第六條ニ依ル財產又ハ遺產ノ保護管理 財產價格百分ノ一トシ最多額ヲ五十圓トス但シ錢ニ滿タサル端數ノ金額ハ之ヲ徵收セス 五十 錢
 - 二 領事官職務規則第七條ニ依ル名簿又ハ其ノ他ノ文書ノ閱覽 五十 錢乃至五十 圓
 - 三 名簿又ハ其ノ他ノ文書ノ認證シタル謄本又ハ抄本ノ交付 五 十 錢
 - 四 民法及戶籍法ノ規定ニ依ル身分ニ關スル屆書、證書又ハ航海日誌謄本受理ノ證明書ノ交付 二 圓
 - 五 遺言ノ取扱 一 圓
 - 六 在留證明 一 圓
 - 七 船舶積量ノ測度又ハ改測ノ取扱 三 圓
 - 八 假船舶國籍證書ノ交付 三 圓
 - 九 船舶進水ノ證明 三 圓
 - 十 船舶ノ入港及出港ノ取扱 五 十 錢
 - 十一 船舶又ハ二百石以上ノ船舶ニ付 一 圓
 - 十二 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 十三 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 十四 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 十五 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 十六 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 十七 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 十八 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 十九 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 二十 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 二十一 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 二十二 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 二十三 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 二十四 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓
 - 二十五 船舶又ハ千石以上ノ船舶ニ付 二 圓

第六輯 會計 第四章 收入

- 十六 旅券ノ査証 一
- 十七 日本品ノ外國輸入證明ノ取扱 一
- 十八 人民ノ申請ニ因ル諸種ノ證明、公認、認證又ハ登録 五十錢乃至六圓
- 十九 仲裁又ハ和解ノ取扱 二圓乃至三十圓
- 領事官ハ任地ノ狀況ニ由リ外務大臣ノ認可ヲ經テ一定ノ事項ニ關スル手数料ノ徵收ヲ免除スルコトヲ得
- 第三條 特ニ費用ヲ要スル事項ニ關シテハ申請者ヲシテ手数料ノ外其ノ實費ヲ負擔セシム
- 第四條 第二條第一號ニ定メタル手数料ハ財産價格二百圓ニ滿タサルトキハ之ヲ免除ス
- 第五條 第二條第四號及第六號ニ定メタル手数料ハ申請者無資力ナルトキハ之ヲ免除スルコトヲ得
- 第六條 領事官ノ取扱フ事項ニシテ第二條ニ掲ケサルモノニ關シテハ領事官ハ其ノ地ノ慣例ヲ參照シ外務大臣ノ認可ヲ經テ二十四以內ノ手数料ヲ徵收スルコトヲ得
- 第七條 人民ノ申請ニ因リ領事館所在地外ニ出張シテ事務ノ取扱ヲ爲スコトヲ要スルトキハ出張費用ヲ徵收ス
- 出張費用ハ最初一時間二圓トシ一時間ヲ加フル毎ニ一圓ヲ加フ又每一日八圓トス但シ一時間未滿ハ一時間トシテ計算シ六時間以上二十四時間以下ハ一日トシテ計算ス
- 第八條 領事官ノ徵收スル手数料及出張費用ハ外國ノ貨幣ヲ以テ納メシムコトヲ得其ノ換算相場ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル
- 第九條 領事官ノ徵收スル手数料及出張費用ハ外務大臣ノ特ニ指定スル地ニ於テハ收入印紙ヲ以テ納付セシムルコトヲ得
- 第十條 本令ハ貿易事務官ノ徵收スル手数料及出張費用ニ之ヲ準用ス
- 附則
- 第十一條 本令ハ領事官職務規則施行ノ日ヨリ施行ス

● 同上納付取扱方

四十年五月 統訓第十二號

〔法務院〕 理事廳

明治三十八年十一月勅令第二百二十七號ニ依リ罰金、科料、過料、刑事追徵金、訴訟費用及非訟事件ノ費用ヲ收入印紙ヲ以テ納付セシムル場合ニハ別紙様式ノ納付書ニ收入印紙ヲ貼付シテ差出サシメ其ノ納入ニハ別紙様式ノ納付濟證ヲ交付スヘシ

印紙ハ當該官廳ニ於テ消印スヘシ

(別紙)

納付書様式

納 付 書

① 事件主任官印

印契 一金

何何被告事件罰金(追徵金等)(何何何圓ノ内)

右收入印紙ヲ以テ上納候也

明治年月日

住所

氏名

(代納者) 何某

法務院(理事廳)御中

② 取扱者印

(備考) 用紙ハ美濃紙トス

納付濟證様式

納 付 濟 證

印契 金		額 金	
			③ 取扱者印

納付義務者	
種類	
言渡年月日	明治 年 月 日
納付年月日	明治 年 月 日
法務院(某理事廳) 圖	

(備考) 用紙ハ美濃紙四ツ切

●同上

四十二年十二月
統訓第四十四號

統監府判事 統監府檢事
統監府警視 統監府警部

明治二十八年勅令第二百二十七號ニ依リ收入印紙ヲ以テ罰金、料料、過料、刑事追徴金、訴訟費用及非訟事件ノ費用ヲ納付セシムル場合ニ於テハ別記第一號様式ノ納付書ニ收入印紙ヲ貼附シテ差出サシメ其ノ納人ニハ別記第二號様式ノ納付濟證ヲ交付スヘシ
印紙ハ當該官廳ニ於テ消印スヘシ

(別記)

第一號様式

納 付 書
①事件主任官印
契 金
何何被告事件罰金(追徴金等)(何何何圓ノ内)
右收入印紙ヲ以テ上納候也
明治 年 月 日
住所
(代納者) 何 氏 某 名 某 氏
(警 察 官 署) 名御中
②取 扱 者 印

(備考) 用紙ハ美濃紙トス

第二號様式

納 付 濟 證
契 金
額 金
③取 扱 者 印
納付義務者

種 類	言 渡 年 月 日	納 付 年 月 日
	明治 年 月 日	明治 年 月 日
統監府裁判所(檢事局)名 (警察官署)名 印		

(備考) 用紙ハ美濃紙四ツ切

●訴訟及非訟事件ニ付韓國人ノ貼用スヘキ收入印紙ニ關スル制 四十二年十月 統令第三十七號

訴訟及非訟事件ニ付韓國人ノ貼用スヘキ收入印紙ニ關スル件左ノ通定ム
韓國人訴訟及非訟事件ニ付韓國法規ニ依リ收入印紙ヲ貼用スヘキ場合ニ於テハ各相當價額ノ日本政府ノ收入印紙ヲ貼用スヘシ

附則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五章 支出

●會計年度開始前現金支出規則 二十二年七月 勅令第九十五號 改正 二六年勅令 二〇三號

朕會計年度開始前現金支出規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

會計年度開始前現金支出規則

- 第一條 各省大臣ハ會計法第十五條第二項ニ依リ現金前渡ヲナスニ當リ該年度ノ未タ開始セサルトキハ其前渡ヲ要スル經費ヲ算定シ其計算書ヲ作り大藏大臣及會計檢査院ニ送付スヘシ
- 第二條 大藏大臣前條計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ金庫ニ令達スヘシ
- 第三條 前各條ニ定メタルモノノ外仕拂命令發付ノ方法及該仕拂命令ニ對スル仕拂ノ手續ハ總テ會計規則ニ依ル

●特別會計ノ第一豫備金支出ニ關スル制 三十年四月 勅令第百十八號

朕特別會計ノ第一豫備金支出ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
特別會計ノ豫算中ニ設ケタル第一豫備金ノ支出ヲ要スルトキハ其ノ豫算ヲ所管スル主務大臣ニ於テ會計規則第十八條ノ勅令ニ基キ支出ヲナシ其ノ金額理由ヲ示ス所ノ計算書ヲ作り大藏大臣ニ通知シ大藏大臣ハ之ヲ會計檢査院ニ通知スヘシ

●仕拂命令委任規程 二十二年七月 勅令第八十九號

朕仕拂命令委任規程ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

仕拂命令委任規程

第六輯 會計 第五章 支出

第一條 各省大臣ハ他ノ官吏ニ委任シテ其ノ所管定額ノ仕拂命令ヲ發セシムルトキハ會計規則第十一條ニ據
リ仕拂豫算額ヲ定メテ之ヲ委任スヘシ
第二條 委任ヲ受ケタル仕拂命令官ハ其ノ發シタル仕拂命令ニ付責任ヲ有ス

●仕拂豫算ヲ以テ委任シタル仕拂命令濟額報告書 三十一年九月 改正
大訓第六十二號

三十六年二月 三十九年
大訓第八號 二號

大藏省所管經費仕拂命令官

當省所管經費仕拂豫算ヲ以テ仕拂命令ヲ委任シタル仕拂命令濟額報告書恩賞諸祿ヲ除ク左ノ様式ニ依リ調製シ翌年度
六月七日以内ニ其應ヲ發シ報告スヘシ
前項報告ノ後科目誤謬ノ訂正ヲ爲シタルモノアルトキハ其都度科目金員及事由ヲ詳悉シタル訂正報告書ヲ差
出スヘシ

但明治二十三年訓令第五十一號同二十四年訓令第三十六號同第三十七號同二十五年訓令第三十六號同第三
十八號同二十六年訓令第五十八號同三十年訓令第五號同第二十五號同第六十九號爾今廢止ス

(一ノ内並ニ印章ハ朱)

明治何年度歳出經常(時臨)部

大藏省所管

何々(款)(各款別冊ニ調製スヘシ)

一 週 年 度

仕 拂 命 令 濟 額 報 告 書

「用紙美濃紫砂引左側ニ曲尺八分餘
ノ綫代ヲ明ク調製スルモノトス」

名 應

科目	豫算高				仕拂命令済額			残高	事由
	豫算高	流用増額	流用減額	特別取高	本年度分	過年度分	計		
何々(款)									「諸拂戻及缺損補填金ノ豫算高ハ項ノミニ掲ケ 其仕拂命令済額ハ各目ニ掲出スヘシ」
何々(項)									
何々(目)									
何々(目)									
何々(項) 項計									
何々(目) 項計									
何々(目) 項計									
款合計									

明治 何 年 何 月 何 日
 大藏大臣宛
 仕拂命令官氏名 〇

(参照)

●文官判任以上俸給仕拂命令書等書式

二十三年七月 改正 二四年大令八號、二六年二八號、三二年四三號、三三年一號、二〇號、四一年四四號

本年勅令第百二十五號ニ據リ官吏遺族扶助法第二條ノ納金收入規則制定ニ付文官判任以上ノ者俸給支給ニ係ル仕拂命令仕拂請求書及金額氏名表仕拂命令官ヨリ交付スル通知書書式左ノ通相定ム

「備考」

「第一」仕拂命令官ニ於テ俸給ノ仕拂チナスニ當リ其仕拂命令若クハ仕拂請求書ノ金額ノ内譯額ヲ二項ニ分チ一ハ現金支給高一ハ國庫納金高(即チ俸給百分ノ一)ト爲シ式ノ如ク列記シテ仕拂命令若クハ仕拂請求書ヲ發スルモノトス」

「第二」仕拂命令官ニ於テ前項ノ仕拂命令若クハ仕拂請求書ヲ發シタルトキハ同時ニ該仕拂命令若クハ仕拂請求書ニ記載セル國庫納金高年度主管廳番號債主ノ氏名等ヲ仕拂命令若クハ仕拂請求書一葉毎ニ記入徴收官ヘ報告チナスモノトス」

「第三」(削除)

「第四」集合仕拂命令集合仕拂請求書ノ内受取人總代ヘ交付スヘキ分又ハ各總ニ於テ官吏申合ノ上其一人ヲ總代人トナシ之ニ仕拂ノ爲メ仕拂命令仕拂請求書ヲ發シ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル分ノ通知書ニハ「何某」トアル傍ラニ肩書ニテ何處勤務何ノ誰外何人總代人ト記入スルモノトス」

「第五」毎年度三月三十一日ヲ過キ發スル其年度所屬ノ仕拂命令若クハ仕拂請求書ニハ徴收官官氏名ノ次ヘ「某年度歳入」ト記入スヘシ此某年度トハ仕拂命令若クハ仕拂請求書ヲ發スル日ノ屬スル年度ヲ云フ此場合ニ於テハ第二項ニ依リ報告スル年度ハ歳入ノ屬スル年度ヲ意味スルモノトス」

「第六」金額氏名表内譯中ノ債主住所ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫所在地ノ債主ニ仕拂フヘキ分ニハ必要ナシトス」

「第七」金額氏名表内譯中ノ振換拂金庫ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫以外ニ於テ振換拂チナスヘキ金庫名ヲ記入スルモノトス」

「第八」金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル分ノ通知書ニハ書式ノ通り裏書ヲ爲シ債主ニ送付スルモノトス

仕拂命令ヲ當テタル金庫外ノ金庫チシテ振換拂チ爲サシムル分ノ通知書ニハ仕拂金庫ノ欄ニ振換拂金庫名ヲ記入スルモノトス
 「仕拂請求書ナルトキハ仕拂命令持參人云々トアル仕拂請求書持參人云々ト記シ又仕拂請求書及集合仕拂請求書ニハ作業及鐵道會計ニ於テハ歳出經常部(臨時部)トアルヲ「作業(鐵道)會計部歳出」ト記シ學校及圖書館會計ニ於テハ歳出經常部ノ上ニ「學校及圖書館會計部」ノ九字ヲ加記スルモノトス」

〔任拂命令官制印〕

印

任 拂 命 令

甲 第 何 號 某年度歳出 經常部 (臨時部)

何廳所管 何々(款) 何々(項)

金五拾圓也
金四拾九圓五拾錢也
内金五拾錢也

現金支給高
國庫納金引去高 何ノ誰渡

又ハ
〔何ノ誰外何人代人何ノ誰〕

本行ノ金額此任拂命令持參人ニ任拂可有之候也

明治何年何月何日

任拂命令官 官 氏 名 印

何 地 金 庫 宛

某省所管何廳歳入徴收官官氏名

50,000

〔任拂命令官制印〕

印

案 内 任 拂 命 令

乙 第 何 號 某年度歳出 經常部 (臨時部)

何廳所管 何々(款) 何々(項)

金五拾圓也
金四拾九圓五拾錢也
内金五拾錢也

現金支給高
國庫納金引去高 何ノ誰渡

又ハ
〔何ノ誰外何人代人何ノ誰〕

明治何年何月何日

任拂命令官 官 氏 名 印

何 地 金 庫 宛

某省所管何廳歳入徴收官官氏名

明治何年何月何日金庫へ送付

「仕拂命令官印」

印

集 合 仕 拂 命 令

第 [] 號	某年度歳出 經常部 (臨時部)
	何廳所管 何々(款) 何々(項) 集合
金百圓也 金九拾九圓也 内 金壹圓也	現金支給高 國庫納金引去高 何ノ誰外何人渡 又ハ (何ノ誰外何人代人何ノ誰外何人)
本行ノ金額此仕拂命令附屬ノ金額氏名表ニ照シ仕拂可有之候也	
明治 [] 年 [] 月 [] 日	
仕拂命令官 官 氏 名 [] 印	
何 地 金 庫 宛	
某省所管何廳歳入徴收官官氏名	明治 [] 年 [] 月 [] 日 金庫へ送付 100,000

明治 [] 年 [] 月 [] 日	第 [] 號	某年度歳出 經常部 (臨時部)
		何廳所管 何々(款) 何々(項)
	金五拾圓也 金四拾九圓五拾錢也 内 金五拾錢也	現金支給高 國庫納金引去高 何ノ誰波 又ハ (何ノ誰外何人代人何ノ誰)
	何 地 金 庫	
某省所管何廳歳入徴收官官氏名		

明治何年何月何日

第何號

某年度歲出 經常部 (臨時部)

何廳所管 何々(款) 何々(項) 集合

金百圓也
金九拾九圓也
內金壹圓也

現金支給高
國庫納金引去高

何ノ誰外何人渡

又

(何ノ誰外何人代何ノ誰外何人)

何 地 金 庫

某省所管何廳歲入徵收官官氏名

四三二

某年度歲出經營部(臨時部)
何々款 何々項
一金百圓也
內金九十九圓也
內譯 圓也

集合併拂命令(集合併拂請求書)第何號金額氏名表

俸給高	現金支給高	國庫納金引去高	番號	債主氏名	債主住所	振換拂金庫名
五〇〇〇	四九五〇	〇五〇〇	一	何ノ誰	何府(縣)郡市町村番地	何金庫
參〇〇〇	二九七〇	〇參〇〇	二	何ノ誰	何府(縣)郡市町村番地	何金庫
貳〇〇〇	壹九八〇	〇貳〇〇	三	何ノ誰	何府(縣)郡市町村番地	何金庫

何廳勤務
何ノ誰外何人俸給高
現金支給高
國庫納金引去高

(振換拂ニ係ル内譯書式)

俸給高	現金支給高	國庫納金引去高	番號	債主氏名	債主住所	振換拂金庫名
五〇〇〇	四九五〇	〇五〇〇	一	何ノ誰	何府(縣)郡市町村番地	何金庫
參〇〇〇	貳九七〇	〇參〇〇	二	何ノ誰	何府(縣)郡市町村番地	何金庫
貳〇〇〇	壹九八〇	〇貳〇〇	三	何ノ誰	何府(縣)郡市町村番地	何金庫

(海外送金ニ係ル内譯書式)

俸給高	現金支給高	國庫納金引去高	債主氏名	送金場所
五〇〇〇	四九五〇	〇五〇〇	何ノ誰	何國府(縣)郡市町村番地
參〇〇〇	貳九七〇	〇參〇〇	何ノ誰	何國府(縣)郡市町村番地
貳〇〇〇	壹九八〇	〇貳〇〇	何ノ誰	何國府(縣)郡市町村番地

明治何年何月何日

第六輯會計 第五章 支出

何廳集合併命令官氏名

四三三

用紙寸法 横四寸五分 縦五寸五分

「主 管 署」	「番 號」	「金 庫 番 號」	「地 金 庫」
「某年度仕拂命令(仕拂請求書)又ハ集合仕拂命令(集合仕拂請求書)何			
「金額氏名表第何號(金額氏名表五々ノ記入ヲ要スルハ集合仕拂命令(集合仕拂請求書)ノ場合ニ限ル)			
「金拾四也」			
「現 金 支 給 高」			
「内 金 貳拾九圓七拾錢也」			
「金拾錢也」			
「國庫納金引当高」			
「右金額ニ對スル仕拂命令(仕拂請求書)本日發行済ニ付前記金庫ヨリ現金ヲ			
「受取ルシ」			
「何處仕拂命令 氏名 同」			
「明治何年何月何日」			
「前記ノ金額領收後也」			
「何 某」			
「明治何年何月何日」			
「受 取 人」			
「何 某」			

通知書裏面

「受取人ニ於テ金庫ニ就キ現金ヲ受取度旨ノモノハ此通知書ヲ以テ仕拂金庫ニ於テ現金ヲ領收スル者ノ自己ノ住居地送致ヲ要スルモノハ其ノ旨仕拂金庫ニ請

●政府私人間債務相殺ノ場合仕拂命令書式

三十四年六月 大令第十二號

本年勅令第三百二十一號ニヨリテ政府ト私人トノ債務ヲ相殺シタル場合ニ於テ發スル仕拂命令ハ明治二十三年七月大藏省令第十七號ノ書式ニ準ス

●政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止

仕拂執行及供託ニ關スル手續

二十七年二月 大令第二號

政府カ第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續左ノ通相定ム

第一條 仕拂命令官ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂命令又ハ仕拂請求書並ニ案内仕拂命令又ハ案内仕拂請求書ニ何之誰ノ差押債權者何之誰渡ト記入シ仕拂命令又ハ仕拂請求書ヲ差押債權者ニ交付スヘシ

第二條 政府カ差押債權者ニ仕拂フヘキ金額ノ一部分ナルトキハ其仕拂命令又ハ仕拂請求書ヲ各別ニ發行シ差押債權者ニ交付スヘキモノハ前條ノ如ク記入スヘシ

第三條 第二條ノ場合ニ於テ官吏遺族扶助法納金及製艦費納金ノ差引ヲ要スルモノハ政府ノ債權者ニ交付スル。仕拂命令又ハ仕拂請求書ニ於テスヘシ

第四條 現金前渡ヲ受ケタル官吏又ハ記名公債元利ノ仕拂ヲ取扱フ銀行ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押金額ノ仕拂ヲ要スルトキハ差押債權者ヨリ適宜ノ領收證書(公債元利拂ノ場合ニ於テハ公債證書又ハ利札トモ)ヲ徴シ其差押金額ヲ仕拂フヘシ

第五條 金庫出納役又ハ其代理人ニ於テ裁判所ノ命令ニ據リ差押ヘラレタル預金保管金供託金ノ仕拂ヲ要スルトキハ差押債權者ヨリ明治二十六年大藏省令第十九號第九條ノ領收證書(差押債權者之ヲ調製スルモノトス)及預金通帳又ハ同年大藏省令第二十號第十條ノ保管證書第十二條ノ拂渡證書又ハ同年大藏省令第二十一號第十條ノ請求書

及受領證第十二條ノ拂渡證書等ヲ提出セシメ總テ預金保管金供託金拂戻ノ例ニ據リ其差押金額ヲ仕拂フヘシ

第六條 金庫出納役又ハ其代理人カ差押債權者ニ仕拂フヘキ金額ニシテ差押ヘラレタル保管金ノ一部分ナルトキハ明治二十六年大藏省令第二十號第十二條第十五條ノ順序ニ準據シ差押債權者ヲシテ拂渡證書又ハ保管證書分割ノ手續ヲ爲サシメタル上其差押金額ノ仕拂ヲ爲スヘシ

第七條 差押債權者明治二十六年勅令第二百六十一號第三條ニ據リ金庫ニ向テ仕拂ノ停止ヲ請求セントスルトキハ差押命令送達通知書ヲ添ヘ第一號書式ノ仕拂停止請求書ヲ金庫ニ差出スヘシ

第八條 金庫ニ於テ第七條ノ請求書ヲ受ケ其金額ノ既ニ仕拂濟ナルトキハ直チニ請求書並ニ差押命令送達通知書ヲ返付スヘシ但仕拂未済ナルトキハ差押命令送達通知書ノミ返付スルモノトス

第九條 仕拂命令官現金前渡ヲ受ケタル官吏既ニ仕拂命令仕拂請求書集合仕拂命令集合仕拂請求書又ハ現金引出切符ヲ政府ノ債權者ニ交付シ若クハ金庫ニ送付シタル後差押命令ヲ受ケタルトキハ直チニ第二號書式ノ仕拂停止通知書ヲ金庫ニ送付スヘシ

第十條 金庫ニ於テ前條ノ仕拂停止通知書ヲ受ケ其金額ノ既ニ仕拂濟ナルトキハ直チニ其旨ヲ附箋シテ通知書ヲ返付スヘシ

第十一條 仕拂停止ノ通知ヲ爲シタル後差押ノ解除アリタルトキハ仕拂命令官現金前渡ヲ受ケタル官吏直チニ第三號書式ノ仕拂停止解除通知書ヲ金庫ニ送付スヘシ

第十二條 仕拂命令官現金前渡ヲ受ケタル官吏裁判所ノ命令ニ據リ第九條ノ仕拂停止ヲ爲シタル金額ヲ差押債權者ニ仕拂フコトヲ要スルトキハ政府ノ債權者ニ交付シアル仕拂命令仕拂請求書通知書(明治二十六年大藏省令第二十號附屬第一號書式)又ハ現金引出切符ヲ差押債權者ヨリ提出セシメ之ニ同書式中何之誰渡トアル渡ノ文字ニ朱ノ二線ヲ劃シ其下ニ「ノ差押債權者何之誰渡」通知書ノ場合ニハ何某殿トアル何某ノ文字ニ朱ノ二線ヲ劃シ「何某ノ差押債權者何之誰」ト記入シ差押債權者ニ交付スヘシ

第十三條 第十二條ノ場合ニ於テ差押債權者ニ仕拂フヘキ金額ニシテ仕拂命令仕拂請求書通知書又ハ現金引出切符ニ記載シタル金額ノ一部分ナルトキハ仕拂命令仕拂請求書通知書又ハ現金引出切符ノ裏面ニ「表面ノ金額内何程別ニ差押債權者何之誰ニ仕拂フヘシ」ト記入シ之ヲ政府ノ債權者ニ交付シ尙ホ第四號書式ニ據リ金庫ニ於テ差押金額ヲ受取ルヘキ證券ヲ調製シ之ヲ差押債權者ニ交付スヘシ

第十四條 第十二條第十三條ノ手續ヲ爲スニ當リ既ニ現金引出切符ノ無効トナリタルトキハ更ニ現金引出切符ヲ發行シ差押債權者ニ交付スヘシ

第十五條 仕拂命令官現金前渡ヲ受ケタル官吏第十二條ノ記入ヲ爲シタルトキハ第五號書式第十三條ノ記入ヲ爲シタルトキハ第六號書式ノ仕拂通知書ヲ金庫ニ送付スヘシ

第十六條 第七條第九條ノ仕拂停止ヲ爲シタル金額ニ對シ金庫ハ仕拂命令官現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ第十一條ノ仕拂停止解除ノ通知又ハ第十五條ノ仕拂通知アルニアラサレハ仕拂ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 金庫ハ第十二條第十三條ノ記入アル仕拂命令仕拂請求書通知書現金引出切符又ハ證券ヲ以テ仕拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ普通仕拂ニ關スル順序ヲ爲シタル上第十五條ノ通知書ニ對シ仕拂フヘシ

第十八條 明治二十六年勅令第二百六十一號第六條ニ據リ仕拂命令官現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ於テ差押金額ノ供託ヲ要スルトキハ仕拂命令仕拂請求書現金引出切符又ハ現金ニ明治二十六年大藏省令第二十一號附屬第一號書式ノ供託書ヲ添ヘ金庫ニ送付シ其旨執行裁判所ニ通知スヘシ但供託受領證ハ當該仕拂命令官現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ於テ保管シ若クハ執行裁判所ニ送付ヲ要スルトキハ之ヲ該裁判所ニ送付シ其領收證書ヲ徴スヘシ

第十九條 第十八條ノ供託スヘキ金額ニシテ政府ノ債權者ニ仕拂フヘキ金額ノ一部分ナルトキハ仕拂命令仕拂請求書又ハ現金引出切符ヲ各別ニ發行シ第十八條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 差押金額ヲ供託シタル仕拂命令官現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ於テ取立命令ヲ受ケタル後配當ニ與カルヘキ各債權者連署ノ仕拂請求又ハ裁判所ノ命令アリタルトキハ供託金拂渡ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條 仕拂命令官現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ於テ差押金額ノ供託ヲ要スル場合ニシテ第九條ノ仕拂停止ヲ爲シタル後ナルトキハ第七號書式ノ政府ノ債權者ニ交付シアル仕拂命令仕拂請求書通知書又ハ現金引出切符ノ取消通知書ヲ金庫及政府ノ債權者ニ送付シタル上第十八條第十九條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十二條 銀行又ハ金庫ニ於テ差押金額ノ供託ヲ要スルトキハ其現金ニ明治二十六年大藏省令第二十一號附屬第一號書式ノ供託書ヲ添ヘ金庫ニ送付シ其旨執行裁判所ニ通知スヘシ但供託受領證ハ其銀行又ハ金庫ニ保管シ若クハ執行裁判所ニ送付ヲ要スルトキハ之ヲ該裁判所ニ送付シ其領收證書ヲ徴スヘシ

第二十三條 差押金額ヲ供託シタル銀行又ハ金庫ニ於テ取立命令ヲ受ケタル後配當ニ與カルヘキ各債權者連署ノ仕拂請求又ハ裁判所ノ命令アリタルトキハ第四條第五條差押金額仕拂ノ例ニ據リ供託金拂渡ノ手續ヲ爲スヘシ

(第一號書式) (用紙美濃ニツ切)

仕拂停止請求書

某年度何廳所管仕拂命令官官氏名發行

仕拂命令(仕拂請求書、集合仕拂命令、集合仕拂請求書)第何號何之誰渡又ハ渡ノ内

一金何程

又ハ

明治何年何月何日第何號

出納官吏官氏名發行現金引出切符何之誰渡又ハ渡ノ内

右ハ別紙之通り裁判所ヨリ差押命令送達ノ通知ヲ領シ候ニ付仕拂停止相成度明治二十六年勅令第二百六十一號第三條ニ據リ此段請求候也

何之誰債權者

何府(縣)何地

何 之 誰 印

何 地 金 庫 宛

年 月 日

(第二號書式) (用紙美濃ニツ切)

仕拂停止通知書

某年度何廳所管

仕拂命令(仕拂請求書、集合仕拂命令、集合仕拂請求書)第何號何之誰渡又ハ渡ノ内

一金何程

又ハ

明治何年何月何日第何號

現金引出切符何之誰渡又ハ渡ノ内

右ハ差押命令ヲ受ケタルニ付仕拂停止相成度明治二十六年勅令第二百六十一號第四條ニ據リ此段通知候也

年 月 日

仕 拂 命 令 官 官 氏 名 印
出 納 官 吏 官 官 氏 名 印

何 地 金 庫 宛

(第三號書式) (用紙美濃ニツ切)

仕拂停止解除通知書

某年度何廳所管

仕拂命令(仕拂請求書、集合仕拂命令、集合仕拂請求書)第何號何之誰渡又ハ渡ノ内

一金何程

又ハ

明治何年何月何日第何號

現金引出切符何之誰渡又ハ渡ノ内

右金額明治何年何月何日付ヲ以テ仕拂停止及通知置候處今般差押解除相成候此段通知候也

年 月 日

仕 拂 命 令 官 官 氏 名 印
出 納 官 吏 官 官 氏 名 印

何 地 金 庫 宛

(第四號書式) (用紙美濃二ツ切)

證 票

何府(縣)何地
差押債權者

何 之 誰

右者「某年度何廳所管仕拂命令(仕拂請求書集合仕拂命令(仕拂請求書)第何號何之誰渡ノ内)金額氏名表第何號何之誰渡ノ内」(金額氏名表第何號何之誰渡ノ内)金額氏名表第何號何之誰渡ノ内(金額氏名表第何號何之誰渡ノ内)又ハ「明治何年何月何日第何號現金引出切符何之誰渡ノ内」(金額氏名表第何號何之誰渡ノ内)金額氏名表第何號何之誰渡ノ内(金額氏名表第何號何之誰渡ノ内)又ハ「右ニ對スル仕拂命令(仕拂請求書)通知書、現金引出切符」ニ明治二十七年大藏省令第二號第十二條ニ據リ差押債權者何之誰渡ノ内ニ差押債權者ニ交付ス此段通知候也

年 月 日

何地金庫宛

仕拂命令官 官 氏 名 印

出納官吏官 官 氏 名 印

前記證票ノ金額何程正ニ領收候也

年 月 日

何地金庫宛

差押債權者
何 之 誰

(第五號書式) (用紙美濃二ツ切)

差押金額仕拂通知書

某年度何廳所管第何號

案内仕拂命令(案内仕拂請求書)金額何程之誰渡

又ハ

仕拂命令(仕拂請求書)集合仕拂命令、集合仕拂請求書、金額氏名表第何號)金額何程之誰渡

又ハ

明治何年何月何日第何號案内引出切符何之誰渡

右ニ對スル仕拂命令(仕拂請求書)通知書、現金引出切符」ニ明治二十七年大藏省令第二號第十二條ニ據リ差押債權者何之誰渡ノ内ニ差押債權者ニ交付ス此段通知候也

年 月 日

何地金庫宛

仕拂命令官 官 氏 名 印

出納官吏官 官 氏 名 印

(第六號書式) (用紙美濃二ツ切)

差押金額仕拂通知書

某年度何廳所管

仕拂命令(仕拂請求書)集合仕拂命令、集合仕拂請求書)第何號何之誰渡ノ内

一金何程

又ハ

金額氏名表第何號何之誰渡ノ内(本文ノ記入ヲ要スルハ集合仕拂命令)

又ハ

明治何年何月何日第何號

現金引出切符何之誰渡ノ内

右金額差押債權者何府(縣)何地何之誰ハ仕拂可右之此段通知候也

年 月 日

何地金庫宛

仕拂命令官 官 氏 名 印

出納官吏官 官 氏 名 印

(第七號書式ノ甲) (用紙美濃二ツ切)

取消通知書

某年度何廳所管第何號

仕拂命令(仕拂請求書)金額何程之誰渡

又ハ

仕拂命令(仕拂請求書)又ハ「集合仕拂命令、集合仕拂請求書、金額氏名表第何號」ニ係ル第何號通知書金額何程何某宛

又ハ

明治何年何月何日第何號

現金引出切符金額何程何之誰渡

右ハ明治何年何月何日仕拂停止及通知置候處今般該仕拂命令(仕拂請求書)通知書、現金引出切符」取消候ニ付「右ニ係ル案内仕拂命令(案内仕拂請求書)案内引出切符、仕拂命令(仕拂請求書)返付相成度」又ハ「右ニ對スル集合仕拂命令ノ金額何程ニ更正シ金額氏名表中第何號ヲ取消ス」此段通知候也

年 月 日

何地金庫宛

仕拂命令官 官 氏 名 印

出納官吏官 官 氏 名 印

(第七號書式ノ乙) (用紙美濃ニツ切)

取消通知書

某年度何願所管第何號

仕拂命令(仕拂請求書)金何程何之誰渡

又ハ

仕拂命令(仕拂請求書)又ハ「集合仕拂命令、集合仕拂請求書、金額氏名表、第何號」ニ係ル第何號通知書金何程何某宛

又ハ

明治何年何月何日第何號

現金引出切符金何程何之誰渡

右ニ對シ仕拂フヘキ金額ハ明治二十六年勅令第二百六十一號第六條ニ據リ供託セリ依テ該ニ交付セシ前記仕拂命令(仕拂請求書)通知書現金引出切符)ヲ取消ス此段通知候也

年 月 日

何 某 宛

仕拂命令官 氏 名 印
出納官吏官 氏 名 印

●仕拂命令、仕拂請求書、集合仕拂命令發付ニ關スル取扱

手續

二十六年十一月
大訓第四十號

改正

二十七年大訓四〇號、三一年二七號
三三年二三號、四〇號

大藏省所管經費仕拂命令官

仕拂命令仕拂請求書集合仕拂命令及集合仕拂請求書發付等ニ關スル取扱手續左ノ通相定メ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

第一條 仕拂命令官仕拂命令又ハ仕拂請求書ヲ受取人ニ交付セントスルトキハ成ルヘク其交付ヲ爲サントスル日ノ前日ニ其案内仕拂命令又ハ案内仕拂請求書ヲ金庫ニ送付スヘシ但臨時至急ヲ要スルモノハ此限ニア

ラス

第二條 仕拂命令官集合仕拂命令又ハ集合仕拂請求書ヲ金庫ニ送付シタルトキハ本訓令附屬第一號書式ノ通知書ヲ各受取人ニ交付シ受取人ヲシテ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之ト引換ニ現金ヲ金庫ヨリ受取ラシムヘシ

第三條 仕拂命令官金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル仕拂命令、仕拂請求書又ハ集合仕拂命令、集合仕拂請求書ヲ金庫ニ送付シタルトキハ通知書ヲ各受取人ニ送付シ現金領收ノ際受取人ヲシテ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫ニ差出サシムヘシ但在外國受取人ヘノ送金及電信爲替拂ノ場合ニハ本條ノ通知書ヲ送付スルニ及ハス單ニ其旨ヲ通知スルモノトス

第四條 仕拂命令官仕拂命令、仕拂請求書ヲ債主ニ交付シ若クハ集合仕拂命令、集合仕拂請求書又ハ金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スル仕拂命令、仕拂請求書、集合仕拂命令、集合仕拂請求書ヲ金庫ニ送付シタルトキハ各其領收證書ヲ徴スヘシ

前項ノ領收證書ハ會計規則第五十二條第三項ノ計算書ニ添付シ提出スヘシ
第五條 仕拂命令官仕拂命令、仕拂請求書、集合仕拂命令、集合仕拂請求書ヲ發行シタル後科目ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ本訓令附屬第二號書式ノ科目訂正書ヲ當該金庫ニ送付スヘシ

第六條 毎月ノ計算整理ノ爲メ仕拂命令又ハ仕拂請求書及集合仕拂命令又ハ集合仕拂請求書ヲ受取人ニ交付シ又ハ金庫ニ送付スルハ毎月二十八日(二月十二日)限リトス但法規上仕拂期日ノ定マレルモノ及臨時至急ヲ要スルモノハ此限ニアラス

第七條 仕拂命令官ハ毎月二十八日(二月十二日)ニ於テ其月中ニ金庫へ送付シタル案内仕拂命令又ハ案内仕拂請求書ニ對スル仕拂命令又ハ仕拂請求書ニシテ事故アリテ同日迄ニ受取人ニ交付スルニ至ラザリシモノアルトキハ之ヲ調査シ即日其案内仕拂命令又ハ案内仕拂請求書ノ返付ヲ金庫ニ請求スヘシ但其二十八日(二月十二日)以後ノ送付ニ係ルモノニシテ其月中ニ交付スルニ至ラサルモノアルトキハ末日ニ於テ本文ノ手續ヲ

ナスヘシ

四四五

第八條 仕拂命令官金庫出納事務規程(特別會計ノ分共)ニ據リ金庫ヨリ歳出金月計對照表歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表仕拂命令受領濟額報告書及仕拂請求書受領濟額報告書ニ證書類ヲ添ヘ送付ヲ受ケタルトキハ證書類ニ對照(受領濟額報告書ハ)シ相違ナキ場合ハ式ノ如ク證明スト記入シ署名捺印ノ上證書類ト共ニ三日以内ニ之ヲ金庫ニ返付シ相違アル場合ハ速ニ其事由ヲ付シテ返付スヘシ

明治二十三年法律第十一號第十條ニ據リ國庫ニ於テ資金ヲ繰越シタル仕拂切符並ニ同年當省訓令第二十七號第二條第二項ニ據リ中央金庫及本支金庫ニ於テ引繼ヲ受ケタル雜部金ニ對シ金庫ニ於テ現金仕拂ヲ爲シタル分ニ係ル月計對照表ノ送付ヲ金庫ヨリ受ケタルトキハ前項ニ準シ取扱フヘシ

前各項ニ據リ證明ヲ爲シタル後該證明ニ就キ誤謬ヲ發見シタルトキハ其理由ノ證明書ヲ作り之ヲ金庫ニ交付スヘシ

第九條 仕拂命令官ハ照較ノ用ニ供セシムル爲メ其印鑑ヲ金庫ニ送付スヘシ

〔備考〕金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル分ノ通知書ハ書式ノ通り裏書ヲ爲シ債主ニ送付スルモノトス

仕拂命令ヲ當テタル金庫外ノ金庫ヲシテ振換拂ヲ爲サシムル分ノ通知書ニハ仕拂金庫ノ欄ニ振換拂金庫名ヲ記入スルモノトス

(證券印紙)ノ貼用ヲ要スルモノハ仕拂命令官ニ於テ其旨ヲ通知書ニ記入スルモノトス

第一號書式

(用紙寸法縦四寸五分 横五寸五分)

(内及印章ハ執モズ)

通

大藏省 主官 一 番	號	仕拂金庫	何 地 金 庫
「取 扱 主 官 一 番」			
「某」年度「仕拂命令(仕拂請求書)又ハ集合仕拂命令(集合仕拂請求書)」第「何」號「金額氏名表第何號」			
〔金額氏名表ノ記入手續ハ別紙ニ示ス〕			
受取人	金庫ヨリ	現金	

知 書

領收證記入式

一金「何圓」也	
右金額ニ對スル仕拂命令(仕拂請求書)本日發行済ニ付前記金庫ヨリ現金ヲ受取ルヘシ	
明治「何」年「何」月「何」日	「何」應仕拂命令官
「何」 某「殿」	「官」 氏 名「印」
前記之金額領收候也	
受取人	「何」 某「印」
受取ノ際式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫ニ交付スヘシ	

通知書裏面

一受取人ニ於テ金庫ニ就キ現金ヲ受取度望ミノモノハ此通知書ヲ以テ仕拂金庫ニ於テ現金ヲ領收スヘシ

若シ自己ノ住居地迄送金ヲ要スルモノハ其旨仕拂金庫ヘ請求スヘシ

第何號	歲出科目訂正書
一金何程	何年度歲出經常部(臨時部)何處所管
	何々(款) 何々(項)
	「此訂正科目」
	「何々(款) 何々(項)」
右何年何月何日發行第何號仕拂命令(仕拂請求書集合仕拂命令集合仕拂請求書)何ノ誰渡ノ分科目朱書ノ通訂正ヲ要ス	
何年何月何日	何應仕拂命令官官氏名 印
何地	金庫宛

●仕拂命令等盜難又ハ亡失ノ場合ニ關スル取扱手續

三十八年七月
大令第三十九號

明治二十三年七月大藏省令第十八號仕拂命令等盜難又ハ亡失ノ場合ニ關スル手續左ノ通改正ス

仕拂命令等盜難又ハ亡失ノ場合ニ關スル取扱手續

- 第一條 仕拂命令、仕拂請求書、仕拂命令官ヨリ交付シタル通知書若クハ出納官吏ヨリ交付シタル引出切符ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタル時ハ記名者ヨリ署名捺印シタル書面ヲ以テ其旨ヲ仕拂命令、仕拂請求書、通知書引出切符ニ指定シタル金庫ニ届出ツヘシ
- 届書ニハ其ノ種類ニ從ヒ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 仕拂命令、仕拂請求書ナルトキハ金額、番號、年度、科目、振出日附、仕拂命令官ノ官氏名、仕拂フ

ヘキ金庫名、受取人氏名住所

二 通知書ナルトキハ金額、番號(仕拂命令又ハ仕拂請求書ノ番號共)年度、仕拂フヘキ金庫名、通知書ヲ交付シタル官應並ニ仕拂命令官ノ官氏名、受取人氏名住所

三 引出切符ナルトキハ番號、金額、振出日附、出納官吏ノ官氏名、仕拂フヘキ金庫名、受取人氏名

届書ニ押捺スル印章ハ前ニ仕拂命令官又ハ出納官吏ニ差出シタル請求書又ハ受取書ニ押捺シタル印章ト同一ナル印章ヲ用ユヘシ

第二條 金庫ニ於テ前條ノ届書ヲ受ケタルトキ既ニ仕拂濟ナルトキハ其ノ旨ヲ届出人ニ告ケテ届書ヲ返付シ若シ仕拂以前ナルトキハ案内仕拂命令、案内仕拂請求書、仕拂命令、仕拂請求書又ハ金額氏名表、案内引出切符若クハ金庫事務規程ニ依リ振換拂ノ通知ヲ受ケタルモノナルトキハ其ノ通知書ニ仕拂故障アル旨ヲ附箋シ届書ハ仕拂命令官又ハ出納官吏ニ送付スヘシ但届出人ニ對シテハ届書ノ受取證書ヲ渡スヘシ

第三條 仕拂命令官又ハ出納官吏ヨリ届書ノ送付ヲ得タルトキハ之ヲ調査シ正當ナリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ届書ニ記入シ署名押捺シテ金庫ニ還付スヘシ

第四條 金庫ニ於テ仕拂命令官又ハ出納官吏ヨリ届書ノ返付ヲ受ケタルトキハ債主ニ通知シテ仕拂ヲ爲スヘシ

●仕拂命令仕拂請求書現金交付前ニ誤拂過渡ヲ發見シタルト

キノ整理手續

二十三年十月
大令第二十七號

改正
二十四年大令一二號、二六年三〇號
三三年一七號

會計規則第三十五條但書ニヨリ金庫ニ送付シタル仕拂命令及仕拂請求書ニシテ受取人ニ現金交付前ニ於テ誤拂過渡ニ出タルコトヲ發見シタルトキ整理手續左ノ通定ム

第一條 仕拂命令官ヨリ仕拂命令及仕拂請求書ノ金額誤拂過渡ニ付歳入ニ編入ノ儀金庫ヘ請求スヘシ但仕拂命令及仕拂請求書ノ金額一部分誤拂過渡ナルトキハ其一部分ヲ受取人ニ交付シ殘額ハ歳入ニ編入ノ儀金庫

（請求スヘシ）

四四八

第二條 前條ノ請求書ニハ左ノ事項ヲ詳記スヘシ

- 一 仕拂命令及仕拂請求書ノ金額、番號、年度、科目、振出日付、仕拂命令官官氏名、受取人氏名
 - 一 誤拂過渡ヲ歳入トスヘキ歳入ノ主管廳名、取扱廳名、歳入徴收官官氏名及歳入ノ年度
- 第三條 仕拂命令官第一條ノ請求ヲ爲シタルトキハ同時ニ誤拂過渡ノ金額歳入ニ編入ノ儀ヲ歳入徴收官ニ通知スヘシ

第一條但書ノ場合ニ於テハ仕拂命令官ハ正當ニ交付スヘキ金額ニ對スル通知書ヲ作り之ヲ債主ニ交付シ前ニ交付シタル通知書ハ取上ケ廢棄スヘシ

第四條 第一條ノ請求ヲ受ケタルトキハ金庫ハ誤拂過渡ノ金額ヲ歳入ノ手續ヲ以テ拂出シ直チニ之ヲ請求書ニ指定ノ歳入主管廳取扱廳及歳入徴收官ノ收入トシテ歳入ニ受入ルヘシ此場合ニ於テ金庫ハ直チニ其趣ヲ仕拂命令官及歳入徴收官ニ通知スヘシ

第五條 前條ニ依リ金庫ヨリ仕拂命令官ニ送付スル通知書ニハ第二條一項ノ事項ヲ記入スヘシ但仕拂命令及仕拂請求書ノ金額一部分誤拂過渡ノ場合ニハ其誤拂過渡ニ係ル金額ヲモ記入スヘシ

第六條 (削除)

第七條 本人大藏省令第十七號ニ依リ定メタル書式ノ仕拂命令及仕拂請求書ニシテ本令ノ場合ニ係ルトキ其國庫納金引去高ハ總テ本年勅令第百二十五號官吏遺族扶助法納金收入規則ニ依リ當該主管廳取扱廳ノ歳入ニ立テ其他ハ本令ニ依リ收支ノ手續ヲナスヘシ

●俸給旅費其ノ他諸給與仕拂ノ際錢位未滿ノ

端數切捨ニ關スル制 三十八年四月 勅令第百三十號

朕俸給旅費其ノ他諸給與仕拂ノ際錢位未滿ノ端數切捨ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國庫ヨリ俸給、旅費其ノ他ノ給與ヲ仕拂フノ際其仕拂額ニ錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨ツ但シ法律ノ結果又ハ契約ニ因ルモノハ此ノ限ニ在ラス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●恩賞諸錄仕拂取扱順序

三十年四月 大訓第二十三號

改正

三十七年 大訓第五號

三十八年 二一號

三十九年 二三號

臺灣總督府 北海道廳 府縣

當省所管歳出經常部恩賞諸錄仕拂取扱順序三十年度以降左ノ通改正ス

恩賞諸錄仕拂取扱順序

- 第一條 大藏大臣ハ恩賞諸錄ノ豫算内ニ於テ其仕拂フヘキ概算額ヲ定メ明治二十二年勅令第八十九號ニ依リ北海道廳長官、府縣知事ニ仕拂委任ノ命令ヲ發ス
- 第二條 北海道廳長官、府縣知事ハ仕拂委任額以内ニ於テ恩賞諸錄受領者ヘ交付スヘキ金額ノ仕拂命令ヲ發スヘシ但仕拂委任額ニ不足ヲ生シタルトキハ其科目及金額ヲ大藏省ニ申報スヘシ
- 第三條 北海道廳長官、府縣知事ニ於テ第二條ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ項目ノ仕拂濟額ヲ左ノ期限マテニ其應ラ發シ大藏大臣ニ報告スヘシ

- 一 四月ヨリ五月マテノ分ヲ 六月七日迄ニ
- 一 六月ヨリ九月マテノ分ヲ 十月七日迄ニ
- 一 十月ヨリ十二月マテノ分ヲ 翌年一月十日迄ニ
- 一 一月ヨリ三月マテノ分ヲ 四月七日迄ニ

第四條 北海道廳長官、府縣知事ニ於テ第二條ノ仕拂ヲナシタルトキハ左表書式ニヨリ四月一日ヨリ翌年五

月三十一日マテノ仕拂明細書ヲ調製シ翌年六月三十日迄ニ其應ヲ發シ大藏大臣ニ差出スヘシ

但年度經過後整理期限内ニ仕拂ヒタルモノハ本條ニ準シ調製シ六月七日迄ニ差出スヘシ

第五條 第二條ノ仕拂ニ對シ誤拂若ハ過渡ヲ生シタルトキハ北海道廳長官、府縣知事ハ其年度科目、金額及事由ヲ大藏省ニ申報シ該金ハ直チニ歳入ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 他ノ廳ヘ年金支給ノ主管方ヲ引繼タルトキ及他ノ廳ヨリ恩給扶助料ノ支給主管方ノ引繼ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ記載シテ大藏省ヘ通知スヘシ

- 一 證書面ニ記載ノ年額及官氏名(年金者ハ功級又ハ勲等ヲ加記ス)
- 一 年金者ハ乙應名、恩給扶助料者ハ甲應名
- 一 引繼キ又ハ引繼ヲ受ケタル交付期節(定期以外ニ仕拂フモノ亦同シ)
- 一 停止中ニ係ル者ハ其事由

第七條 受恩給、扶助料者死亡又ハ結婚、復籍丁年行方不明改氏名ノトキハ左ノ事項ヲ記載シテ大藏省ヘ通知スヘシ

- 一 證書面ニ記載ノ年額及官氏名
- 一 事故及年月日

第八條 新ニ發付セラレタル恩給並ニ扶助料證書及辭令書交付ノ際受領者他管下ニ居住地ヲ轉シタルカ爲メ其證書及辭令書ヲ轉送シ來ルトキハ現住地地方廳ヨリ其旨大藏省ヘ申報スヘシ

第九條 受恩給扶助料者ノ支給ヲ廢止シ若クハ停止セシ爲メ月割ヲ以テ交付スル金額ハ其翌月ヲ以テ所屬年度トシ仕拂フヘシ

第十條 新ニ下賜セラレタル恩給並ニ扶助料證書ニ記載アル起算點以降ノ金額ニシテ交付期月ヲ經過シタルモノ及一時限リ支給ノ辭令書ニ屬スル金額ハ其證書及辭令書發付ノ日付ヲ以テ所屬年度トシ仕拂フヘシ

第十一條 恩給證書ヲ有スルモノ恩給増加ノ爲メ更ニ證書ヲ下付セラレタルモノハ其證書起算點以降ニ屬スル分前證書ニテ既ニ支給済ノモノアリテ其科目(項ヲ云フ)新舊證書同一ナルトキハ新證書中ヨリ支給済額ヲ控除シテ支給スヘシ

第十二條 他管下居住ノモノヘ年金、恩給、扶助料ノ仕拂ヲ爲ス場合ニハ現住地地方廳ニ通報シ證書檢閱濟ノ報告ヲ得テ送金ノ取扱ヲナスヘシ

(書式) (用紙美濃判)

<p>明治何年度</p> <p>歲出經常部恩賞諸祿</p> <p>仕拂明細書</p> <p style="text-align: right;">何 應</p>

(綴目ハ五分以上餘白ヲ取り置クヘシ)

自明治何年四月至明治何年三月止拂命令
 濟ノ分書面之通候也
 明治何年何月何日
 何廳長官氏名印
 大藏大臣宛

		円	銭	厘	分
何々(括)					
何々(項)					
何々(目)	姓名				
(北支所管ニ關シタル順序ニ依リ指款スヘシ以下コレニ就テ)	何年分又ハ何年上(下)半 年分				200,000
何々(項)					
何々(目)	姓名				
(扶助料ハ報告ニ記載アル本人ノ姓名ヲ記載スヘシ報告ニ名ノミ記載ノ分及指款名ノモリハ報告ニ記載アル者ノ姓名ヲ加記ス)	何年分又ハ何年上(下)半 年分又ハ第何期分	200,000			
	姓名				
	新規下賜ニ依リ何年何月何日ヨリ何年何月何日ニ至ル分	100,000			
	姓名				
	某課ヨリ轉入何年何月何日ヨリ何年何月何日ニ至ル分又ハ第何期分	50,000	350,000		
何々(目)	姓名				
	何々ニ依リ何年何月何日ヨリ何年何月何日ニ至ル分	200,000			
	姓名				
	過年度支出何年何月何日ヨリ何年何月何日ニ至ル分又ハ第何期分	25,000	225,000		575,000
	總計				775,000
(仕掛未済ニ係ル金額アルトキハ左列ヲ以テ次ノ例ニ依リ指款スヘシ)					
[何々(項)]	[姓名]				
[何々(目)]	[姓名]				
	[新規下賜及ハ何々ニ依リ何年何月何日ヨリ何年何月何日ニ至ル分又ハ第何期分]				100,000

●渡切ヲ以テ交付スヘキ通信官署指定

四十年五月
統令第七十六號

改正 四
統令八十七號一三六號
六十七號

左ニ指定スル統監府通信官署ノ經費ハ明治三十八年勅令第二百八十號及通信官署經費渡切規則ニ依リ明治四十年六月一日ヨリ渡切ヲ以テ其ノ經費ノ全部又ハ一部ヲ當該局所長ニ交付ス

明治三十九年^四月統監府告示第二十號ハ明治四十年五月三十一日限り之ヲ廢止ス
郵便局^{京城、仁川、釜山、木浦、群山、平}元山、新義州、清津ノ各局ヲ除ク

以上ノ通信官署ニ對シテハ明治三十九年^一月統監府令第三號ニ依リ明治三十八年^四月遞信省令第三十號通信官署經費渡切規則施行細則第一條第一號乃至第七號第十一號乃至第十三號ノ經費及當該郵便集配區域内ニ於ケル郵便物ノ集配事務ヲ擔任スル主事ノ職務執行ニ要スル經費ヲ交付ス
郵便電信取扱所
郵便取扱所^{釜山、本町郵便}取扱所ヲ除ク

以上ノ通信官署經費ニ對シテハ明治三十九年^一月統監府令第三號ニ依リ明治三十八年^四月遞信省令第三十號通信官署經費渡切規則施行細則第一條第一號乃至第七號第十一號乃至第十三號ノ經費及當該取扱所集配區域内ニ於ケル郵便物ノ集配事務ヲ擔任スル主事ノ職務執行ニ要スル經費ヲ交付ス

郵便所
郵便所

以上ノ通信官署ニ對シテハ明治三十九年^一月統監府令第三號ニ依リ明治三十八年^四月遞信省令第三十號通信官署經費渡切規則施行細則第一條第八號又ハ第八號乃至第十號ノ經費ヲ交付ス

●統監府及所屬官署職員ノ俸給、手當及宿舍料前金渡ニ關スル制

四十年四月
勅令第五百五十號

朕統監府及所屬官署職員ノ俸給、手當及宿舍料前金渡ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
統監府及所屬官署職員交通至難ニシテ郵便局所ノ設ナキ場所ニ在勤スル場合ニ於テハ其ノ俸給、手當及宿舍料ハ六箇月分以内ニ於テ前金渡ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場所ハ統監之ヲ指定ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●旅費其ノ外概算渡前金渡ノ制

二十二年十一月
勅令第四百二十一號

改正 三一年勅令一九七號
三七年二一〇號

朕旅費其ノ外概算渡前金渡ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 内國及外國出張ヲ命シタル者ノ旅費ハ旅行ノ見積行程及日數ニ依リ概算渡ヲ爲スコトヲ得

第二條 外國留學ヲ命シタル者ニ支給スル學資金及諸手當ハ給額半箇年分以内ニ於テ前金渡ヲ爲スコトヲ得

第三條 府縣稅(又ハ地方稅)ノ補助トシテ國庫ヨリ支出スル府縣警察費連帶支辨金、府縣傳染病豫防費、(蠶種検査費)國庫補助金及(北海道)沖繩縣ニ於ケル區町村間切傳染病豫防費國庫補助金ハ豫算ニ依リ概算渡

ヲ爲スコトヲ得

第三條ノ二 外國ニ於テ鐵道又ハ船舶運送ノ業務ヲ營ム會社ニ下付スヘキ補給金ハ該會社ノ決算期ニ於テ其ノ期間ニ相當スル割合ヲ以テ概算渡ヲ爲スコトヲ得

第四條 本令ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

●在外公館經費中前金拂ノ制

二十三年三月
勅令第三十二號

改正 四一年
勅令一四八號

朕在外公館經費中前金拂ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
在外各廳經費中左ノ費目ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得
租稅、區費其他雜稅、建物借料

●官廳ニ於テ印刷局製造品買入レニ關スル制 四十年二月 法律第五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件ヲ買入ルル場合ニ於テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

●在外國難民貸與金一時繰替支辨ノ制 二十四年一月 勅令第一號

朕在外國難民貸與金一時繰替支辨ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
帝國公使館若ハ領事館ニ於テ現金前渡ヲ受ケタル出納官吏ハ其ノ現金ヲ以テ最初前渡ヲ受ケタル目的ノ外難
民貸與金ニ限り一時繰替支辨スルコトヲ得

●現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ仕拂計算書提出方 三十九年十月 統訓第二十四號

會計規則第九十八條ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ提出スヘキ仕拂計算書ハ毎月一回其ノ翌月十日迄ニ仕
拂命令官ニ之ヲ送付スヘシ

●現金前渡ヲ受クル官吏ノ每年末日現在員報告方 三十五年十二月 大訓第五十六號 改正 三十六年 大訓六號

專賣局 造幣局 稅 關 稅務監督局
臨時沖繩縣土地整理事務局 臨時稅關工事部

各廳長官ハ其ノ所轄内ノ當省所管現金前渡ヲ受クル官吏ノ每年十二月末日ニ於ケル現在員ヲ左ノ書式ニ依リ
翌年一月三十一日限り報告スヘシ
明治何年十二月末日現在出納官吏報告書

在職部局名	所在地名	取扱高又ハ保管額	身元保證金額	職名	官氏名	就職年月日
某廳、某署又ハ某役所ノ類	何市又ハ郡何町又ハ村					

右報告候也

年月日

大藏大臣宛

何廳長官氏 名印

備考

一本表ハ在勤廳所在地ノ府縣別ニ依リ取額メ且ツ同一種類(廳又ハ署ノ)ノモノヲ順次ニ記入スヘシ
一現金前渡ヲ受クル官吏ノ分ハ前項ノ例ニ依リ別紙ニ調製スヘシ

第六章 出納官吏

●出納官吏身元保證金ニ關スル制 三十五年八月 勅令第二百五號

朕出納官吏身元保證金ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 各省大臣ハ必要ト認ムル場合ニ於テ現金若ハ物品ノ出納ヲ掌ル所ノ官吏ニ身元保證金納付ヲ命スルコトヲ得

第二條 各省大臣ハ相當ト認ムル期間内ニ於テ身元保證金ノ分納ヲ許可スルコトヲ得

第三條 身元保證金ニ代用セムトスル公債證書及土地ノ價格ハ各省大臣ニ於テ相當ト認メタル時價ニ依ルヘシ

附則

第四條 本令施行前身元保證金ヲ納付シタル者ニシテ其ノ必要ヲ認メサルトキハ之ヲ拂戻スヘシ

第五條 明治二十三年勅令第四號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●郵便爲替貯金出納官吏身元保證金納付制 二十三年六月 勅令第一百五號

朕郵便爲替金及郵便貯金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 郵便爲替金及郵便貯金ヲ取扱フ出納官吏ハ(明治二十三年勅令第四號第一條ノ制限ニ依ラス)身元保證金ヲ納ムヘシ

第二條 (三等郵便電信局及三等郵便局ノ前條出納官吏ニハ明治二十三年勅令第四號第二條ノ但書ヲ適用セス)

第三條 (會計規則第四百四條第五百五條及明治二十三年勅令第四號第六條ニ依リ大藏大臣ノ爲スヘキ職務ハ遞信大臣之ヲ行フヘシ)

●大藏省所屬出納官吏保管金員紛失ノトキ報告方 二十四年三月 大訓第十四號

造幣局 印刷局 税關

北海道廳府縣

當省所屬出納官吏保管ノ金員ヲ紛失シタル節ハ大藏省ニ於テ臨時検査員派出ノ都合有之候條右事實發覺次第直ニ報告スヘシ

前項ニ係ル缺損補填方請求ノ節ハ左ノ書類ヲ添付スル儀ト心得ヘシ

- 一 會計規則第九十一條二項ニ依ル臨時検査員檢定書寫

●出納官吏現金取扱規則 二十二年十月 大令第十三號 改正 二十三年大令一三號、四二號、三一年六號、二六年二五號、三三年四號、三四年二號

出納官吏現金取扱規則左ノ通り相定ム

出納官吏現金取扱規則

第一章 義務委託

第一條 金庫所在地ノ出納官吏ハ其取扱フ所ノ現金ヲ保管ノ爲メ其地ノ金庫ニ委託スヘシ

第二條 前條ニ據リ委託ヲ爲シタルトキハ出納官吏ハ其資格氏名ヲ記シタル印鑑ヲ金庫ニ送付スヘシ

第三條 出納官吏ヨリ保管金ノ拂込ヲナストキハ金庫ハ其保管證書ヲ製シ保管金引出切符用紙ヲ添ヘ現金ト引換ニ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第四條 出納官吏ノ職務ヲ任命シタル當該官ハ其義務委託ヲナスヘキ出納官吏ノ資格氏名ヲ金庫ヘ通知スヘシ

シ

但陸軍省海軍省ノ出納官吏ノ資格氏名ハ其所屬長官ヨリ通知スヘシ

第五條 金庫ハ前條出納官吏資格氏名ノ通知ヲ受クルニ非サレハ現金ノ仕拂ヲナスヘカラス

第六條 出納官吏ハ保管金ノ仕拂ヲ金庫ニ請求セントスルトキハ總テ引出切符ヲ以テスヘシ
 第七條 出納官吏ハ其委託シタル保管金ト同種ノ貨幣ヲ以テ仕拂ヲ請ハントスルトキハ拂込ノ際特ニ之ヲ金庫ニ求ムヘシ拂込ノ際特別ノ請求ナキモノハ總テ有合ノ通貨ヲ以テ仕拂フヘシ
 第八條 出納官吏ハ其委託シタル保管金ヲ以テ收入又ハ返納ノ爲メ金庫ニ拂込ヲナサントスルトキハ引出切符ヲ以テ拂込ヲナスヘシ

第九條 陸海軍隊費ニシテ現金仕拂ヲ要スル場合及廳中雜費工事費ニシテ小口ノ現金仕拂ヲ要スル場合ニ於テハ金庫所在地ニアリテモ所要ノ金額ヲ限リ本規則第二章ニ據リ現金ヲ保管スルコトヲ得
 前項所要ノ金額ハ仕拂命令官之ヲ定ム

第十條 出納官吏在勤地外ニ於テ取扱フ所ノ現金ハ本章ニ準シ便宜其地ノ金庫ニ委託スルコトヲ得
 第二章 隨意保管

第十一條 金庫ノ設ナキ場所ニ於テ現金ヲ保管スル所ノ出納官吏ハ堅牢ナル函ヲ備ヘ之ニ其保管ニ係ル現金及ヒ出納ノ帳簿ヲ藏置スヘシ

二人以上共同責任ヲ以テ現金ヲ保管スル場合ニ於テハ二箇以上ノ鎖鑰ヲ有スル堅牢ノ函ヲ備ヘ出納官吏其鎖鑰ヲ分管スヘシ

出納官吏現金ヲ携帶シテ旅行スル場合ニ於テハ前二項ニ據ラス相當ノ保護法ヲ設クルコトヲ得
 第十二條 出納官吏ノ保管ニ係ル現金ハ私有金ト混スルヲ得ス

第十三條 出納官吏他ノ公金ノ出納ヲ兼掌スルトキハ其現金ヲ官金ト同一ノ函中ニ藏置スルコトヲ得
 第十四條 出納官吏ハ第十二條ニ據リ現金保管ヲナシ難キ場合ニ於テハ自己ノ責任ヲ以テ確實ナル銀行又ハ身代ノ確實ナル一私人ニ其保管スヘキ現金ノ保管ヲ託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ私金ト區別シ其計算ヲ混スヘカラス
 第三章 拂込

第十五條 金庫所在地ノ收入官吏租稅其他ノ收入金ヲ領收シタルトキハ毎日之ヲ取纏メ拂込書ヲ添ヘテ翌日マテニ金庫ニ拂込ムヘシ但收入金額五拾圓未滿ナルトキハ每一箇月取纏メ金庫ニ拂込ムコトヲ得

第十六條 金庫ノ設置ナキ地方ノ收入官吏租稅其他ノ收入金ヲ領收シタルトキハ左ノ制限ニ從ヒ之ヲ取纏メ拂込書ヲ添ヘテ其在勤地ヲ出納區域トスル金庫若クハ歳入徵收官ノ指定シタル金庫ニ拂込ムヘシ但次條ニ定メタル場合ハ此限ニアラス

第一 收入金高五拾圓未滿ハ 每一箇月
 第二 收入金高百圓未滿ハ 每十日

第三 同參百圓未滿ハ 每五日
 第四 同參百圓以上ハ 翌日限

金庫所在地ノ收入官吏ニシテ金庫設置ナキ地方ニ於テ租稅其他ノ收入金ヲ領收シタル場合ハ前項ニ準ス
 第十七條 運輸通信ノ不便ナル地方ニシテ金庫ノ設置ナキ場合ニ於テ收入官吏租稅其他ノ收入金ヲ領收シタルトキハ其金額ノ監守證ヲ作り最近便ヲ於テ其在勤地ヲ出納區域トスル金庫ニ送付スヘシ

但外國ニ於テ領收シタル收入金ノ監守證ハ中央金庫へ送付スヘシ
 第十八條 金庫ハ前條ノ場合ニ於テ收入官吏ト同場所又ハ其場所ト爲替送金ノ便アル地方ニ於テ仕拂フヘキ仕拂命令ヲ受ルトキハ收入官吏ノ監守證ニ領收證ヲ添ヘテ之ヲ受取人ニ送付スヘシ

但仕拂命令ノ金額ニシテ監守證ノ金額ヨリ少額ナルトキハ領收證金額ノ右方ニ何年何月何日第何號監守證金何圓ノ内ト附記シ受取人ニ送付シ監守證ノ金額盡キタルトキニ其監守證ヲ收入官吏ニ送付スヘシ
 第十九條 收入官吏ハ前條ノ受取人ヨリ監守證ニ領收證ヲ添ヘ若クハ但書ノ領收證ヲ以テ現金ノ拂渡ヲ請求セラルルトキハ之ト引換ニ現金ヲ交付スヘシ

雜則

第二十條 本規則ハ收入官吏現金前渡ヲ受タル官吏特別會計ニ係ル官金出納官吏ニ適用ス

第二十一條 本規則ハ明治二十三年四月會計法施行ノヨリ施行ス

四六二

●出納官吏銀行又ハ一人ニ預託金ニ對シ利子ヲ受取リタルトキノ

取扱方

三十三年七月
大訓第五十六號

出納官吏

明治二十二年大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第十四條ニ依リ銀行又ハ一人ニ現金保管ヲ託セシ場合ニ於テ該預ケ金ニ對スル利子ヲ受取タルトキハ收入官吏トシテ之ヲ取扱ヒ金庫へ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

●歳入歳出外現金取扱出納官吏ニ關スル制

二十三年三月
勅令第三十五號

朕政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル規則ハ會計規則第八章及第九章中現金ヲ領收スル收入官吏ニ關スル各條ニ準據ス

●官設鐵道及通信官署ノ現金出納ニ關スル制

三十三年三月
法律第五十號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便貯金ニ屬スル現金出納ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便貯金ニ屬スル現金ノ出納ハ鐵道、郵便、電信、電話官署ノ事務員ヲシテ分掌セシムルコトヲ得
前項事務員ニ對シテハ會計法第九章ニ定ムル出納官吏ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●統監府通信官署ニ於テ同上法律ニ依ル出納員現金出納ニ

關スル制

三十八年十二月
勅令第二百八十號

朕明治三十三年勅令第四百八號明治三十六年勅令第二十三號及通信官署經費渡切規則ヲ統監府通信官署ニ準用スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
明治三十三年勅令第四百八號、明治三十六年勅令第二十三號及通信官署經費渡切規則ハ統監府通信官署ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ明治三十九年一月十日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

●官設鐵道、通信官署出納員現金出納ニ關スル制

三十三年十一月
勅令第四百八號

改正

三十四年
勅令一七三號

朕官設鐵道、郵便、電信、電話官署出納員現金出納ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
第一條 明治三十三年法律第五十號ニ依リ官設鐵道、郵便、電信、電話官署ニ於テ其ノ事務員ニ現金出納ヲ分掌セシムルトキハ主任出納官吏若ハ分任出納官吏ノ所屬出納員トシテ之ヲ取扱ハシムヘシ
第二條 出納員ノ領收シタル現金ハ之ヲ所屬出納官吏ニ拂込ムヘシ
第三條 出納員ノ出納事務ニ要スル帳簿及機式ハ通信大臣之ヲ定ム
第四條 出納員ハ其ノ現金出納ニ關シ通信大臣ノ指揮監督ヲ受ケ
第五條 出納員ノ身元保證金及之ニ關スル規定ハ通信大臣之ヲ定ム
第六條 本令中通信大臣ニ屬スル職權ハ臺灣ニ在リテハ臺灣總督之ヲ行フ

(參照)

●通信官署ノ現金受拂ニ關スル制

三十六年三月
勅令第二十三號

第六輯 會計 第六章 出納官吏

四六三

朕郵便電信電話官署ノ現金受拂ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
郵便電信電話官署ノ出納官吏ハ歳入金歳出金並歳入歳出外現金ノ交互振替及繰替受拂ヲ爲スコトヲ得其ノ取扱ニ關スル規程ハ逡信大臣大藏
大臣ト協議シテ之ヲ定ム

附則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
(參照)

●通信官署經費渡切規則 三十八年三月 勅令第六十二號

朕通信官署經費渡切規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

通信官署經費渡切規則

- 第一條 逡信大臣ハ其ノ特ニ指定シタル通信官署ニ限リ經費ノ全部又ハ一部ヲ渡切ヲ以テ當該局所長ニ交付スルコトヲ得其ノ歳出科目ノ區分ハ大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム
- 第二條 渡切經費ハ年額ニ依リ月割額ヲ定メ毎月之ヲ交付ス但シ特殊ノ事由又ハ土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ一時ニ數月分ヲ交付スルコトヲ得

附則

本令ハ明治三十八年度ヨリ之ヲ施行ス

●同上施行ニ關スル制 三十九年一月 統令第三號

明治三十六年三月逡信省令第二十三號郵便電信電話官署現金受拂規則明治三十七年五月逡信省令第三十八號
出納員現金取扱規則明治三十八年四月逡信省令第三十號通信官署經費渡切規則施行細則ハ統監府通信官署ニ
之ヲ準用ス

(參照)

●郵便電信電話官署現金受拂規則 三十六年三月 逡令第十七號 改正 四一年 逡令二十七號

郵便電信電話官署現金受拂規則左ノ通相定ム

郵便電信電話官署現金受拂規則

- 第一條 郵便電信電話官署ノ受拂ニ係ル歳入金歳出金並歳入歳出外現金ハ明治三十六年三月勅令第二十三號ニ依リ郵便電信電話官署ノ出納官吏交互振替及繰替計算ヲ以テ之カ受拂ヲ爲シ其ノ現金ハ一團トシテ之ヲ取扱フヘシ
- 第二條 支出科目ノ同一ナルモノニシテ數人ノ債主ニ對シ同時ニ歳出金ノ繰替拂ヲ要スルトキ又ハ仕拂命令官在勤廳所在地外ニアル債主ニ對シ歳出金ノ繰替拂ヲ要スルトキハ第一號書式ノ歳出金繰替拂通知書ヲ發スヘシ
- 第三條 出納官吏ノ繰替拂ヲ爲シタル歳出金ニ對シテハ當該仕拂命令官仕拂命令又ハ集合仕拂命令ヲ發シ振替計算ヲ以テ其ノ代リ金ノ拂込ヲ爲スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ發スル集合仕拂命令ニ對シテハ債主ノ金額氏名表ヲ添附スルコトヲ要セス
- 第四條 出納官吏ノ取扱ニ係ル歳入金歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂上殘金ヲ生シタルトキ又ハ歳出金及歳入歳出外現金ノ拂渡上現金ニ缺乏ヲ告クルトキハ別ニ定ムル所ノ手續ニ依リ郵便爲替貯金管理所長ニ對シ其ノ殘金ノ同納ヲ爲シ又ハ其ノ資金ノ交付ヲ受クヘシ
- 第五條 出納官吏ハ毎日其ノ取扱ニ係ル歳入金歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂高ヲ精算シ之ヲ郵便爲替貯金管理所長ニ報告スヘシ
- 第六條 郵便爲替貯金管理所長ハ郵便電信電話官署出納官吏ノ取扱ニ係ル歳入金歳出金並歳入歳出外現金ノ振替及繰替受拂高ヲ精算シ郵便爲替貯金管理所出納官吏ヲシテ中央金庫ニ對シ振替計算ヲ以テ毎日其ノ受拂ヲ爲サシムヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ要スル歳入金振替拂込書ハ第二號書式ニ依ル
- 第七條 郵便電信電話官署ノ歳入金歳出金又ハ歳入歳出外現金ノ受拂ニ關シ特殊ノ事由アルモノニ對シテハ前各條ノ規定ヲ適用セサルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ總テ一般ノ規定ニ依ル

附則

- 第八條 本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス
- 第九條 明治三十五年度會計ニ屬スルモノノ計算整理ニ關シテハ總テ一般ノ規定ニ依ル
- 明治三十六年度會計ニ屬スルモノニシテ本令施行ノ際既ニ一般ノ規定ニ依リ取扱ヲ爲シタルモノノ計算整理ニ關シテハ前項ノ例ニ依ルコトヲ得

「第一號書式」用紙寸法 縱四寸五分 輪廓寸法 縱三寸五分 橫五寸五分 橫四寸三分

歲出金繰替拂通知書

領收證

第「何」號	「主」取管「總」廳	仕拂金庫	「何」地	金庫
發日 附印	繰替拂渡局所指定	拂日 附印	「何」國	「何」局所
日附印			日附印	

明治「何」年度「任拂命令」又ハ集合仕拂命令
第「何」號

一金「何」程

右金額指定ノ繰替拂渡局所ニ出頭シ現金ヲ受領セラルヘシ

「何」ノ誰宛

「何」局所長 官 氏 名「印」

前記ノ金額領收候也

明治「何」年「何」月「何」日

收入紙印

受取人「何」ノ誰「印」

注意 受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟覽スヘシ

歲入金替拂込書

(裏面)

注意事項

- 一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日ヲ記入シ署名捺印シ現金領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ繰替拂渡局所ニ差出シ現金ノ拂渡ヲ受ケヘシ
 - 二 印章ハ請求書ニ押捺シタルモノト同一ノモノニ限ル
 - 三 受領金額五圓以上ノモノハ二錢收入印紙ヲ貼附消印スヘシ但營業ニ關セサルモノハ此ノ限ニアラス
- 「第二號書式」用紙適宜 縱四寸五分ノモノ二枚 橫三寸三分ノモノ一枚 縱四寸五分ノモノ一枚接續

第「何」號	明治「何」年度歲入	「所管廳」	徵收官入	「官」氏 名「印」
取扱廳	「何」廳			

一金「何」程

但「雜部保管金」又ハ何々「ヨリ」振替拂込ノ分

右拂込候也

明治「何」年「何」月「何」日

「何」廳出納官吏

「官」氏 名「印」

金庫 割印

領收證書

第「何」號	明治「何」年度	歲入	所管廳	徵收官	「官」氏名
一金「何」程				拂納官吏	「官」氏名
<small>金庫</small> 取扱主任之印 但「雜部保管金」又ハ何々「ヨリ振替拂込ノ分 右領收候也 明治「何」年「何」月「何」日					
			「何」地	「金庫」印	

通知書

第「何」號	明治「何」年度	歲入	所管廳	取扱廳	「何」廳
一金「何」程				拂納官吏	「官」氏名
<small>金庫</small> 取扱主任之印 但「雜部保管金」又ハ何々「ヨリ振替拂込ノ分 右領收濟ニ付通知候也 明治「何」年「何」月「何」日 「歳入徵收官官氏名宛」					
			「何」地	「金庫」印	

(參照)

● 出納員現金取扱規則

三十七年五月 改正 三十八年遞令二三號、三十九年五二號
遞令第三十八號 四一年二號

明治三十四年八月遞信省令第三十六號出納員現金取扱規則左ノ通改正ス

出納員現金取扱規則

- 第一條 鐵道作業局、通信官署ノ出納員ハ左ノ範圍内ニ於テ現金ノ出納ヲ爲スヘシ
 - 一 鐵道作業局出納員ハ計理部本部並各出納事務所及各出費所ヨリ派出仕拂ヲ要スル前渡金及各種ノ歳入金
 - 二 通信官署中出納官吏ヲ置ク處ノ出納員ハ歳入金及現業上ニ於ケル歳入歳出外現金
 - 但收入印紙及郵便切手類割引資下代金、資金、過超金ハ此ノ限ニアラス
 - 出納官吏ヲ置カサル所ノ出納員ハ總テノ受拂
- 第二條 出納員ハ鐵道書記、通信屬、鐵道書記補、通信手、雇員、郵便及電信受取所取扱人、特別郵便集配人特別鐵道
驛夫ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三條 出納員ハ其ノ領收シタル現金ヲ毎日精算シテ混滞ナク其ノ所屬出納官吏ヘ拂込領收證書ヲ受クヘシ
但出納官吏ヲ置カサル處ノ出納員ハ別ニ定ムル所ニ依リ現金拂込ヲ爲スヘシ
- 第四條 出納員ハ其ノ所屬出納官吏ヨリ現金ヲ受領シタルトキハ領收證書ヲ發スヘシ
- 第五條 出納員ハ明治二十六年大藏省令第三十二號第十四號書式ノ現金出納簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ登記スヘシ
- 第六條 特種ノ帳簿ニ依リ現金ノ受授ヲ證シ得ルモノ及特種ノ帳簿ヲ以テ現金出納簿ニ代用シ得ルモノハ第三條第四條ノ領收證書及第五條
ノ現金出納簿ヲ要セス
- 第七條 現金出納ノ取扱ニ關シ本規則ノ外特ニ規定シタルモノアルトキハ其ノ規定ニ依ル
附則
- 第八條 本令ハ明治三十七年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

● 通信官署經費渡切規則施行細則

四十年四月 改正 四〇年
遞令第十四號 遞令二五號

通信官署經費渡切規則施行細則左ノ通相定ム

第六輯 會計 第六章 出納官吏

通信官署經費渡切規則施行細則

第一條 明治三十八年三月勅令第六十二號通信官署經費渡切規則ニ依リ特ニ指定シタル通信官署ノ局長ニ交付スヘキ渡切經費ノ種目ハ左ノ如シ

- 一 器具機械費
- 二 式紙帳簿雜品費
- 三 圖書購買費
- 四 薪炭費
- 五 點燈費
- 六 通信運搬費
- 七 備人料
- 八 三等局以下事務費
- 九 三等局以下集配費
- 十 三等局以下遞送費
- 十一 船舶車輛費
- 十二 賄費
- 十三 諸雜費

前項各號ノ渡切經費中當該通信官署ノ局長ニ交付スヘキモノノ種目及其ノ細目ハ別ニ之ヲ定ム

第二條 渡切經費ノ交付ヲ受ケタル通信官署ノ局長ハ其ノ交付額ヲ以テ前條ニ依リ指定スル所ノ一切ノ費途ヲ負擔シ其ノ仕拂ノ責ニ任ス

第三條 前條費途ノ仕拂ニ關シテハ官職名ヲ以テスルト否トニ拘ラス總テ當該通信官署ノ局長自己ノ責任トシ政府其ノ責ニ任セシ

第四條 渡切經費ノ交付額ハ毎年度月割額ヲ定メ當該通信官署ノ局長ニ之ヲ令達ス

第五條 渡切經費ハ前條ノ月割額ヲ以テ毎月十六日以後當該通信官署ノ局長ニ之ヲ交付ス但シ時宜ニ依リ別途仕拂ヲ爲シ又ハ別途現品ヲ以テ交付スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ本條ノ交付額ヨリ其ノ費額ヲ控除ス

第六條 渡切經費ヲ交付スヘキ通信官署ヲ新ニ指定シ若ハ開始シタル場合ニ於ケル當月分ノ渡切經費ハ日割計算ヲ以テ之ヲ交付ス渡切經費

額ニ増減ヲ生シタルトキ亦同シ

渡切經費ヲ交付スヘキ通信官署ノ局長ノ交迭又ハ死亡ノ場合ニ於ケル當月分ノ渡切經費ハ其ノ交迭又ハ死亡ノ日カ月ノ十五日以前ナルトキハ半額、月ノ十六日以後ナルトキハ全額ヲ前任局長ニ交付ス其ノ後任局長ニ交付スヘキ渡切經費ハ任命ノ翌日ヨリ月末ニ至ル日數ニ依リ之ヲ算定ス

渡切經費ヲ交付スヘキ通信官署ノ指定ヲ廢止シ又ハ其ノ通信官署ヲ廢止シタル場合ニ於ケル當月分ノ渡切經費ハ其廢止ノ日カ月ノ十五日以前ナルトキハ半額ヲ交付シ月ノ十六日以後ナルトキハ全額ヲ交付ス

第七條 三等郵便局以下ノ通信官署ニ交付スヘキ渡切經費ハ前二項ノ場合ニ於テ日割計算トス

第八條 前項ノ場合ニ於テ特ニ吏員ヲ派遣シ局長ノ事務ヲ執行セシメタルトキハ其間渡切經費ノ全部若ハ一部ヲ交付セシ

第九條 渡切經費ヲ交付スヘキ通信官署ノ指定シ若ハ渡切經費ノ種目(細目ヲ含ム)ヲ増加シタル場合ニ於テ其ノ當初準備ノ爲ニ要スルモノハ前各條ニ依リ交付スルモノノ外別ニ指定シタル範圍内ニ於テ一時限リ別途仕拂ヲ爲シ又ハ別途現品ヲ以テ交付スルコトアルヘシ

第十條 渡切經費ヲ交付スヘキ通信官署ノ指定ヲ廢止シ若ハ其ノ通信官署ヲ廢止シ又ハ其ノ局長ノ交迭若ハ死亡シタル場合ニ於テ渡切經費ノ支拂ニ屬スル費途ノ仕拂未済ニ係ルモノアルトキハ總テ前任局長前任局長ノ身元引受人又ハ特ニ命シタル清算官吏ニ於テ遲滞ナク其支拂ヲ完了スヘシ

第十一條 左ノ各號ノ場合ニ於テハ特ニ渡切經費ノ種目又ハ其ノ交付額ヲ増減スルコトアルヘシ

- 一 天災事變又ハ事業ノ興廢伸縮若ハ規模變更等ノ場合ニ於テ渡切經費ヲ以テ支拂スヘキ費途ニ著シク異動ヲ生シタルトキ
- 二 前號ノ外遞信大臣ニ於テ必要ト認メタルトキ
- 三 三等郵便局長職務上ノ義務ニ違背シタルトキハ第一條第八號乃至第十號ノ種目ニ屬スル渡切經費交付額ヲ減額スルコトアルヘシ
- 第十一條 土地ノ狀況又ハ特殊ノ事由ニ依リ一時ニ數月分ノ渡切經費ノ交付ヲ必要トスルトキハ當該通信官署ノ局長事由ヲ詳具シ遞信大臣ノ許可ヲ受ケヘシ

附則

本令ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス
明治三十八年四月遞信省令第三十號通信官署經費渡切規則施行細則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

● 通信官署ニ於テ韓國國庫金取扱方

三十九年九月
統令第三十六號

四七一

統監府通信官署ノ取扱ニ屬スル韓國國庫金ハ總テ帝國會計ノ歲入歳出外現金トシ明治三十八年勅令第二百八十號及明治三十九年統監府令第三號ニ從ヒ明治三十六年勅令第二十三號及郵便電信電話官署現金受拂規則ニ依リ通信官署ノ出納官吏又ハ出納員ニ於テ他ノ各種現金ト共ニ交互振替又ハ繰替計算ヲ以テ之ヲ取扱フヘシ本令ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 同上出納受持區域指定表

四十一年二月
統令第十四號

明治三十九年九月統監府告示第九十九號統監府通信官署韓國國庫金出納受持區域指定表別表ノ通改正シ明治四十一年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

統監府通信官署韓國國庫金出納受持區域指定表

京畿道

通信官署名 漢城府西署積善坊
通信管理 局 永登浦本町
永登浦郵便局 安城郡安城邑
安城郵便取扱所 楊州郡楊州邑
楊州郵便取扱所 廣州郡廣州邑
廣州郵便取扱所 坡州郡七井面汝山浦
汝山郵便取扱所 驪州郡驪州邑
驪州郵便取扱所

通信官署名 利川郡利川邑
利川郵便電信取扱所 振威郡振威邑
振威郵便取扱所 金浦郡金浦邑
金浦郵便取扱所 楊平郡楊平邑
楊平郵便取扱所 抱川郡内北面初加采里
抱川郵便取扱所 漣川郡漣川邑
漣川郵便取扱所 南陽郡南陽邑
南陽郵便取扱所

江華郵便取扱所 江華郡江華邑

忠清南道

通信官署名

位

置

江景郵便局 恩津郡金浦面江景浦
洪州郵便局 洪州郡洪州邑
太田郵便局 懷德郡州南面太田
瑞山郵便取扱所 瑞山郡瑞山邑
河川郵便取扱所 河川郡河川邑
定山郵便取扱所 定山郡定山邑
禮山郵便取扱所 禮山郡禮山邑

忠清北道

通信官署名

位

置

忠州郵便局 忠州郡忠州邑
沃川郵便取扱所 沃川郡邑内面佳花洞
永同郵便取扱所 永同郡永同邑
報恩郵便取扱所 報恩郡報恩邑

全羅南道

通信官署名

位

置

長興郵便取扱所 長興郡長興邑
靈光郵便取扱所 靈光郡靈光邑
莞島郵便取扱所 莞島郡莞島邑

長湍郵便取扱所 長湍郡長湍邑

通信官署名

位

置

牙山郵便取扱所 牙山郡牙山邑
天安郵便電信取扱所 天安郡天安邑
全義郵便取扱所 全義郡全義邑
藍浦郵便取扱所 藍浦郡藍浦邑
鴻山郵便取扱所 鴻山郡鴻山邑
連山郵便取扱所 連山郡連山邑

通信官署名

位

置

鎮川郵便取扱所 鎮川郡鎮川邑
槐山郵便取扱所 槐山郡槐山邑
堤川郵便電信取扱所 堤川郡堤川邑

通信官署名

位

置

咸平郵便取扱所 咸平郡咸平邑
海南郵便取扱所 海南郡海南邑
珍島郵便取扱所 珍島郡珍島邑

靈巖郵便取扱所 靈巖郡靈巖邑
麗水郵便取扱所 麗水郡麗水邑
興陽郵便取扱所 興陽郡興陽邑
綾州郵便取扱所 綾州郡綾州邑

全羅北道

通信官署名

南原郵便局 南原郡南原邑
淳昌郵便取扱所 淳昌郡淳昌邑
錦山郵便取扱所 錦山郡錦山邑
鎮安郵便取扱所 鎮安郡鎮安邑
龍潭郵便取扱所 龍潭郡龍潭邑

慶尙南道

通信官署名

巨濟郵便取扱所 巨濟郡巨濟邑
咸陽郵便取扱所 咸陽郡咸陽邑
南海郵便取扱所 南海郡南海邑
靈山郵便取扱所 靈山郡靈山邑
三嘉郵便取扱所 三嘉郡三嘉邑
陝川郵便取扱所 陝川郡陝川邑

慶尙北道

四七四

潭陽郵便取扱所 潭陽郡潭陽邑
谷城郵便取扱所 谷城郡谷城邑
順天郵便取扱所 順天郡順天邑
長城郵便取扱所 長城郡長城邑

通信官署名

咸悅郵便取扱所 咸悅郡咸悅邑
金堤郵便取扱所 金堤郡金堤邑
泰仁郵便取扱所 泰仁郡泰仁邑
古阜郵便取扱所 古阜郡古阜邑
高敞郵便取扱所 高敞郡高敞邑

置

通信官署名

居昌郵便取扱所 居昌郡居昌邑
固城郵便取扱所 固城郡固城邑
河東郵便電信取扱所 河東郡河東邑
蔚山郵便電信取扱所 蔚山郡蔚山邑
金海郵便電信取扱所 金海郡金海邑
密陽郵便電信取扱所 密陽郡府南面鵝谷洞

置

通信官署名

慶州郵便局 慶州郡慶州邑
尙州郵便局 尙州郡尙州邑
安東郵便局 安東郡安東邑
星州郵便取扱所 星州郡星州邑
浦項郵便取扱所 延日郡北面浦項
盈德郵便取扱所 盈德郡盈德邑
清道郵便取扱所 清道郡下面高樹洞
永川郵便取扱所 永川郡永川邑
慈仁郵便取扱所 慈仁郡慈仁邑

江原道

通信官署名

江陵郵便局 江陵郡江陵邑
金化郵便局 金化郡金化邑
鐵原郵便取扱所 鐵原郡鐵原邑
淮陽郵便取扱所 淮陽郡淮陽邑
原州郵便取扱所 原州郡原州邑
洪川郵便取扱所 洪川郡洪川邑
伊川郵便取扱所 伊川郡伊川邑
杆城郵便取扱所 杆城郡杆城邑

黃海道

通信官署名

軍威郵便電信取扱所 軍威郡軍威邑
義城郵便電信取扱所 義城郡義城邑
善山郵便取扱所 善山郡善山邑
金泉郵便取扱所 金山郡金泉面新基洞
青松郵便取扱所 青松郡青松邑
開慶郵便取扱所 開慶郡開慶邑
榮川郵便取扱所 榮川郡榮川邑
醴泉郵便取扱所 醴泉郡醴泉邑

置

通信官署名

平昌郵便電信取扱所 平昌郡平昌邑
蔚珍郵便取扱所 蔚珍郡蔚珍邑
楊口郵便取扱所 楊口郡楊口邑
三陟郵便取扱所 三陟郡三陟邑
襄陽郵便取扱所 襄陽郡襄陽邑
長箭郵便取扱所 通川郡臨道面長箭洞

置

通信官署名

位

置

黃州郵便電信取扱所 黃州郡黃州邑
 瑞興郵便取扱所 瑞興郡瑞興邑
 安岳郵便取扱所 安岳郡安岳邑
 斐津郵便取扱所 斐津郡斐津邑
 延安郵便取扱所 延安郡延安邑
 載寧郵便取扱所 載寧郡載寧邑

平安南道

通信官署名

位

置

安州郵便局 安州郡安州邑
 中和郵便取扱所 中和郡中和邑
 順安郵便取扱所 順安郡順安邑
 德川郵便取扱所 德川郡德川邑
 順川郵便取扱所 順川郡順川邑

平安北道

通信官署名

位

置

寧邊郵便局 寧邊郡寧邊邑
 龍岩浦郵便局 龍川府西面龍岩浦
 定州郵便局 定州郡定州邑
 江界郵便局 江界郡江界邑
 楚山郵便局 楚山郡楚山邑

通信官署名

四七六

置

沙里院郵便取扱所 鳳山郡沙里院坊沙里院洞
 平山郵便取扱所 平山郡平山邑
 谷山郵便取扱所 谷山郡谷山邑
 新溪郵便取扱所 新溪郡新溪邑
 長連郵便取扱所 長連郡長連邑
 長淵郵便取扱所 長淵郡長淵邑

通信官署名

位

置

成川郵便取扱所 成川郡成川邑
 价川郵便取扱所 价川郡价川邑
 陽德郵便取扱所 陽德郡陽德邑
 江西郵便取扱所 江西郡江西邑

通信官署名

位

置

昌城郵便電信取扱所 昌城郡昌城邑
 碧潼郵便取扱所 碧潼郡碧潼邑
 宣川郵便電信取扱所 宣川郡宣川邑
 博川郵便取扱所 博川郡博川邑
 龜城郵便取扱所 龜城郡龜城邑

厚昌郵便取扱所 厚昌郡厚昌邑

通信官署名

位

置

端川郵便電信取扱所 端川郡端川邑
 永興郵便電信取扱所 永興郡永興邑

通信官署名

位

置

茂山郵便電信取扱所 茂山郡茂山邑
 富寧郵便電信取扱所 富寧郡富寧邑
 明川郵便電信取扱所 明川郡明川邑
 吉州郵便取扱所 吉州郡吉州邑

慈城郵便取扱所 慈城郡慈城邑
 烈川郵便取扱所 烈川郡烈川邑

咸鏡南道

通信官署名

位

置

北青郵便局 北青郡北青邑
 甲山郵便電信取扱所 甲山郡甲山邑
 長津郵便電信取扱所 長津郡長津邑

咸鏡北道

通信官署名

位

置

會寧郵便局 會寧郡會寧邑
 慶興郵便局 慶興府慶興邑
 慶源郵便電信取扱所 慶源郡慶源邑
 穩城郵便電信取扱所 穩城郡穩城邑
 鍾城郵便電信取扱所 鍾城郡鍾城邑

出納官吏現金出納簿記帳方

三十五年三月 大訓第十號

出納官吏

出納官吏現金出納簿ハ一人一冊トシ其職務主管廳ノ如何ヲ問ハス總テ混記スヘキ筈ノ處其記帳方往々區々ニ相成居候向不尠不都合ニ付自今左ノ通心得ヘシ

- 一 現金出納簿ハ一人一冊トシ其職務主管廳ノ如何ヲ問ハス總テ之ニ混記スヘシ
- 一 現金出納簿ノ外別ニ補助簿ヲ設ケ其職務並ニ主管廳ヲ區別整理スルハ妨ナシ

年月日	摘要	受	拂	残	年月日
明治何年		圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	明治何年
四 一	前年度ヨリ繰越受入高	50000			六 十六
”	何々金何某ヨリ収入	30000		80000	”
六	何々金何某ヨリ収入	20000		100000	十八
十一	何地金庫へ拂込		70000	30000	二十一
	四月分合計	100000	70000		二十三
六 十	何々金何某ヨリ受入	30000		60000	明治何年
十二	何々金何某へ拂渡		30000	30000	三 五
十三	出納官吏何某へ引継高		30000	0	十二
	六月分小計	30000	60000		二十五
	總計	130000	130000		三十一
	明治何年六月何日				
	前任出納官吏 官	氏名 圓			
	後任出納官吏 官	氏名 圓			
十三	前任出納官吏何某ヨリ引継受入	30000			
”	何々金何某ヨリ収入	50000		80000	
十五	何地金庫へ拂込		80000	0	
十六	何々金何某ヨリ受入	10000		10000	
	六月分追次締高	90000	80000		
	追次締高	90000	80000		

摘要	受	拂	残
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
前業締高	90000	80000	10000
六月分前業締高	90000	80000	
何々金何某ヨリ収入	40000		50000
何々金何某へ拂渡		10000	40000
何地金庫へ拂込		40000	0
六月分小計	130000	130000	
何々金何某ヨリ収入	25000		25000
何地金庫へ拂込		25000	0
何々金何某ヨリ収入	30000		30000
翌年度へ繰越高		30000	0
三月分合計	55000	55000	
總計	185000	185000	

一 保管金收入金ヲ兼取扱フ出納官吏ニシテ保管金ヲ歳入ニ納付スル場合ニ於テハ特ニ收入トシテ受入ノ記帳ヲ爲サス直チニ金庫へ拂込ノ記帳ヲ爲スヘシ

一 現金ハ其所屬年度ノ如何ニ拘ラス現ニ其取扱ヲ爲シタル年度ノ帳簿ニ登記スヘシ

一 金種類ノ同一ナル數廉ノ受拂ハ毎日取纏メ記帳スルモ妨ナシ

一 誤記訂正ハ必ス朱書スヘシ

一 記帳例左ノ如シ

第二十七號ノ三 砂糖消費稅擔保物臺帳 丙(稅法第十一條ノ一該當ノモノ)

四八〇

引取年月日	擔保指定額	擔保提供年月日	種類	金額又ハ價額	住所	氏名	事故
三十五年四月一日	二四〇〇〇〇	三十五年四月一日	現金	二四〇〇〇〇			第二種一萬五千斤ニ對シ提供 △何年何月何日何々ニ依リ 還付
三十五年九月三十日	二四〇〇〇〇	三十五年五月二日	軍事公債證書	二四〇〇〇〇			第二種一萬五千斤ニ對シ提供 △期限内製造セサルニ依リ 何年何月何日擔保物ヲ公 買シテ税金ニ充ツ
三十五年五月三日	二四〇〇〇〇						
三十五年十一月二日							

事故欄内△印ハ朱書スルモノトス

●出納官吏検査規程

二十五年五月
大訓第三十號

出納官吏

出納官吏検査規程左ノ通り相定候條爲心得此旨訓令ス

出納官吏検査規程

- 第一條 大藏大臣ハ其指揮監督ノ下ニアル出納官吏ノ金櫃帳簿及事務取扱方ノ實況ヲ検査スルヲ必要ト認ムルトキハ検査員ヲ特派シテ之ヲ施行ス
- 第二條 検査員ハ臨檢章ヲ携帶シテ之ヲ出納官吏ニ示シタル後検査ニ著手シ其旨當該廳長ニ通告スヘシ

- 第三條 検査員ハ出納官吏ヨリ出納計算書ヲ差出サシメ之ヲ帳簿及保管ノ現在金ニ照合スヘシ
- 第四條 検査員ハ出納官吏ノ帳簿並ニ收支ノ手續等例規ニ反スルコトナキヤ否ヲ稽查スヘシ
- 第五條 検査員出納官吏ノ金櫃帳簿等検査ニ關シ必要ト認ムルトキハ當該廳ニ向ヒ其關係書類ノ送付ヲ求めルコトアルヘシ
- 第六條 検査員出納官吏ノ保管スル現金ノ検査ヲ了シタルトキハ檢定書ニ通テ調製シ該官吏ヲシテ之ニ署名捺印セシメ其一通ヲ本人ニ交付スヘシ
- 第七條 検査員出納官吏ノ帳簿ノ検査ヲ了シタルトキハ帳簿表紙ノ裏面ニ何年何月何日マテノ出納ハ検査済ナルコトヲ記載シ更ニ記名調印ヲナスヘシ

●出納官吏交替ノトキ事務引繼手續

二十三年四月
大訓第五十四號

改正

二十三年大訓一五三號、二五年二八
號二六年六六號、二七年四三號

- 出納官吏交替ノトキ事務引繼左ノ通り心得ヘシ
- 第一條 出納官吏交替ノトキハ前任出納官吏ニ於テ引繼ヘキ帳簿證憑書其他書類ノ目錄ニ通テ作り後任出納官吏立會ノ上ニテ現物ニ照シ受授ヲナシタル後チ目錄ニ年月日及ヒ無相違受授ヲ了シタル旨ヲ記入シ兩出納官吏ニ於テ署名捺印シ各一通ヲ所持スヘシ
- 第二條 出納官吏ニ於テ備フル所ノ帳簿ハ引繼ノ日ニ於テ最終記帳ノ下ニ單線ヲ畫シ合計高ヲ記載シ其下ニ二線ヲ畫シ其次ニ年月日ヲ記入シ前任出納官吏及後任出納官吏署名捺印スヘシ
- 第三條 會計規則ニ依リ收入官吏ニ於テ調製スル所ノ毎月收入報告書ハ後任收入官吏之ヲ調製スヘシ
- 第四條 (削除)
- 第五條 收入官吏交替ノトキハ前任收入官吏ニ於テ第二號書式ノ收入計算書ニ通テ調製シ收入未濟額ヲ後任收入官吏ニ引繼ヘシ
- 第六條 「現金ヲ領收スル」收入官吏現金前渡ヲ受ケタル官吏及政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納

官吏交替ノトキハ前任出納官吏ニ於テ現在保管ノ金額及金種類ヲ示ス所ノ第三號書式計算書ヲ作り現金出納簿ト對照シ保管金ヲ後任出納官吏ニ引繼ヘシ

第七條 後任出納官吏第五條及第六條ノ引繼ヲ受ケタルトキハ收入計算書及保管金現在高計算書ニ式ノ如ク記入捺印シ其一通ヲ前任出納官吏ニ交付スヘシ

第八條 二十二年大藏省令第十三號第一章ニ依リ出納官吏ヨリ金庫ニ委託シタル現金ハ前任出納官吏ヨリ後任出納官吏ニ引繼キ後任出納官吏ハ同省令第二條ニ依リ印鑑ヲ金庫ニ送付スヘシ

第九條 (削除)

「第一號書式」(削除)

（以下は非常に淡く印刷された文書内容が読み取れない）

「第二號書式」 朱印ハ及内ノ

某年度 收入計算書

款	項	日	調定済額		収入済額		不納		収入		収入未済額内際	
			円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	納期中	處分中
何々	何々	何々	4,000	00	3,000	00	900	00	100	00	0	100
何々	何々	何々	5,000	00	4,500	00	400	00	100	00	50	50
何々	何々	何々	7,000	00	7,000	00	0	00	0	00	0	0
合計			16,000	00	14,500	00	1,300	00	200	00	50	150

書面明
 通リ引繼ヲ了シ候也
 治年月日
 前任收入官吏官氏名
 後任收入官吏官氏名

「第三號書式」
保管金現在高算計書

金 種 類	金 額		備 考
	圓	錢	
貨貨貨幣符形形	0	0	何地金庫へ保管預ノ分
切手手	500	00	
出替金	50	00	
金銀銅紙引爲預	3,000	00	
	10,000	00	
	30	00	
合 計	14,380	00	

書面ノ通り引繼ヲ了シ候也
明治 年 月 日
前任出納 官吏 官氏名 團
後任出納 官吏 官氏名 團

「第四號書式」(削除)

第七章 金庫

●金庫規則 二十二年十二月 勅令第百二十六號 改正 二八年 勅令二九號

朕金庫規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

金庫規則

- 第一條 金庫ハ國庫ニ於テ保管出納スル現金ヲ取扱フ所トス
- 第二條 金庫ヲ分テ左ノ三種トス
 - 第一 中央金庫
 - 第二 本金庫
 - 第三 支金庫
- 第三條 東京ニ中央金庫ヲ置キ地方ニ本金庫及支金庫ヲ置ク
- 第四條 本金庫支金庫ノ位置及各金庫ノ出納區或ハ大藏大臣之ヲ定ム
- 第五條 金庫ハ大藏大臣之ヲ管理ス
- 第六條 中央金庫ハ各地ノ本金庫ヲ統轄シ本金庫ハ支金庫ヲ總轄ス但本金庫ヲ置カサル地方ノ支金庫ハ中央金庫之ヲ總轄ス
- 第七條 中央金庫本金庫支金庫ノ現金ノ保管出納ハ日本銀行ヲシテ取扱ハシム
- 第八條 日本銀行ハ第七條ニ依リ各地ノ代理店ヲ定メントキハ大藏大臣ノ認可ヲ要ス
- 第九條 日本銀行ノ支店長出張店長又ハ代理店長ハ金庫出納役ノ代理人トシテ其ノ事務ヲ分擔スヘシ
- 第十條 大藏大臣ハ検査官吏ヲ派出シ何時ニテモ金庫ノ金櫃帳簿ヲ検査スルコトヲ得

第六輯 會計 第七章 金庫

此ノ場合ニ於テハ日本銀行本支店出張店代理店タル銀行全部ノ金櫃帳簿ヲ併セテ検査スルコトアルヘシ
 第十一條 日本銀行ハ中央金庫本金庫支金庫ノ現金ノ保管出納ニ付政府ニ對シ一切ノ責任ヲ有ス
 第十二條 金庫ニ於テ備フヘキ帳簿ノ種類其規程出納ノ順序及ヒ金庫ノ検査規程ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル
 第十三條 本規則ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

●在韓國各金庫開閉時間 四十二年十二月 大告第百六十八號

在韓國各金庫開庫時間ヲ明治四十三年一月一日ヨリ左ノ通相定ム
 一 韓國標準時午前九時ヨリ午後三時マテ
 但土曜日ハ午後一時限リ閉鎖ス

●韓國內金庫名稱位置 三十九年十月 改正 四〇〇年 大告一五號

本年七月ヨリ韓國內ニ本支金庫ヲ設置ス其名稱位置左ノ如シ

本金庫名	所屬支金庫名	所 在 位 置
京 城	元	同 元山
	平	同 平壤
	仁	同 仁川
	釜	同 釜山
		韓國京城羅洞

城	同 鏡城
咸 興	同 咸興
鏡 城	同 鏡城

●金庫ニ於テ現金領收後納額告知書現金拂込書及納付書記載年度ノ誤謬

發見ノトキ訂正手續 二十四年五月 改正 二六年、三三年、三六年 大令第十一號

金庫ニ於テ現金領收濟ノ後納額告知書現金拂込書及納付書記載ノ年度ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキ訂正手續左ノ通り定ム

第一條 納額告知書納付書記載ノ年度誤謬ノ場合ニ於テハ歳入徵收官又現金拂込書記載ノ年度誤謬ノ場合ニ於テハ收入官吏ヨリ訂正方ヲ金庫ニ請求スヘシ

第二條 金庫ニ於テ前條ノ請求ヲ得タルトキハ帳簿ヲ訂止シ直チニ其旨ヲ歳入徵收官ニ報告シ歳入徵收官ハ金庫ノ報告ニ依リ金庫ニ於テ訂正セシムニ於テ帳簿ヲ訂正スヘシ

第三條 前項ニ依リ訂正ヲナスハ翌年度六月三十日迄ニ請求書ノ金庫ニ到達シタルモノニ限ル
 第三條 金庫ニ領置シタル納額告知書現金拂込書又ハ納付書ニハ金庫ニ於テ又領收濟通知書ニハ歳入徵收官ニ於テ訂正ノ事由ヲ附記シ置クヘシ

●金庫出納事務規程 二十六年十一月 大訓第三十九號

改正 二六年大訓五七號、六〇號、二七年五號、三四號、三六號、四一號、二八年一號、三〇年一七號、三八號、三一年二五號、六五號、三三年一號、二四號、二九號、四一號、三四年四號、三五年二號、三六年三號、二四號、二九號、四〇年五號、四一年三號、五號、二六號

明治二十二年當省訓令第七十二號金庫出納事務規程左ノ通改正ス
金庫出納事務規程

出納官吏 金庫出納役

四八八

第一章 總 則

第一條 金庫ノ事務ヲ分チ歲入部、歲出部、各特別會計ノ歲入歲出部、雜部、預金部ノ五部トス但各特別會計ノ歲入歲出部及預金部ニ關シ特別ノ規程ヲ要スルモノハ別ニ定ムル所ニ據ル

第二條 金庫ノ出納ハ大藏大臣ノ指定スル開庫時間内ニ於テス但各廳ノ請求ニ據リ臨時至急ノ仕拂ヲ要スルトキ又ハ納期ニ際シ領收金輻輳スルトキハ此限ニアラス

第三條 金庫ニ於テ領收スル現金ハ其貨幣持參人ノ目前ニ於テ鑑定スヘシ但贋造描改ノ通貨ヲ發見シタルトキハ明治九年第五十七號布告ニ據ルヘシ

第四條 金庫ニ於テ仕拂ニ用フル現金ハ其金庫在合ノ通貨ヲ以テス但保管金、供託金ノ類ニシテ同種ノ貨幣ヲ以テ拂戻ヲ要スルコトアルトキハ此限ニアラス

第五條 金庫ハ照較ニ供スル爲メ出納ニ關係アル官吏ハ其印鑑及事務取扱主任者ノ印鑑ヲ差出スヘシ

第六條 金庫ニ於テ仕拂上照較ニ供スル印鑑ハ各廳ヨリ直ニ關係ノ金庫ヘ送付ヲ受クルモノトス

第二章 歲 入 部

第七條 金庫ニ於テ納人ヨリ納稅告知書送付書若クハ納付書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ該納稅告知書送付書若クハ納付書ニ接續セル領收證書及通知書若クハ納入濟書ヘ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ金庫並ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ納人ヘ交付シ其通知書若クハ納入濟書ハ歲入徵收官ヘ送付シ納稅告知書、送付書、納付書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第八條 金庫ニ於テ納人ヨリ納入告知書若クハ納付書(租稅外)ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ該納入告知書若クハ納付書ニ接續セル領收證書及通知書ヘ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ

金庫並ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ納人ヘ交付シ其通知書ハ歲入徵收官ニ送付シ納入告知書、納付書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第九條 金庫ニ於テ收入官吏ヨリ現金拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ該拂込書ニ接續セル領收證書及通知書ヘ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ金庫並ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ該收入官吏ヘ交付シ其通知書ハ歲入徵收官ヘ送付シ現金拂込書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第十條 金庫ニ於テ出納官吏現金取扱規則第十七條ニ據リ收入官吏ヨリ監守證ニ送付書ヲ添ヘ受取リタルトキハ之ヲ保存シ置キ追テ歲出金ヘ振換ヲ爲ストキ該收入官吏ノ拂込ニ立テ第一號書式ノ領收證書及通知書ヲ調製シ其領收證書ハ該監守證ニ添ヘ受取人ヘ其通知書ハ歲入徵收官ヘ送付スヘシ

第十一條 金庫ニ於テ前各條ニ據リ納人若クハ收入官吏ヨリ受領シタル納稅告知書、送付書、納付書、納入告知書、現金拂込書若クハ監守證ハ總テ歲入徵收官ノ計算トシテ取扱フヘシ

第十二條 金庫ハ現金收入濟ノ納稅告知書、送付書、納付書、納入告知書、現金拂込書及監守證ノ送付書(第十條ノ拂込ニ立テタル分ノミ)其他ノ證憑書類ヲ各年度、主管廳、取扱廳及歲入徵收官毎ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ收入額ニ對查シ共ニ保存スヘシ但支金庫ニ於テ調製セシモノハ其證憑書ト共ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ

第三章 歲 出 部

第十三條 金庫ニ於テ大藏大臣ヨリ仕拂豫算若クハ其更定計算書又ハ年度開始前支出ノ令達ヲ受ケタルトキハ其金額ヲ支出簿ニ登記スヘシ

第十四條 金庫ニ於テ仕拂命令官ヨリ案内仕拂命令、集合仕拂命令若クハ金庫所在地外ニアル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ調査スヘシ

第一 該命令ノ様式ニ違フコトナキヤ

第二 該命令ノ金額ヲ支出簿仕拂豫算ノ殘額ト照合シ仕拂豫算各項ノ金額ニ超過スルコトナキヤ

第三 集合仕拂命令ノ金額ハ該命令ニ添付シタル各債主ノ金額氏名表ノ金額ト違フコトナキヤ
金庫ハ集合仕拂命令及金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ニ對シ受
領ノ都度其領收證書ヲ仕拂命令官ニ送付スルモノトス

第十五條 金庫ハ前條第一項ノ調査ヲ爲シ該命令ヲ正當ト認ムルトキハ仕拂ノ準備ヲ爲スヘシ若シ不正當ト
認ムルトキ若クハ該命令ノ汚損シテ其要部ヲ認メ難キトキハ其事由ヲ具シ直ニ之ヲ當該仕拂命令官ニ返付
スヘシ

第十六條 金庫ハ前條ニ據リ案内仕拂命令、集合仕拂命令若クハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ
裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ヲ返付セシニモ拘ハラズ尙ホ仕拂命令官ヨリ仕拂執行ノ要求アルトキハ事
由ヲ具シ大藏大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第十七條 各廳仕拂命令官ノ仕拂命令ヲ持參シ現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ金庫ハ其案内仕拂命令
ニ對查シ其金額ヲ交付スヘシ但現金交付ノ際仕拂命令及案内仕拂命令ノ表面ニ年月日現金交付濟ノ旨ヲ記
入シ置クヘシ

仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ對スル仕拂命令官ノ通知書ヲ持參シテ現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ
金庫ハ仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ添付シタル金額氏名表ニ對查シ該通知書ニ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入
署名捺印セシメタル領收證書ト引換ニ現金ヲ交付スヘシ但シ現金交付濟ノ際仕拂命令又ハ金額氏名表ニ年
月日現金交付濟ノ旨ヲ記入シ置クヘシ

第十八條 金庫ニ於テ其金庫所在地外ニアル債主ヨリ仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ對スル仕拂命令官ノ通知
書ニ據リ送金ノ請求ヲ受ケタルトキ及仕拂命令官ヨリ電信爲替ヲ以テ送金ノ請求ヲ受ケタルトキハ歳出ノ
送金トシテ現金ヲ拂出シ債主ニ送付シ債主ヨリ仕拂命令官ノ通知書ニ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入署名捺印
セシメタル領收證書(電信爲替ニ係ルモノハ債主適宜ノ領收證書)ヲ徴シタル上更ニ歳出金トシテ拂出ノ手
續ヲ爲スヘシ但受取人現金領收ノ後行衛不明等ニシテ領收證書ヲ徴シ能ハサルトキハ郵便局又ハ銀行等ノ

渡濟證明書又受取人ノ領收證書同送ノ途中ニテ紛失シタル場合ニハ受取人ノ受領濟證明書ヲ以テ本項領收
證書ニ代フルコトヲ得
前項ニ據リ送金ヲ爲シタルモ事故アリテ受取人ニ到達セズ還付シ來リタルトキハ金庫ニ於テ之ニ對スル現
金ノ仕拂ヲ取消スヘシ
金庫ニ於テ海外送金ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ニ依リ債主ヘ送金セントスルトキハ前項ノ
手續ニ依リ現金ヲ拂出シ送金ヲ爲シ追テ債主ヨリ適宜ノ領收證書ヲ徴シタル上更ニ歳出金トシテ拂出ノ手
續ヲ爲スヘシ

第十九條 金庫ニ於テ金庫振換拂(仕拂命令ヲ當テタル金庫外ノ金庫ニテ振換拂ヲ爲スモノヲ云フ以下同シ)ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令若クハ集合仕拂
命令ヲ受ケタルトキハ其指定シタル振換拂金庫ニ通知シテ債主ニ仕拂ノ準備ヲ爲サシムヘシ其電信振換拂
ノ請求アルモノハ電信ヲ以テ通知スヘシ

振換拂金庫ニ於テ前項振換拂ヲ要スル通知ヲ受ケタル後仕拂命令官ノ通知書ヲ持參シテ現金ノ仕拂ヲ請求
スルモノアルトキハ第十七條第二項ノ手續ニ準シ領收證書ト引換ニ振換拂トシテ現金ヲ拂出シ債主ニ交付
シ領收證書ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫ヘ送付スヘシ其電信振換拂ニ係ルモノハ適宜ノ領收證書ヲ徴シテ現
金ヲ交付スヘシ

振換拂金庫ニ於テ債主ヨリ仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ對スル仕拂命令官ノ通知書ニ據リ送金ノ請求ヲ受
ケタルトキ及仕拂命令ヲ當テタル金庫ヨリ電信送金ノ通知ヲ受ケタルトキハ振換拂トシテ現金ヲ拂出シ債
主ヘ送金シ債主ヨリ第十八條第一項ノ區別ニ依リ領收證書ヲ徴シ之ヲ仕拂命令ヲ當テタル金庫ヘ送付スヘ
シ

仕拂命令ヲ當テタル金庫ニ於テ振換拂金庫ヨリ前第二項及第三項ノ領收證書ヲ得タルトキハ歳出金ヲ拂出
シ振換受ノ計算ヲ爲スヘシ

第二十條 金庫ハ仕拂命令官ヨリ定額戻入ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ受領シ置キ追テ返納人ヨリ返納告

第六輯 會計 第七章 金庫

四九一

知書ヲ添へ現金ノ納付アリタルトキ之ニ對查シテ現金ヲ領收シ該返納告知書ニ接續セル領收證書及仕拂命令官へノ通知書へ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ金庫並ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ返納人へ交付シ其通知書ハ當該仕拂命令官へ送付シ返納告知書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第二十一條 金庫ハ毎月受領セル案内仕拂命令ノ内其月二十八日(二月、十二月)迄ニ仕拂命令交付ニ至ラズシテ仕拂命令官ヨリ返付ノ請求アリタルモノハ直ニ之ヲ返付スヘシ(仕拂命令官ニ於テ毎月案内仕拂命令金庫へ送付セシ高トサリシモノアルトキハ該案内仕拂命令金庫ヨリ返付セシムルモノナルニ由ル)

第二十二條 金庫ハ毎年度ノ案内仕拂命令、集合仕拂命令若クハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令、集合仕拂命令ニシテ翌年度六月三十日迄ニ歳出金トシテ拂出ノ計算ヲ爲シ得サルモノハ當該年度ノ仕拂未濟金トシテ年度經過後五箇年間繰越整理スヘシ

第二十三條 金庫ハ現金交付濟ノ仕拂命令、集合仕拂命令ノ内現金交付濟ニ係ル受取人ノ領收證書及金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ニ對スル受取人ノ領收證書並ニ返納告知書(定額ニ戻入セ)其他ノ證書類ヲ各年度主管廳及仕拂命令官毎ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ仕拂額及戻入額ニ對查シ共ニ保存スヘシ但支金庫ニ於テ調製セシモノハ其證書ト共ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ニ送付スヘシ

仕拂命令ヲ各年度、主管廳及仕拂命令官毎ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ之カ金額及ヒ定額戻入高ヲ帳簿上ノ仕拂命令受領濟額及戻入額ニ對查シ共ニ保存スヘシ

第四章 雜 部

第二十四條 各廳出納官吏ノ職務上取扱フ所ノ現金ニシテ出納官吏現金取扱規則又ハ大藏大臣特別ノ命令ニ

據リ金庫ニ於テ保管預リヲ爲スモノヲ雜部トス

第二十五條 各廳出納官吏ヨリ雜部保管金拂込書ヲ添へ現金ノ拂込アリタルトキハ金庫ハ其現金ヲ領收シ第三號書式ノ保管證書ヲ調製シ之ヲ該官吏へ交付スヘシ

第二十六條 各廳出納官吏ヨリ案内引出切符ヲ受ケタルトキ金庫ハ該官吏ノ預ケ金額ニ照查スヘシ左ノ場合ニ於テハ事由ヲ各廳出納官吏ニ告ケ其案内引出切符ヲ返付スヘシ

第一 案内引出切符ノ式ニ違フトキ

第二 案内引出切符ノ汚損シテ其要部ヲ明ニ認め難キトキ

第三 案内引出切符ノ金額該官吏ノ預ケ金額ニ超過スルトキ

第二十七條 各廳出納官吏ヨリ發行セシ雜部引出切符ヲ持參シ現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ金庫ハ其案内引出切符ニ對查シ其金額ヲ交付スヘシ但シ現金交付ノ際引出切符及案内引出切符ノ表面ニ年月日現金交付濟ノ旨ヲ記入シ置クヘシ

出納官吏現金取扱規則第四條ニ據リ資格氏名ノ通知ナキ官吏ヨリ預ケ金引戻ノ請求アルトキハ金庫ハ其所屬長官ノ證明書及適宜ノ領收證書ヲ徴シ之ト引換ニ現金ヲ拂戻スヘシ

第二十八條 案内引出切符ノ未タ到着セサルトキ若クハ引出切符ノ該案内引出切符ト符合セサルトキ若クハ引出切符ノ汚損シテ案内引出切符ト照合シ難キトキハ其事由ヲ引出切符持參人ニ告ケ金庫ハ其仕拂ヲ拒ムヘシ

第二十九條 金庫ニ於テ受領セル案内引出切符ニシテ其發行日ヨリ七日ヲ過キ現金仕拂ノ請求ナキモノハ直ニ之ヲ出納官吏ニ返付スヘシ

第三十條 金庫ハ雜部保管金拂込書、現金交付濟ノ引出切符其他ノ證書類ヲ各廳出納官吏毎ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ收支額ニ對查シ共ニ保存スヘシ但シ支金庫ニ於テ調製セシモノハ其證書ト共ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ送付

第五章 現金運轉

- 第三十一條 金庫ニ於テ領收シタル現金ハ其金庫ノ仕拂基金ニ充ツヘシ
- 第三十二條 金庫出納役ハ各金庫ニ於テ仕拂フヘキ豫算額(於テ仕拂フヘキ金額ヲ合算スルモノトス)ニ基キ金庫相互間ニ現金ノ運轉配賦ヲ爲シ常ニ仕拂ニ差支ナカラシムヘシ
- 第三十三條 金庫出納役ハ毎日第四號書式ノ國庫金配賦表ヲ調製スヘシ
- 第三十四條 金庫出納役ハ毎月十日、二十日、末日ニ於ケル前條國庫金配賦表ヲ其翌日大藏省ヘ差出スヘシ
- 第三十五條 金庫ニ於テ取扱フヘキ陸軍歸休兵豫備役後備軍艦員兵員臨時召集旅費仕拂及爲替納金取扱等ニ係ル順序ハ別ニ定ムル所ニ據ル

金庫相互間現金運轉配賦ニ係ル諸帳簿及取扱順序ハ金庫出納役之ヲ定メ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六章 帳簿

第一款 中央金庫

- 第三十六條 中央金庫ハ現金ノ出納及歳出ノ仕拂ヲ調理スル爲メ左ノ帳簿ヲ備フヘシ
 - 第一 現金出納日記簿
 - 第二 現金出納原簿
 - 第三 各地本金庫現金出納内譯簿
 - 第四 各地本金庫收支金報告額整理簿
 - 第五 歳入金各廳内譯簿
 - 第六 歳出金各廳内譯簿
 - 第七 歳出仕拂未済繰越金各廳内譯簿
 - 第八 雜部金内譯簿

第九 現金種類別簿

第十 支出簿

- 第三十七條 現金出納日記簿ハ計算報告若クハ各證憑書ニ據リ原簿計算科目毎ニ複記式ヲ以テ其收支額ヲ登記スヘシ(二十六年大藏省令第三十二號ノ第十四號乙ノ一書式ニ據ル)
- 中央金庫ニ屬スル支金庫ノ收支ハ其報告表ノ中央金庫ヘ到着シタル日ニ於テ之ヲ登記スヘシ但支金庫ニ於テ甲月中ニ收支シタル分ヲ乙月ニ至リ登記スル場合ニハ支金庫實際收支ノ年月ヲ附記スヘシ
- 第三十八條 現金出納原簿ハ現金出納日記簿ヨリ轉記スヘシ(二十六年大藏省令第三十二號ノ第十四號丙書式ニ據ル)
- 原簿計算科目ハ別ニ之ヲ定ム
- 第三十九條 各地本金庫現金出納内譯簿ハ各本金庫ヲ區分シ各本金庫ヨリ送付スル收支金報告表ニ據リ其收支額ヲ登記スヘシ其書式第七號ノ如シ
- 第四十條 各地本金庫收支金報告額整理簿ハ各年度歳入歳出歳出仕拂未済繰越金及雜部毎ニ之ヲ設ケ各本金庫ヲ區分シ各本金庫ヨリ送付スル收支金報告表ニ據リ其收支額ヲ登記シ置キ追テ毎月出納計算書ヲ受ケタルトキ之ヲ整理スヘシ其書式第八號ノ如シ
- 第四十一條 歳入金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之ヲ設ケ各主管廳及取扱廳毎ニ歳入徴收官ヲ區分シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書、中央金庫ニ屬スル支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル歳入金各廳内譯表ニ據リ其收入額ヲ登記スヘシ其書式第九號ノ如シ
- 第四十二條 歳出金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之ヲ設ケ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ヲ區分シ尙ホ各主管廳及仕拂命令官毎ニ細別シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書、支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル歳出金各廳内譯表ニ據リ現金仕拂額ヲ登記スヘシ其書式第十號ノ如シ
- 第二十條ニ據リ定額戻入アルトキハ中央金庫ニ係ルモノハ返納告知書、支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル歳出金各廳内譯表ニ據リ其金額ヲ朱書シテ現金仕拂額ヲ控除スヘシ

第四十三條 歲出仕拂未濟繰越金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ヲ區分シ尙ホ各主管廳及仕拂命令官毎ニ細別シ第二十二條ニ據リ繰越額ヲ登記シ置キ追テ現金仕拂タルトキ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書、支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル歲出仕拂未濟繰越金支出各廳内譯表ニ據リ現金仕拂額ヲ登記スヘシ其書式第十一號ノ如シ

第四十四條 雜部金内譯簿ハ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ヲ區分シ尙ホ各廳出納官吏毎ニ細別シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書、支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル雜部金收支内譯表ニ據リ其收支額ヲ登記スヘシ其書式第十二號ノ如シ

第四十五條 現金種類別簿ハ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ヲ區分シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書、支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ送付スル諸報告表ニ據リ其收支額ヲ集計登記スヘシ其書式第十三號ノ如シ

第四十六條 支出簿ハ各年度經常部臨時部毎ニ之ヲ設ケ各主管廳及仕拂命令官毎ニ各款項ヲ區分シ大藏大臣ヨリ仕拂豫算若クハ其更定計算書又ハ年度開始前支出ノ令達ヲ受ケタルトキ其金額ヲ登記シ置キ仕拂命令官ヨリ案内仕拂命令、集合同仕拂命令若クハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合同仕拂命令ヲ受領セル都度仕拂命令受領濟額ヲ登記スヘシ(二十六年度大藏省令第三十二號ノ第十三號書式ニ據ル)

第二十條ニ據リ定額戻入アルトキハ返納告知書ニ據リ其金額ヲ朱書シテ仕拂命令受領濟額ヲ控除スヘシ

第四十七條 現金出納日記簿、現金出納原簿、各地本金庫現金出納内譯簿、歲出仕拂未濟繰越金各廳内譯簿、雜部金内譯簿、現金種類別簿ハ各會計年度毎ニ之ヲ改置シ歲入金各廳内譯簿、歲出金各廳内譯簿、各地本金庫收支金報告額整理簿、支出簿ハ一會計年度ノ出納完結ニ至ル迄貫通シテ登記スヘシ

第二款 本金庫

第四十八條 本金庫ハ現金ノ出納及歲出ノ仕拂ヲ調理スル爲メ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

第一 現金出納日記簿

第二 現金出納原簿

第三 歲入金各廳内譯簿

第四 歲出金各廳内譯簿

第五 歲出仕拂未濟繰越金各廳内譯簿

第六 雜部金内譯簿

第七 現金種類別簿

第八 支出簿

第四十九條 前條ニ掲クル諸帳簿ノ設置登記ニ關スル手續等ハ中央金庫ノ例ニ同シ

第三款 支金庫

第五十條 支金庫ハ現金ノ出納及歲出ノ仕拂ヲ調理スル爲メ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

第一 現金受拂簿

第二 現金受拂總括簿

第三 歲入金各廳内譯簿

第四 歲出金各廳内譯簿

現金出納日記簿ノ格式ハ二十六年度大藏省令第三十二號ノ第十四號乙ノ二書式ニ據ル

第五十一條 前條ニ掲クル諸帳簿ノ設置登記ニ關スル手續等ハ現金受拂簿及現金受拂總括簿ヲ除クノ外中央金庫ノ例ニ準ス

第五十二條ノ一 現金受拂簿ハ各年度毎ニ之ヲ設ケ各證憑書ニ據リ其金額事由ヲ登記スヘシ其書式第十四號ノ如シ

第五十二條ノ二 現金受拂總括簿ハ各年度毎ニ之ヲ設ケ各科目毎ニ區分シ毎日現金受拂簿ヨリ轉記スヘシ其

書式第十五號ノ如シ

第七章 計算報告

第一款 中央金庫

第五十三條 中央金庫ハ第三十六條ノ諸帳簿ニ據リ左ノ計算報告表ヲ調製スヘシ

第一 (削除)

第二 歳入金月計對照表

第三 歳出金月計對照表

第四 歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表

第五 雜部金月計對照表

第六 收支金報告表

第七 現金出納原簿計算表

第八 仕拂命令受領濟額報告書

第五十四條 (削除)

第五十五條 歳入金月計對照表ハ歳入金各廳内譯簿ニ據リ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ領收セシ金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ(其月中ニ實際收入)翌月七日迄ニ歳入徵收官ヘ送付スヘシ其書式第十七號ノ如シ

第五十六條 歳出金月計對照表ハ歳出金各廳内譯簿ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ取扱ヒタル金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ現金仕拂濟ノ仕拂命令及受取人ノ領收證書ヲ添ヘ翌月五日迄ニ仕拂命令官ヘ送付スヘシ其書式第十八號ノ如シ

前項ノ月計對照表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ添付シタル證書ト共ニ還付ヲ請フヘシ

第五十七條 歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表ハ歳出仕拂未済繰越金各廳内譯簿ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ支出セシ金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ(其月中ニ實際支出)現金仕拂濟ノ仕拂命令及受取人ノ領收證書又ハ大

藏大臣令達書ヲ添ヘ翌月五日迄ニ仕拂命令官ヘ送付スヘシ其書式第十九號ノ如シ

前項ノ月計對照表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ添付シタル證書ト共ニ還付ヲ請フヘシ

第五十八條 雜部金月計對照表ハ雜部金内譯簿ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ收支セシ金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ現金仕拂濟ノ引出切符ヲ添ヘ翌月五日迄ニ各廳出納官吏ヘ送付スヘシ其書式第二十號ノ如シ

前項ノ月計對照表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ仕拂濟引出切符ト共ニ還付ヲ請フヘシ

第五十九條 收支金報告表ハ現金出納原簿及各地本金庫現金出納内譯簿ニ據リ毎日之ヲ調製シ大藏省ヘ差出スヘシ其書式第二十一號ノ如シ

第六十條 現金出納原簿計算表ハ現金出納原簿ニ據リ毎日之ヲ調製シ大藏省ヘ差出スヘシ其書式第二十二號ノ如シ

第六十一條 仕拂命令受領濟額報告書ハ支出簿ニ據リ中央金庫ニ於テ直接ニ受領セシ金額ヲ掲ケ毎月之ヲ調製シ(帳簿登記ノ日付ニ拘ハラズ仕拂命令受領濟額ハ仕拂命令ニ記載シタル金額ヘ送付ノ月ノ屬スル金額ヲ掲ケ)翌月五日迄ニ仕拂命令官ヘ送付スヘシ(二十六年大藏省令第三十二號ノ第七號書式ニ據ル)

前項ノ報告書ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ然ル上金庫出納役式ノ如ク署名捺印シ支金庫ヨリ送付シタル仕拂命令受領濟額報告書ヲ添ヘ翌月十五日迄ニ毎月出納計算書ト共ニ大藏省ヘ差出スヘシ

各本金庫ノ仕拂命令受領濟額報告書ハ各本金庫ヨリ中央金庫ヘ受領シタルトキ各本金庫毎月出納計算書ト共ニ大藏省ヘ差出スヘシ

本支金庫ノ仕拂命令受領濟額報告書ニハ金庫出納役式ノ如ク署名捺印スヘシ

第六十二條 (削除)

第二款 本金庫

第六十三條 本金庫ニ於テハ第四十八條ノ諸帳簿ニ據リ左ノ計算報告書ヲ調製スヘシ

第一 (削除)

第二 歳入金月計對照表

第六輯 會計 第七章 金庫

四九九

四九八

第三 歳出金月計對照表

第四 歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表

第五 雜部金月計對照表

第六 收支金報告表

第七 現金出納原簿計算表

第八 仕拂命令受領濟額報告書

第六十四條 本金庫ニ於テ前條ニ掲クル諸計算報告表ヲ調製スル手續等ハ收支金報告表ヲ除クノ外中央金庫ノ例ニ同シ但現金出納原簿計算表ハ第二十三號書式ニ據リ調製シ本金庫ニ備ヘ置キ仕拂命令受領濟額報告書ハ支金庫ヨリ送付シタル仕拂命令受領濟額報告書ヲ添ヘ翌月十五日迄ニ毎月出納計算書ト共ニ中央金庫ヘ送付スルモノトス

第六十五條 收支金報告表ハ現金出納原簿ニ據リ毎五ノ日(月末大ノ月ハ三十一日、二月ハ二十八日若クハ二十九日)之ヲ調製シ中央金庫ヘ差出スヘシ其書式第二十四號ノ如シ

第六十六條 (削除)

第二款 支金庫

第六十七條 支金庫ニ於テハ第五十條ノ帳簿ニ據リ左ノ計算報告表ヲ調製スヘシ

第一 歳出金月計對照表

第二 歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表

第三 雜部金月計對照表

第四 現金受拂總括簿計算表

第五 歳入金各廳内譯表

第六 歳出金各廳内譯表

第七 歳出未拂未済繰越金支出各廳内譯表

第八 雜部金收支内譯表

第九 仕拂命令受領濟額報告書

第六十八條 支金庫ニ於テ歳出金月計對照表、歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表、雜部金月計對照表及仕拂命令受領濟額報告書ヲ調製スル手續等ハ中央金庫ノ例ニ同シ但各廳證明濟月計對照表及仕拂命令受領濟額報告書ハ翌月十日迄ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ

現金受拂總括簿計算表ハ第二十五號書式ニ據リ毎日之ヲ調製シ支金庫ニ備ヘ置クヘシ

第六十九條 (削除)

第七十條 支金庫ハ歳入金各廳内譯簿ニ據リ毎日歳入金各廳内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ其書式第二十六號ノ如シ

第七十一條 支金庫ハ歳出金各廳内譯簿ニ據リ毎日歳出金各廳内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ其書式第二十七號ノ如シ

第七十二條 支金庫ハ歳出仕拂未済繰越金各廳内譯簿ニ據リ毎日歳出仕拂未済繰越金支出各廳内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ其書式第二十八號ノ如シ

第七十三條 支金庫ハ雜部金内譯簿ニ據リ毎日雜部金收支内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ヘ送付スヘシ其書式第二十九號ノ如シ

第八章 決算整理

第一款 中央金庫

第七十四條 中央金庫ハ現金ノ出納及歳出ノ仕拂ヲ證明スル爲メ左ノ計算書ヲ調製スヘシ

第一 毎年度出納計算書

第二 各金庫毎月出納内譯書 (明治二十七年會計検査院達第十九號ニ據リ調製)

第三 各金庫毎月出納計算書(大藏省へ提出)

第七十五條 毎年度出納計算書ハ現金出納原簿、各地本金庫現金出納内譯簿、現金種類別簿ニ據リ調製シ各證憑書類ヲ添へ會計検査院へ提出ノ爲メ翌年度六月三十日迄ニ大藏省へ發送スヘシ

前項出納計算書ニハ各金庫検査員ノ檢定書ヲ取纏メ添付スヘシ

金庫出納役各年度ノ出納計算書ニハ各金庫ニ於テ其年ノ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ニ實際出納セシ金額ヲ掲クヘシ (警ハ中央金庫ニ於テ現金出納原簿へ登記セシハ翌年四月一日以降ト雖モ實際各地本金庫ニ於テ三月三十一日以前ニ出納セシモノハ即チ其出納セシ年度ノ計算ニ組ミ入ルカカシ)

第七十六條 各金庫毎月出納内譯書ハ中央金庫及各本金庫毎ニ區分調製スヘシ

中央金庫毎月出納内譯書ハ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ出納セシモノヲ現金出納原簿、歳入金各廳内譯簿(帳簿登記ノ日付ニ拘ハラズ實際該月中ニ中央金庫ニ於テ收入セシモノヲ掲ク) 支出簿、歳出金各廳内譯簿(帳簿登記ノ日付ニ拘ハラズ及之ニ屬スル支金庫ニ於テ支出セシモノヲ掲ク) 歳出仕拂未済繰越金各廳内譯簿、雜部金内譯簿(歳入實際該月中ニ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ支出セシモノヲ掲ク) 歳出仕拂未済繰越金各廳内譯簿、雜部金内譯簿(歳入出金各廳内譯簿)等ニ據リ之ヲ調製シ各廳證明濟ノ月計對照表、大藏大臣令達書ノ謄本ヲ添へ會計検査院へ提出ノ爲メ翌月十五日迄ニ大藏省へ發送スヘシ

毎年六月ノ出納内譯書ニハ前年度所屬歳入歳出出納明細書ヲ添付スヘシ

各本金庫毎月出納内譯書ハ各本金庫ヨリ中央金庫へ受領シタルトキ中央金庫ノ各帳簿ニ對照シ金庫出納役之ニ署名捺印シ各廳證明濟ノ月計對照表、大藏大臣令達書ノ謄本ト共ニ會計検査院へ提出ノ爲メ大藏省へ發送スヘシ

第七十七條 各金庫毎月出納計算書ハ中央金庫及各本金庫毎ニ區分調製スヘシ

中央金庫毎月出納計算書ハ第七十六條第二項ノ例ニ依リ之ヲ調製シ翌月十五日迄ニ大藏省へ發送スヘシ其書式ハ別ニ之ヲ定ム

各本金庫毎月出納計算書ハ各本金庫ヨリ中央金庫へ受領シタルトキ中央金庫ノ各帳簿ニ對照シ金庫出納役之ニ署名捺印シ直ニ大藏省へ發送スヘシ

第二款 本金庫

第七十八條 各本金庫ハ現金ノ出納及歳出ノ仕拂證明ノ用ニ供スル爲メ左ノ計算書ヲ調製スヘシ

第一 本金庫毎月出納内譯書(明治二十七年會計検査院達第十九號ニ據リ調製)

第二 本金庫毎月出納計算書(大藏省へ提出)

第七十九條 本金庫毎月出納内譯書ハ第七十六條第二項ノ例ニ依リ之ヲ調製シ各廳證明濟ノ月計對照表、大藏大臣令達書ノ謄本ヲ添へ翌月十五日迄ニ中央金庫へ發送スヘシ

毎年三月ノ出納内譯書ニハ各本金庫及之ニ屬スル支金庫検査員ノ檢定書ヲ取纏メ添付スヘシ

第八十條 本金庫毎月出納計算書ハ第七十六條第二項ノ例ニ依リ之ヲ調製シ翌月十五日迄ニ中央金庫へ發送スヘシ

附則

第八十一條 本規程ハ明治二十七年一月二日ヨリ施行ス

明治二十三年當省訓令第十五號金庫相互間回送金振換金取扱順序同年當省訓令第二百二十七號大阪本金庫各本金庫間振換金取扱順序及本規程ニ抵觸スル訓令ハ本規程施行ノ日ヨリ總テ廢止ス

第八十二條 本規程施行ノ際現存ノ用紙帳簿ニシテ尙ホ使用シ得ヘキモノハ之ヲ取繕ヒ當分使用スルモ妨ケナシ(書式略ス)

●出納官吏金庫ヨリ雜部金月計對照表等ノ送付ヲ受ケタルトキ

取扱方 三十三年四月
大訓三十一號

出納官吏

明治二十二年當省訓令第七十四號ヲ左ノ通改正ス
明治二十六年大藏省訓令第三十九號金庫出納事務規程ニ依リ金庫ヨリ雜部金月計對照表ニ證書ヲ添ヘ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ相違アルトキハ直ニ其事由ヲ付シテ返付シ相違ナキトキハ式ノ如ク證明シ三日以内ニ金庫ヘ返付スヘシ

●韓國森林特別會計金庫出納事務規程 四十年三月
大訓第十六號

金庫出納役

韓國森林特別會計金庫出納事務規程ヲ左ノ通相定ム

韓國森林特別會計金庫出納事務規程

- 第一條 韓國森林特別會計ノ歲入歲出金ノ出納ハ本規程ニ規定セサル事項ニ關シテハ作業及鐵道會計金庫出納事務規程ノ各條項ヲ準用ス
- 第二條 金庫ニ於テ收納セル韓國森林特別會計ノ收益勘定歲入金ハ之ヲ其ノ仕拂元金ニ組換ヲ爲スヘシ
- 第三條 韓國森林特別會計規則第三條第一項ニ據ル操換金ハ國庫内移換ノ手續ヲ以テ韓國森林特別會計收益勘定ノ歲出仕拂元金ニ振換受入ヲ爲スヘシ
- 第四條 金庫ニ於ケル諸帳簿及諸計算報告書表等ハ韓國森林資本勘定、韓國森林收益勘定ノ文字ヲ冠シテ各別ニ區分調製シ又現金出納原簿等ハ左ノ科目ヲ設ケ整理スヘシ

一 某年度韓國森林資本勘定歲入

二 某年度韓國森林資本勘定歲出

三 某年度韓國森林收益勘定歲入

四 某年度韓國森林收益勘定歲出仕拂元金

第五條 前條ノ韓國森林資本勘定歲入歲出ニ係ル補助簿及計算表ノ様式ハ金庫出納事務規程中歲入歲出ノ例ヲ準用ス

第六條 本令ハ明治四十年度ヨリ施行ス

●裁判所ヨリ金庫ニ寄託スル假納金及民事豫納金取扱方 三十一年二月
大訓第六號

金庫出納役

各裁判所ヨリ寄託スヘキ假納金及ヒ民事豫納金ハ明治二十六年大藏省令第二十號保管物取扱規程第六條第七條ニ據リ取扱フヘシ

明治二十三年大藏省訓令第九十五號ヲ廢ス

●預金保管物及供託物金庫出納事務規程 二十六年九月
大訓第三十二號

改正	二七年	二七年	二八年	二八年	三二年	三二年	三三年	三三年
	大訓第八號	二二號	三三號	一三號	一二號	五二號	三六號	四二號
	三五年	三五年	三五年	二七號				
	四號	二一號	二七號					

金庫出納役

預金保管物及供託物金庫出納事務規程左ノ通相定メ本年十一月一日ヨリ施行ス
但明治二十三年當省第八百七十號達同年當省訓令第四十四號同年當省訓令第五十八號及同年當省訓令第五百五十五號ハ本訓令施行ノ日ヨリ廢止ス
預金保管物及供託物金庫出納事務規程

第一條 金庫ハ此規程ニ依リ預金、保管物、供託物ノ計算整理ヲ爲スヘシ

第二條 金庫ハ預金、保管物、供託物ノ受渡ヲ爲シタルトキ總テ其證憑書類ニ受入若クハ拂出ノ年月日及取扱金庫名ヲ記入シ置クヘシ

第三條 金庫ハ預金受拂内譯簿ニ依リ毎年四月ニ於テ前年四月一日ヨリ其年三月三十一日ニ至ル一箇年間ニ元加ヘニ爲スヘキ各自ノ預金利子額及毎月前月中悉皆拂ニ對シ證明シタル各自ノ預金利子額ヲ大藏省ヘ報告(第一號書式)スヘシ

又保管金受拂内譯簿ニ依リ毎月前月中證明シタル各自ノ保管金及供託金ノ利子額ヲ大藏省ヘ報告(第一號書式)スヘシ

第四條 中央金庫ハ郵便貯金ニ係ル利子ハ遞信省ノ請求ヲ受ケタルトキ之レカ金額等ヲ大藏省ヘ報告シ同省ノ承認ヲ受ケタル上元加ヘヲ爲シ又ハ記入證明ノ取扱ヲ爲スヘシ

金庫ハ官立學校及圖書館資金ニ係ル利子ハ第三條元加ヘ利子ノ例ニ準シ大藏省ヘ報告シ然ル上同省ノ通知ニ據リ元加ヘノ取扱ヲ爲スヘシ

金庫ハ元加ヘニ爲スヘキ預金ノ利子額ヲ領收シタルト同時ニ交付ヲ爲シタル日本銀行又ハ其支店代理店ヨリ其金額ノ證明ヲ受ケテ之ヲ受入ノ證憑(第二號書式)ニ供スヘシ

中央金庫ハ預金取扱規程第二十條ニ依リ公債證書ノ利子ヲ受入レタルトキハ中央金庫直接ノ取扱ニ係ルモノハ各預ケ人ノ預金ニ元加ノ記入ヲ爲シ其旨預ケ人ヘ通知スヘシ又各地金庫ノ取扱ニ係ルモノハ該利子金ヲ各地金庫ヘ送付シ各自預金ニ元加ノ記帳ヲ爲サシメ其旨取扱金庫ヲ經テ預ケ人ヘ通知スヘシ

取扱金庫ハ前項ノ通知書ヲ得タルトキハ各預ケ人ノ預金ニ元加ノ記入ヲ爲シ通知書ハ預ケ人ヘ轉送スヘシ

第五條 金庫ハ預金取扱規程第十五條及第二十一條ニ依リ預ケ人ヨリ預金通帳ヲ差出シ利子記入ノ請求ヲ受ケタルトキハ預金受拂内譯簿ニ依リ其通帳ニ式ノ如ク記入調印シ之ヲ預ケ人ヘ返付スヘシ

第六條 金庫ハ毎年三月三十一日ニ於ケル各預ケ人ノ預金二千圓ヲ超過スルモノノ金額ヲ各預ケ人ニ區分シ翌月中之ヲ大藏省ヘ報告(第三號書式)スヘシ

第七條 金庫ハ預金ヲ以テ公債證書購入ノ請求ヲ受ケタルモノニシテ其ノ購入以前ニ現金拂戻ノ請求ヲ受ケルモ購入スヘキ金額ヲ引去リ其ノ殘額拂戻請求額ヨリ不足スルトキハ其ノ不足額ハ仕拂ヲ拒絕スヘシ

第八條 金庫ハ預金取扱規程第五條第六條ノ公債證書購入濟ノ通知書及同規程第七條ノ保管證書ヲ受ケタルトキハ預金受拂内譯簿ニ請求者ノ預金額拂出ノ記帳ヲ爲シ保管證書ハ金庫ニ止メ置キ該通知書ハ預ケ人ヘ轉送スヘシ

第九條 金庫ハ預金取扱規程第八條ニ依リ預ケ人ヨリ預金通帳ヲ差出シ保管證書交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ該通帳ニ式ノ如ク記入調印シ保管證書ト共ニ之ヲ預ケ人ヘ交付スヘシ

第十條 預金取扱規程第二十三條ニ依リ預ケ人ヨリ甲金庫ノ交付シタル預金通帳及印鑑ヲ添ヘ預金取扱金庫換ノ申込書ヲ乙金庫ニ受ケタルトキハ乙金庫ハ預金受拂内譯簿ニ該預金引繼受ノ記帳ヲ爲シ該通帳ノ番記號ヲ書換調印シ之ヲ其預ケ人ヘ返付シ其旨直ニ甲金庫ヘ通知(第四號書式)スヘシ

甲金庫ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ預金受拂内譯簿ニ該預金引繼拂出ノ記帳ヲ爲シ其旨乙金庫ヘ通知スヘシ

乙金庫ハ甲金庫ヨリ前項ノ通知ヲ得サル前ニ預金拂戻ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ若シ該通知書ニ照合セサレハ事實明瞭ナリカトシト思惟スルトキハ該通知書ノ到達スルマテ仕拂ヲ猶豫シ置クヘシ

第十一條 金庫ハ保管物取扱規程第十四條ニ依リ收入官吏ヨリ保管證書ヲ以テ歳入トシテ納付ヲ受ケタルトキハ保管金受拂内譯簿ニ該保管金拂出ノ記帳ヲ爲シ更ニ歳入ヘ受入ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條 金庫ハ保管證書ヲ發セサル保管金ノ期滿失效ニ至リタルモノナルトキハ一箇年度分ヲ取纏メ翌年度四月ニ於テ之ヲ調書(第五號書式)ヲ調製シ翌月中大藏省ヘ報告スヘシ

金庫ハ保管物取扱規程第十四條大藏大臣ノ令達ヲ受ケタルトキハ保管金受拂内譯簿ニ該保管金拂出ノ記帳ヲ爲シ

爲シ更ニ歳入へ編入ノ手續ヲ爲スヘシ

金庫ハ前項歳入へ編入ノ手續ヲ了シタルトキハ其旨ヲ寄託官廳ニ通知スヘシ

第十三條 金庫ハ保管物取扱規程第十六條ノ手續ヲ爲シタルトキハ^{保管金}受拂内譯簿又ハ有價證券受拂内譯簿ニ朱書ヲ以テ舊保管證書ノ座ヲ拂ニ立テ更ニ新保管證書ニ依リ受入ノ記帳ヲ爲シ舊保管證書及其原符ニハ引換濟ノ年月日及新保管證書ノ番記號ヲ記入シ置クヘシ

第十四條 金庫ハ保管物取扱規程第二十條ニ依リ證明書ノ請求又ハ保管證書領收證書交換ノ請求ヲ受ケタルトキハ之カ事由書ヲ徴シ其確實ナルヲ認メ證明書又ハ保管證書等交付ノ手續ヲ爲シ^{保管金}受拂内譯簿又ハ有價證券受拂内譯簿ニ其旨記入スヘシ但舊保管證書又ハ領收證書原符ニハ汚染若クハ毀損ニ付何年何月何日交換セシ旨及新證書ノ番記號ヲ記入シ置クヘシ

第十五條 金庫ハ供託物取扱規程第五條ノ送金手形若クハ爲替券ニ對スル現金ヲ領收シ能ハサルトキハ供託書ト共ニ之ヲ供託者へ返付スヘシ

第十六條 金庫ハ供託物取扱規程第七條ノ手續ヲ爲シタルトキハ之カ取扱ハ第十三條ノ例ニ準スヘシ

第十七條 中央金庫及本金庫ハ收入濟ニ係ル預金拂込書、預金利息元加受入額證明書、各自預金購入保管公債證書ノ利息元加通知書、預金取扱金庫換シ申込書、保管金又ハ有價證券ノ寄託通知書若クハ送付書、供託書及其他ノ證書ハ預金^{保管物}ノ二種ニ區分シ一箇月毎ニ之ヲ編輯シ合計書ヲ添ヘ其帳簿ニ照査シ之ヲ保存スヘシ但中央金庫所屬支金庫ノ證憑書類ハ中央金庫ニ本金庫所屬支金庫ノ證憑書類ハ本金庫ニ取纏メ保存スヘシ

前項ノ證憑書類ニ關係アル緊要ノ書ハ本書ト共ニ保存スヘシ

第十八條 中央金庫及本金庫ハ仕拂濟ニ係ル預金拂戻領收證書、各自預金購入保管公債證書保管證書ノ領收證書、預金取扱金庫換シ通知書、保管證書、保管金又ハ有價證券拂渡證書、受領ノ證アル供託書、供託物領收證書、供託物分割拂渡ノ領收證書、差押取立命令書及其他ノ證書ハ預金^{保管物}ノ二種ニ區分シ一箇月毎

ニ之ヲ編輯シ合計書ヲ添ヘ其帳簿ニ照査シ之ヲ保存スヘシ但中央金庫所屬支金庫ノ證憑書類ハ中央金庫ニ本金庫所屬支金庫ノ證憑書類ハ本金庫ニ取纏メ保存スヘシ

前項ノ證憑書類ニ關係アル緊要ノ書ハ本書ト共ニ保存スヘシ

第十九條 金庫ハ預金、保管金、供託金ノ出納ヲ爲スニ付此規程ニ記載ナキ計算整理及報告表提出期限等ノ條項ハ總テ一般ノ金庫出納事務規程ニ據リ取扱フヘシ

第二章 帳簿及計算報告

第一款 中央金庫

第二十條 中央金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル現金出納原簿へ左ノ科目ヲ設ケ各内譯簿ノ合計額ヲ毎日登記スヘシ

貸方科目

一 預金

二 ^{保管金(區分セズ一科目)} 供託金(ヲ以テ計算ス)

三 預金利息仕拂元積立金

四 預金年度利益金

五 各自預金購入保管公債證書利息

借方科目

六 預金運用

七 預金年度損失金

第二十一條 中央金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル現金出納原簿其他諸帳簿ノ外預金保管金、供託金ノ計算ヲ整理スル爲メ左ノ補助簿^(第六號式)ヲ備フヘシ

一 預金受拂内譯簿

- 二 保管金 受拂内譯簿
- 三 各自預金購入保管公債證書利子内譯簿
- 中央金庫ハ有價證券保管出納ノ計算ヲ整理スル爲メ左ノ帳簿(第七號式)ヲ備フヘシ
 - 一 有價證券受拂總括簿
 - 二 有價證券受拂内譯簿

本條ニ掲クル諸帳簿ハ年時ニ期限ヲ設ケス紙頁ノ盡ルマテ漸次記入ヲ爲スヘシ

第二十二條 預金受拂内譯簿(保管金受拂内譯簿)ハ中央金庫ニ於テ直接ニ受拂ヲ爲シタルモノハ一人別又ハ一證券毎ニ口座ヲ設ケ各證券書ニ依リ各本金庫及中央金庫所屬支金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ各金庫毎ニ口座ヲ設ケ其收支金報告表集計表ニ依リ其受拂額ヲ登記シ差引殘額ヲ掲クヘシ

第二十三條 各自預金購入保管公債證書利子内譯簿ハ中央金庫ニ於テ其保管公債證書ノ利子金ヲ受取リタルトキハ其受入高ヲ登記シ中央金庫ニ於テ直接ニ取扱ヲ爲シタルモノハ各自預金ニ元加ヲ爲シタルトキ直ニ其元加高ヲ登記シ其支金庫ニ於テ取扱ヲ爲シタルモノハ預金部受拂集計表ニ依リ之ヲ登記シ又各地本金庫ノ元加高ハ收支金報告表ニ依リ之ヲ登記スヘシ

第二十四條 有價證券受拂總括簿ハ其集計表及内譯簿ノ締高ヲ以テ左ノ科目毎ニ受拂額ヲ登記スヘシ

- 一 保管 諸公債證書
- 二 保管 諸株券
- 三 保管 諸證券
- 四 各自預金購入保管公債證書
- 五 預金運用購入諸公債證書
- 六 預金運用購入諸株券

第二十五條 有價證券受拂内譯簿ハ中央金庫ニ於テ直接ニ受拂ヲ爲シタルモノハ一人別又ハ一證券毎ニ口座

ヲ設ケ各證券書ニ依リ各本金庫及中央金庫所屬支金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ各金庫毎ニ口座ヲ設ケ其集計表ニ依リ各種類毎ノ受拂券面額及枚數ヲ登記シ差引シテ其殘額ヲ掲クヘシ

第二十六條 中央金庫ハ第二十一條ノ諸帳簿ニ依リ金庫出納事務規程第二十一號書式ノ收支金報告表(預金保管金、供託金等ノ受拂額ヲ掲載スヘシ)

又有價證券受拂總括簿ニ依リ毎日有價證券受拂集計表(第八號書式)ヲ調製シ大藏省(報告スヘシ)

第二十七條 (削除)

第二十八條 (削除)

第二十九條 (削除)

第三十條 中央金庫ハ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ取扱フタル第十七條第十八條ノ證券書類ニ依リ毎月左ノ證券書類證明書(第九號式)ヲ調製シ之ヲ各其帳簿ニ對照差違ナキヲ證明シ該證券書類ヲ添大藏大臣指定ノ官吏ニ提出シ檢閱濟ノ證明ヲ受ケ證券書ハ金庫ニ保存シ該證明書ハ中央金庫ノ毎月出納内譯書ニ添(會計検査院へ提出ノ爲メ大藏省へ差出スヘシ)

- 一 預金部受拂證券書類證明書
- 二 有價證券受拂證券書類證明書

第二款 本金庫

第三十一條 本金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル現金出納原簿へ左ノ科目ヲ設ケ各内譯簿ノ合計額ヲ毎日登記スヘシ

- 一 預金
- 二 保管金(區分セズ一科目)
供託金(ヲ以テ計算ス)
- 三 各自預金購入保管公債證書利子

第三十二條 本金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル現金出納原簿其他諸帳簿ノ外預金、保管金、供託金ノ計

算ヲ整理スル爲メ左ノ補助簿(第十號式)ヲ備フヘシ

- 一 預金受拂内譯簿
 - 二 保管金(供託金)受拂内譯簿
 - 三 各自預金購入保管公債證書利子内譯簿
- 本金庫ハ有價證券ノ保管出納ノ計算ヲ整理スル爲メ左ノ帳簿(第十一號式)ヲ備フヘシ
- 一 有價證券受拂總括簿
 - 二 有價證券受拂内譯簿

本條ニ掲クル諸帳簿ハ年時ニ期限ヲ設ケス紙頁ノ盡ルマテ漸次記入ヲ爲スヘシ

第三十三條 預金受拂内譯簿(保管金)受拂内譯簿ハ本金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ一人別又ハ一證書毎ニ口座ヲ設ケ各證書ニ依リ其所屬支金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ各支金庫毎ニ口座ヲ設ケ其集計表ニ依リ其所屬支金庫ニ於テ取扱ヲ爲シタルモノハ各自預金ニ元加ヲ爲シタルトキ直ニ其元加濟高ヲ登記シ其所屬支金庫ニ於テ取扱ヲ爲シタルモノハ預金部受拂集計表ニ依リ之ヲ登記スヘシ

第三十四條 各自預金購入保管公債證書利子内譯簿ハ中央金庫ヨリ預金購入保管公債證書利子金ノ送付ヲ受ケタルトキ其受入高ヲ登記シ本金庫ニ於テ取扱ヲナシタルモノハ各自預金ニ元加ヲ爲シタルトキ直ニ其元加濟高ヲ登記シ其所屬支金庫ニ於テ取扱ヲ爲シタルモノハ預金部受拂集計表ニ依リ之ヲ登記スヘシ

第三十四條ノ二 有價證券受拂總括簿ハ支金庫ノ集計表及内譯簿ノ締高ヲ以テ左ノ科目毎ニ受拂額ヲ登記スヘシ

- 一 保管 諸公債證書
- 二 保管 諸株券
- 三 供託 諸證券

第三十五條 有價證券受拂内譯簿ハ本金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ一人別又ハ一證書毎ニ口座ヲ設ケ各證書ニ依リ其所屬支金庫ニ於テ受拂ヲ爲シタルモノハ各支金庫毎ニ口座ヲ設ケ其集計表ニ依リ各種類毎

ノ受拂枚數及券面額ヲ毎日登記シ差引シテ其殘額ヲ掲クヘシ

第三十六條 本金庫ハ第三十二條ノ諸帳簿ニ依リ金庫出納事務規程第二十四號書式ノ收支金報告表(預金、

保管金、供託金、各自預金購入保管公債證書利子ノ受拂額ヲ掲載スヘシ

又有價證券受拂總括簿及有價證券受拂内譯簿ニ據リ毎五十五日ニ有價證券受拂集計表(第十二號式)ヲ調製シ中央金庫ヘ報告スヘシ

第三十七條 (削除)

第三十八條 (削除)

第三十九條 (削除)

第四十條 本金庫ハ本金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ取扱ヲタル第十七條第十八條ノ證書ニ依リ毎月左ノ證書類證明書(第九號式)ヲ調製シ之ヲ各其帳簿ニ對照差違ヲキテ證明シ該證書類ヲ添ヘ大藏大臣指定ノ官吏ニ提出シ檢閱濟シ證印ヲ受ケ證書ハ金庫ニ保存シ該證明書ハ本金庫ハ毎月出納内譯書ニ添ヘ會計檢査院ヘ提出ノ爲メ中央金庫ヲ經テ大藏省ヘ差出スヘシ

一 預金部受拂證書類證明書(預金受拂額、保管金)受拂額)

二 有價證券受拂證書類證明書

第三款 支金庫

第四十一條 支金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル諸帳簿ノ外預金、保管物、供託物ノ計算ヲ整理スル爲メ左ノ諸帳簿(第十號式)ヲ備フヘシ但預金(保管金)受拂内譯簿ハ便宜合冊ニ製シ口座ヲ以テ區分スルモ妨ケナ

一 預金受拂内譯簿

二 保管金(供託金)受拂内譯簿

三 有價證券受拂内譯簿

有價證券ノ出納頻繁ナル支金庫ニアリテハ大藏大臣ノ認可ヲ得テ本金庫ト同ク有價證券受拂總括簿ヲ設ケ整理スルコトヲ得

本條ニ掲クル諸帳簿ハ年時ニ期限ヲ設ケス紙頁ノ盡ルマテ漸次記入ヲ爲スヘシ

第四十二條 預金受拂内譯簿保管金 預金受拂内譯簿ハ一人別又ハ一證書毎ニ口座ヲ設ケ各證書ニ依リ之カ受拂額ヲ毎日登記シ差引殘額ヲ掲クヘシ

第四十三條 有價證券受拂内譯簿ハ一人別又ハ一證書毎ニ口座ヲ設ケ各證書ニ依リ之カ受拂額ヲ毎日登記シ差引殘額ヲ掲クヘシ

第四十四條 支金庫ハ第四十一條ノ諸帳簿ニ依リ左ノ諸集計表(第十二號書式)ヲ調製スヘシ

一 預金部受拂集計表(預金受拂額、保管金、供託金)受拂額

二 有價證券受拂集計表

第四十五條 預金部受拂集計表ハ各其内譯簿ニ依リ其受入額及ヒ拂戻額ヲ掲ケ中央金庫所屬ノ支金庫ハ中央金庫ハ本金庫所屬ノ支金庫ハ其本金庫ヘ毎日之ヲ送付スヘシ

第四十六條 有價證券受拂集計表ハ其内譯簿ニ依リ有價證券ノ各種類毎ニ受拂券面ノ合計額及枚數ヲ掲ケ中央金庫所屬ノ支金庫ハ中央金庫ヘ本金庫所屬ノ支金庫ハ其本金庫ヘ毎日之ヲ送付スヘシ

第三章 決算整理

第四十七條 中央金庫ハ金庫出納事務規程ノ毎年度出納計算書及毎月出納内譯書ヘ預金、保管金、供託金、預金利子仕拂元積立金及預金運用上ノ各受拂額及其内譯額並ニ有價證券受拂額ヲ掲記スヘシ

第四十八條 中央金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル毎月出納計算書中受拂ノ部ヘ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ出納シタル預金、保管金、供託金及中央金庫ニ於テ一箇月中ニ出納シタル預金利子仕拂元積立金、預金運用上ノ受拂額ヲ掲記シ又内譯ノ部雜部ノ區ノ次ニ「預金部預金」預金部保管金預金利子仕拂元積立金ノ區ヲ設ケ各其内譯額ヲ掲記スヘシ

中央金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル毎月出納計算書ノ末尾ニ有價證券ノ部ナル部門ヲ設ケ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ出納シタル有價證券ノ受拂額ヲ掲記スヘシ

前二項ノ書式ハ別ニ之ヲ定ム

第四十九條 本金庫ハ金庫出納事務規程ニ定メタル毎月出納内譯書及毎月出納計算書ヘ中央金庫ノ例ニ準シ預金、保管金、供託金ノ各受拂額及其内譯額ヲ掲記シ又有價證券ノ部ナル部門ヲ設ケ其受拂額ヲ掲記スヘシ

第五十條乃至第五十二條 (削除)
(様式ハ之ヲ略ス)

第八章 官有財産管理

五二六

●官有財産管理規則

二十三年十一月
勅令第二百七十五號

改正

三四年
勅令五六號

朕官有財産管理規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

官有財産管理規則

第一條 此ノ規則ニ於テ官有財産ト稱スルハ國ノ所有ニ屬スル土地、森林、原野、營造物、家屋、船舶及其ノ附屬物トス

第二條 官有財産ハ主管ノ各省大臣之ヲ管理ス

第三條 官有財産ノ賣拂、讓與、交換及貸付ハ特別ノ規定アルモノヲ除ク外總テ此ノ規則ニ依ルヘシ

第四條 官有財産賣拂代金ハ其ノ財産引渡ノ際一時ニ納付セシムヘシ

第五條 官有財産ヲ貸付スルトキハ其ノ貸付料ヲ徵收スヘシ但シ公益ノ爲官有財産ヲ貸付シ又ハ森林經濟ノ爲森林ヲ貸付スルトキハ別ニ主管大臣ノ定ムル所ノ規則ニ依ル

第六條 官有財産ノ貸付料ハ每年前納セシムヘシ若シ前納スル能ハサルトキハ相當ノ保證ヲ出サシムヘシ

貸付財産ノ修理其ノ他費用ヲ負擔スル方法ハ貸付契約ヲ爲ストキ之ヲ定ムヘシ

第七條 官有財産ノ貸付ハ左ノ期限ヲ超ユルコトヲ得ス

第一 樹木培養ニ供スル土地ハ八十年以内

第二 農工其ノ他ノ營業及住居ニ供スル土地ハ三十年以内

第三 土地森林ノ使用權ハ十五年以内

第四 右ニ掲ケザル物件ハ三年以内

第八條 官有財産ノ貸付期限中政府ニ於テ之ヲ國ノ使用ニ供スルノ必要アルトキハ貸付ノ契約ヲ解キ之ヲ返還セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ借受人ハ其ノ直接ニ受ケタル損失ニ付賠償ヲ求ムルコトヲ得

第九條 官有財産ノ借受人ニシテ主管大臣ノ許可ヲ得スシテ其ノ財産ノ原形ヲ變シ若クハ故意怠慢ニ由リ之ヲ荒廢ニ歸シ又ハ毀損亡失シタルトキハ主管大臣ハ其ノ損失ヲ賠償セシムヘシ

第十條 官有財産ノ借受人ハ主管大臣ノ許可ヲ得ルニアラサレハ其ノ財産ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第十一條 官有財産ヲ以テ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ルハ同一種類ノ財産ニシテ少クトモ評定價格相均シキモノニ限ル

森林、原野、田畑ハ同一種類ノ財産ト看做スコトヲ得

營造物、家屋、船舶及其ノ附屬物ハ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ス

第十二條 府縣郡市町村公共ノ道路、公園、市場、河川並木敷、堤塘、溝渠等ノ用ニ供スル爲官有ノ土地森林ヲ必要トスルトキハ主管大臣ニ於テ之ヲ其ノ府縣郡市町村ニ讓與スルコトヲ得

第十三條 府縣郡市町村ニ於テ新タニ道路、公園、市場、河川並木敷、堤塘、溝渠等ヲ開設シ爲ニ不用ニ歸シタル官有ノ舊同種類ノ土地ハ内務大臣ニ於テ其ノ府縣郡市町村ニ讓與スルコトヲ得但シ官林内若ハ官廳使用地内ニ包含セルモノ又ハ他ノ官有財産保護上難キモノハ此ノ限ニアラス

第十四條 官有財産ヲ賣拂貸付若ハ交換スル場合ニ於テ其ノ財産ヲ管理シ若ハ其ノ取扱ヲ爲ス官吏ハ之ヲ買受ケ又ハ自己ノ所有物ト交換スルコトヲ得ス

第十五條 此ノ規則施行ノ前ニ官有財産ノ賣拂若ハ貸付ノ契約ヲ爲シタルモノハ其ノ契約ノ滿期マテ總テ舊契約ニ依ルヘシ

貸付ノ期限ナキモノハ此ノ規則施行ノ日ヨリ三箇年以内ニ於テ此ノ規則ニ依リ更ニ契約ヲ爲スヘシ

第十六條 各省大臣ハ每十年其ノ年三月三十一日ニ現在スル所管官有財産ノ目錄ヲ調製シ其ノ年開會ノ帝國議會ニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ但シ國防用防禦營造物ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 各省大臣ハ每會計年度間ニ於ケル所管官有財産ノ増減異同報告書ヲ調製シ翌年度開會ノ帝國議會

ニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ但シ國防用防禦營造物ハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 第十六條ノ目錄及第十七條ノ報告書ハ其ノ事由ニ依テ區別シ左ノ事項ヲ示スヘシ

第一 買入ニ係ルモノハ其ノ代價

第二 賣拂ニ係ルモノハ各應ニ於テ定メタル最低賣價、實際ノ賣拂代價及目錄價格アルモノハ其ノ價格

第三 讓與交換又ハ亡失毀損等ニ係ルモノハ其ノ目錄價格

第四 交換ニ係ルモノハ其ノ交換ニ由テ得タル財産

第五 買入又ハ賣拂ノ契約ニ特別ノ條件アルモノハ其ノ條件

第十九條 此ノ規則第十六條ニ掲クル官有財産ノ目錄ニシテ第一回ノモノハ明治二十四年三月三十一日ノ現在高ヲ以テ同年六月三十日マテニ之ヲ調製スヘシ但シ調査未済ノ官有財産ハ調査ヲ了ルマテ其ノ概算ヲ目錄ニ掲クヘシ

第二十條 此ノ規則ハ明治二十四年四月一日ヨリ施行ス

第九章 保管供託

●保管金規則 二十三年一月 法律第一號 改正 三三年 法律一八號

朕保管金規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

保管金規則

第一條 法律勅令又ハ從來ノ規則ニ依リ政府ニ於テ保管スル公有金私有金ハ左ノ計算法ニ從ヒ滿五年ヲ過キテ拂戻ノ請求ナキトキハ政府ノ所得トス但別ニ法律ヲ以テ失權ノ期限ヲ定メタルモノハ各其定ムル所ニ依ル

第一 保管義務解除ノ期アルモノハ其義務ヲ解除シタル翌日ヨリ起算ス

第二 保管義務解除ノ期ナキモノハ保管ノ翌日ヨリ起算ス

第三 訴訟事件ノ爲ニ拂戻ヲ請求スル能ハサル場合ニ於テハ裁判確定ノ翌日ヨリ起算ス

第二條 保管金ハ法律勅令又ハ從來ノ規則若クハ契約ニ依ルノ外利子ヲ付セス

第三條 保管金ノ證書ハ賣買讓與又ハ書入質入スルコトヲ得ス

第四條 保管金ノ受渡ニ屬スル證書ハ〔證券印税〕ヲ納ムルニ及ハス

●政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル公有金私有金寄託方 二十三年一月 勅令第二號

預金規則ニ定メタルモノノ外法律勅令又ハ從來ノ規則ニ依リ政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル公有金私有金ハ總テ大藏省預金局ニ寄託スヘシ

法律勅令又ハ從來ノ規則ニ依ルノ外政府ハ公有金私有金ヲ保管セス

●同上寄託ニ付心得方

二十三年五月
大訓第七十八號

廳 府 縣

本年一月勅令第二號ヲ以テ公有金私有金寄託ノ儀ヲ定メラレ候處各廳ニ於テ一時ノ取扱ニ係ル金錢ハ包含セサル儀ナルニ往々警察官拾得金未決囚所持金ノ類ニシテ直チニ交付又ハ仕拂ヲナス場合ニ於テモ預金局ニ寄託シ却テ事務取扱ノ不便ヲ醸スモノ有之候ニ付今後ハ數日內ニ其交付又ハ仕拂フヘキ見込ナキモノヲ預金局ニ寄託スル儀ト心得ヘシ

●各官廳ニ於テ管理スル政府所有ノ有價證券及政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル有價證券寄託方

二十六年七月
勅令第七十號

義務ヲ有スル有價證券寄託方

朕各官廳ニ於テ管理スル政府所有ノ有價證券及政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル有價證券寄託ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

各官廳ニ於テ管理スル政府所有ノ有價證券ハ保管ノ爲メ大藏省「預金局」ニ寄託スヘシ
政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル公有私有ノ有價證券ハ大藏省「預金局」ニ寄託スヘシ

●保管物取扱規程

二十六年九月
大令第二十號

改正 二十七年大令一號、八號、一六號、三一號、四號、三三年三八號、三三年二八號

明治二十三年大藏省令第八號保管金取扱規程左ノ通改正シ本年十一月一日ヨリ施行ス

保管物取扱規程

第一條 明治二十三年勅令第二號明治二十六年勅令第七十號ニ依ル金錢有價證券ノ保管受渡ハ此規程ニ依リ金庫ニ於テ取扱フモノトス

第二條 現金又ハ有價證券ハ權利者ヨリ寄託スルモノト官廳ヨリ寄託スルモノト二種ニ分チ之ヲ取扱フヘシ

第三條 取扱官廳ニ於テ權利者ヲシテ現金又ハ有價證券ヲ寄託セシムルトキハ第一號書式ノ寄託通知書ヲ製シ之ヲ權利者ヘ交付スヘシ

第四條 權利者ハ現金又ハ有價證券ニ前條ノ寄託通知書ヲ添ヘ之ヲ金庫ヘ差出スヘシ

第五條 金庫ニ於テ前條ノ寄託ヲ受ケタルトキハ第二號書式ノ保管證書ヲ製シ之ヲ權利者ヘ交付スヘシ

第六條 官廳ニ於テ現金又ハ有價證券ヲ寄託スルトキハ第三號書式ノ送付書ヲ製シ之ヲ現金又ハ有價證券ニ添ヘ金庫ヘ送付スヘシ

第七條 金庫ニ於テ前條ノ寄託ヲ受ケタルトキハ第四號書式ノ領收證書ヲ製シ之ヲ寄託官廳ヘ交付スヘシ

第八條 官廳ニ於テ數人ノ權利者ニ屬スル現金ヲ取糺メ寄託スルトキハ其送付書ニ第五號書式ノ仕譯書ヲ添付スヘシ

但權利者不分明ナル者ハ其旨ヲ送付書又ハ仕譯書ニ記入スヘシ

第九條 取扱官廳ハ本規程ニ依リ現金又ハ有價證券等受渡ノ證明ニ供スル爲メ豫メ其廳及取扱主任官ノ印鑑ヲ金庫ヘ送付スヘシ應印ノ更改主任官ノ改印又ハ主任官變更ノ場合ニ於テモ亦同シ

有價證券ニ屬スル札交付ノトキ其受渡ヲ證明スル爲メ權利者ハ有價證券寄託ノ際印鑑ヲ金庫ヘ差出シ置クヘシ

第十條 權利者ニ於テ其寄託シタル現金又ハ有價證券ノ拂戻ヲ受ケムトスルトキハ取扱官廳ノ裏書ヲ爲シタル保管證書ヲ得テ金庫ヘ差出シ之カ拂戻ヲ請求スヘシ

第十一條 取扱官廳ノ裏書アル保管證書ヲ以テ現金又ハ有價證券ノ拂戻ヲ請求スル者アルトキハ金庫ハ取扱官廳及主任官ノ印鑑ニ照合シ相違ナキモノハ之ト引換ニ現金又ハ證券ヲ交付スヘシ

第十二條 權利者ニ於テ官廳ヨリ寄託シタル現金又ハ有價證券ノ拂戻ヲ受ケムトスルトキハ其事由ヲ具シ其取扱官廳ニ請求スヘシ

取扱官廳ニ於テ前項ノ請求ヲ審査シ相當ト認ムルトキハ金庫ニ宛タル第六號書式ノ拂渡證書ヲ製シ之ヲ權利者ヘ交付スヘシ

權利者ニ於テ前項ノ拂渡證書ヲ受ケタルトキハ之ヲ金庫ヘ差出シ現金又ハ證券ノ拂渡ヲ受クヘシ

第十三條 金庫ハ前條ノ拂渡證書ヲ以テ現金又ハ有價證券ノ拂渡ヲ請求スル者アルトキハ取扱官廳及主任官ノ印鑑ニ照合シ相違ナキモノハ之ト引換ニ現金又ハ證券ヲ交付スヘシ

第十四條 政府ノ所有ニ歸シタル保管金ハ左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

一 保管證書ヲ發シタルモノハ取扱官廳ニ於テ該證書ノ裏面ニ事由ヲ記載シ收入官吏ヲシテ歳入トシテ金庫ヘ納付セシムヘシ

一 保管證書ヲ發セサルモノハ大藏大臣ノ令達ニ依リ金庫ニ於テ歳入ヘ編入スヘシ

第十五條 取扱官廳ニ於テ保管金ノ幾分ヲ歳入ト爲シ又ハ幾分ヲ權利者ニ拂戻スコトヲ要スルトキハ保管證書ニ事由書ヲ付シ保管證書ノ分割ヲ金庫ニ請求スヘシ

第十六條 金庫ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ新ニ保管證書ヲ製シ舊保管證書ト交換スヘシ

第十七條 保管金ノ利子ハ毎年三月三十一日ヲ期トシテ之カ計算ヲ爲スヘシ又元金悉皆拂戻ニ對スル利子ハ其元金ヲ拂戻シタルトキ計算ヲ爲スヘシ

權利者ニ於テ保管金利子ノ拂渡ヲ請求スルトキハ第七號書式ノ請求書ヲ取扱金庫ヘ差出スヘシ

第十八條 金庫ニ於テ前條第二項ノ請求書ヲ受ケタルトキハ利子金額ヲ算出シ式ノ如ク之ヲ記入證明シ日本銀行又ハ其支店代理店ニ之ヲ回付スヘシ

日本銀行又ハ其支店代理店ニ於テ前項ノ請求書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ利子受取人ヲシテ式ノ如ク受領ヲ證セシメ其元金ヲ交付スヘシ

第十九條 官廳又ハ權利者ニ於テ寄託シタル有價證券ニ屬スル利子ノ渡期ニ至リ之カ利札ノ交付ヲ受ケントスルトキハ第十號書式ノ領收證書ヲ金庫ヘ差出スヘシ

金庫ハ前項ノ領收證書ト引換ニ利札ヲ交付スヘシ

第二十條 保管證書又ハ領收證書ヲ亡失シタルカ爲官廳又ハ權利者ヨリ保管ノ證明方ヲ金庫ニ請求スルトキハ金庫ニ於テハ第十一號書式ノ證明書ヲ製シ之ヲ官廳又ハ權利者ヘ交付スヘシ

保管證書又ハ領收證書ヲ汚染毀傷シ證書ノ要點ヲ見認メ難キニ至リタルカ爲メ官廳又ハ權利者ヨリ之カ引換ヲ金庫ニ請求スルトキハ金庫ハ更ニ保管證書又ハ領收證書ヲ製シ舊證書ト交換スヘシ

第二十一條 官廳ニ於テ金庫ヘ寄託シタル保管金ニシテ權利移轉又ハ其他ノ事故ノ爲メ其送付書ニ記載シタル期滿失効ノ年月日(本文明期滿失効ノ年月日トハ各其據ルヘキ法律規則ニ依リ算出シタルモノナク云フ)ニ變更ヲ生スルトキハ即日其旨ヲ金庫ヘ通知スヘシ

前項保管金ニシテ權利者自ラ其權利ヲ拋棄シ又ハ其他ノ事故ノ爲メ保管ノ必要ナク歳入ヘ編入スヘキモノハ其旨ヲ金庫ヘ通知スヘシ

附則

第二十二條 前條保管金ニシテ本令發布以前既ニ其送付書ニ記載シタル期滿失効ノ年月日ニ變更ヲ生シタルモノハ明治二十七年二月二十八日迄ニ當該官廳ヨリ其旨ヲ金庫ヘ通知スヘシ

第二十三條 金庫ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ調査シ全ク期滿失効トナリタルモノハ計算書ヲ作り明治二十七年三月三十一日迄ニ當該官廳ニ送付シ其證明ヲ受ケ之ヲ整理スヘシ(書式略ス)

● 出納官吏現金ヲ金庫ニ寄託セシトキ登記方

二十八年五月 大洲第二十號

出納官吏

出納官吏ニ於テ明治二十六年大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依リ其保管ニ屬スル現金ニ送付書ヲ添ヘ金庫ヘ寄託セシトキハ出納官吏現金出納簿中拂ノ欄ニ其金額ヲ登記スル義ト心得ヘシ

●救恤又ハ技術獎勵寄附金ノ保管出納制

三十三年八月
勅令第三百二十九號

改正 三十九年 四十二年
勅令二〇號 三一九號

朕救恤寄附金ノ保管出納ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
政府ハ救恤又ハ學藝技術獎勵ノ目的ヲ有スル寄附金ノ保管出納ヲ爲スコトヲ得

●保管物取扱規程及供託物取扱規程ニ依リ各地方金庫保管ノ

有價證券保管轉換方

三十四年五月 改正 四十二年
大令第六號 大令第一三號

明治二十六年大藏省令第二十號保管物取扱規程及明治三十二年大藏省令第六號供託物取扱規程ニ依リ各地金庫ニ於テ保管スル有價證券ハ左ノ金庫ヘ移送シテ保管ヲ爲スコトアルヘシ
前項ニ依リ保管ヲ移シタル有價證券又ハ之ニ屬スル利札賦札ノ拂戻ハ最初該證券ノ寄託ヲ受ケタル金庫ヘ速ニ返送ノ上其ノ金庫ニ於テ拂渡ヲ爲スヘシ

京都本金庫 名古屋本金庫 函館本金庫 中央金庫 門司出張所
大阪本金庫 金澤本金庫 札幌本金庫 中央金庫 福島出張所

●保管金金庫換及振換拂並其利子仕拂手續

三十六年三月
大令第九號

保管金金庫換及振換拂並ニ其利子仕拂手續左ノ通相定ム

第一條 保管物取扱規程第四條ニ依リ甲地金庫ヘ寄託シタル保管金ヲ乙地金庫ヨリ拂渡ヲ受ケントスル者ハ其事由ヲ記載シタル請求書ヲ取扱官廳ヘ差出スヘシ

取扱官廳ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ保管證書ノ裏面ニ其事由(表書ノ金額振換拂ノ手續ヲ以テ何金庫ヨリ拂渡スコトヲ要ス)ヲ記載シ請求書ト共ニ甲地金庫ヘ送付シ其旨受取人ヘ通知スヘシ

第二條 保管物取扱規程第六條ニ依リ甲地金庫ヘ寄託シタル保管金ヲ乙地金庫ヨリ拂渡ヲ要スルトキハ取扱官廳ニ於テ受取人ヨリ前條第一項ノ請求書ヲ徴シ之ニ其事由(前書ノ金額振換拂ノ手續ニ依リ何金庫ヨリ拂渡スコトヲ要ス)ヲ記載シタル保管金拂渡證書ヲ添ヘ甲地金庫ヘ送付シ其旨受取人ヘ通知スヘシ

第三條 前二條ノ請求ヲ受ケタル甲地金庫ハ之ヲ調査シ其請求書ニ振換拂通知書ヲ添ヘ乙地金庫ヘ送付スヘシ

第四條 乙地金庫ニ於テ前條ノ書類ヲ受ケタル後受取人ヨリ拂渡ノ請求アリタルトキハ適宜ノ領收證書ヲ徴シ其印章ヲ請求書ノ印章ニ對查ノ上現金ヲ受取人ニ交付シ請求書ハ當該官廳ヘ返付スヘシ

第五條 保管物取扱規程第六條ニ依リ甲官廳ヨリ甲地金庫ヘ寄託シタル保管金ヲ乙官廳ノ取扱ニ移シ乙地金庫ヲシテ保管セシムルコトヲ要スルトキハ甲官廳ニ於テ第二條ノ保管金拂渡證書ヲ作り之ヲ甲地金庫ニ送付シ乙地金庫宛振換拂通知書ヲ得テ之ヲ乙官廳ヘ送付スヘシ

乙官廳ニ於テ前項ノ通知書ヲ得タルトキハ其金額ニ對スル領收證書ヲ添ヘ當該金庫ヘ送付スルト同時ニ保管物取扱規程第六條ノ送付書ヲ作り其現金ヲ寄託スヘシ

第六條 第一條ニ依リ甲地金庫ニ寄託シタル保管金ノ利子ヲ受取ルヘキ者カ乙地金庫所在ノ日本銀行本支店又ハ代理店ニ於テ仕拂ヲ受ケントスルトキハ保管物取扱規程ニ定メタル請求書ニ其事由(利子請求書中金額何圓ニ對シテ仕拂相成度云々ト記入スルコト)ヲ記載シ甲地金庫ヘ送付スヘシ

甲地金庫ニ於テ前項ノ利子請求書ヲ受ケタルトキハ式ノ如ク證明シ其請求書ニ指定ノ日本銀行本支店又ハ代理店ニ回付シ日本銀行本支店又ハ代理店ハ受取人ヲシテ式ノ如ク受領ヲ證セシメ其現金ヲ交付スヘシ但甲地金庫ハ本文ノ請求書ヲ回付スルト同時ニ其旨受取人ヘ通知スルコトヲ要ス

附則